

鳥取県がん検診実績報告書

平成16年3月

鳥 取 県
鳥取県健康対策協議会

は　じ　め　に

平成7年3月を第1報として発刊いたしました「鳥取県がん検診実績報告書」が今回で第10報となります。

この10年を振り返ってみますと、他県に先駆け、平成7年度から肝臓がん検診及び陽性者へのフォローアップ事業を開始したほか、平成12年9月から胃がん一次検診における内視鏡検査の導入、平成15年度から便潜血検査1日2個法（1回の採便において、2検体を採取する方法）の推奨を行ってきました。

また、講習会の強化、精密検査医療機関登録条件の見直しなど、鳥取県独自の方式により質的向上も図っております。

一方、国においては、平成14年度より基本健康診査への肝炎ウイルス検査の導入、平成15年度には、受診率の向上及び死亡率減少効果のある検診を推進する観点から「がん検診に関する検討会」の中間報告書がまとめられ、平成16年度より子宮がん検診においては対象者を20歳以上に引き下げること、乳がん検診においては40歳以上にマンモグラフィと視触診の併用検診の導入することが提言されました。

その提言を踏まえ、鳥取県においても検診体制の整備の検討を重ねております。

更に、他のがん検診においても、今後検診方式等の見直しがなされると存じますが、素早く対処出来るように努めて行きたいと存じます。

本書は不備な点もあるかと思いますが、精度管理向上の一助となれば幸いです。

平成16年3月

鳥取県健康対策協議会

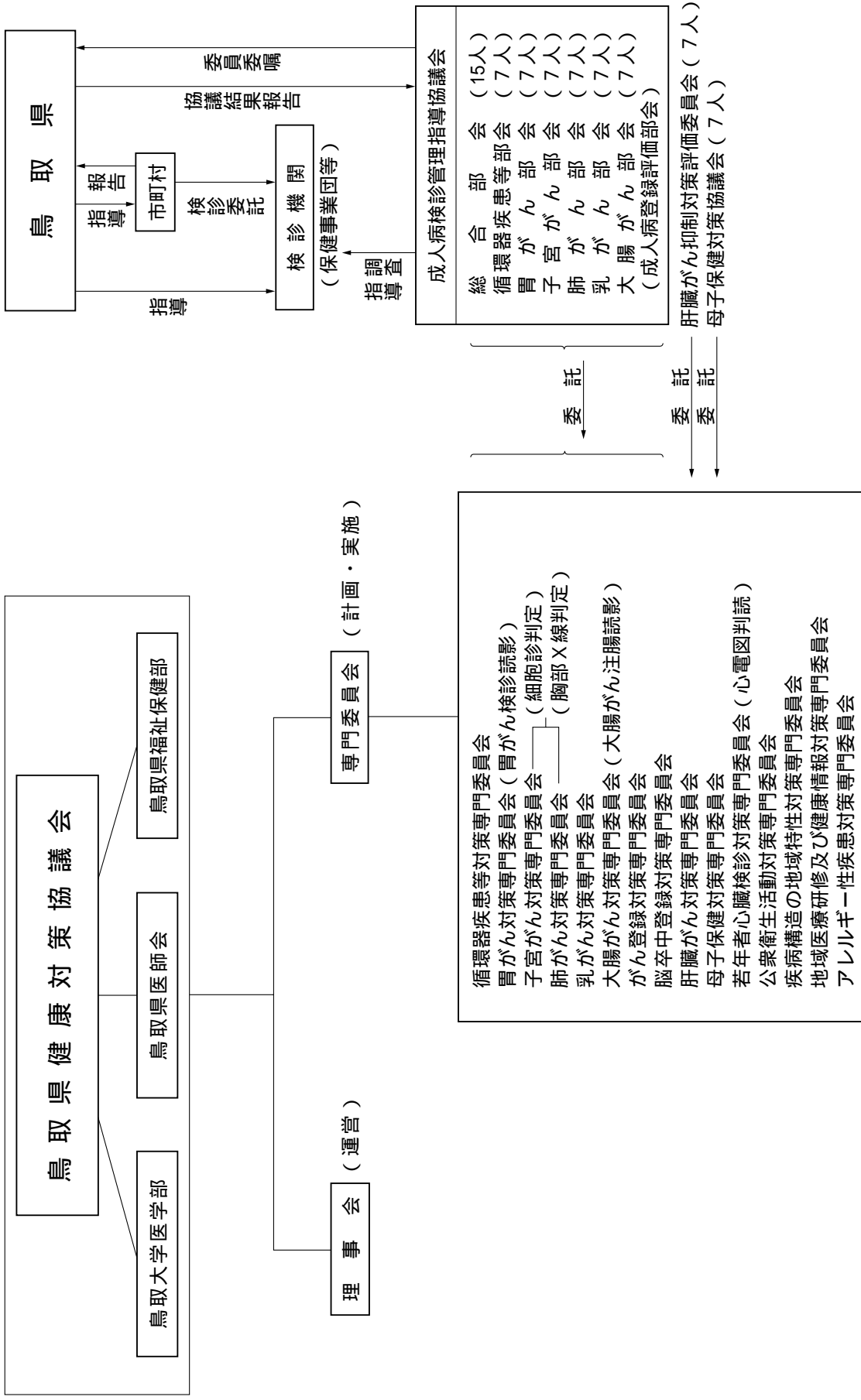
会　長　長　田　昭　夫

目 次

I . 鳥取県健康対策協議会の構成及び組織図.....	1
II . 平成14年度各がん検診事業実績	
1 . 胃がん検診.....	3
2 . 子宮がん検診.....	13
3 . 肺がん検診.....	21
4 . 乳がん検診.....	34
5 . 大腸がん検診.....	40
6 . 肝臓がん検診.....	48
7 . 全国がん検診実績との比較.....	59
III . 平成15年度各がん検診従事者講習会及び症例研究会開催状況	
1 . 胃がん検診症例研究会報告.....	65
2 . 子宮がん検診症例研究会報告.....	66
3 . 肺がん検診症例研究会報告.....	67
4 . 乳がん検診症例研究会報告.....	70
5 . 大腸がん検診症例研究会報告.....	72
6 . 肝臓がん検診症例研究会報告.....	74
7 . 各地区がん検診症例検討会開催状況.....	77
IV . 各がん検診精密検査医療機関登録について.....	78

I. 鳥取県健康対策協議会の構成及び組織図

(昭和46年 1月26日発足)



Ⅱ . 平成14年度各がん検診事業実績

1. 胃 がん 検 診

1. 胃がん検診実績

対象者数（40歳以上のうち職域等で受診の機会がない者として各市町村が把握している人数）は169,754人で、このうち受診者数はX線検査32,738人、内視鏡検査は13,295人で合計46,033人であった。受診率は27.1%であった。平成13年度より受診者数は2,397人増加し、受診率は1.0ポイント増加した。平成12年度に内視鏡検査を導入したことにより受診率の向上につながっており、同年の全国平均13%に比べ大変高率である。

検査の結果、胃がんまたは胃がん疑いであった者は161人発見され（X線検査51人、内視鏡検査110人）がん発見率は0.35%で前年度より0.01ポイント増加した。

X線検査でのがん発見率は0.16%に対し、内視鏡検査でのがん発見率は0.83%で約5倍も高かった。

平成14年度の全国平均は受診率13.0%、要精検率11.5%、がん発見率0.18%で、鳥取県がいずれも上回っている。

(1) X線検査は39市町村で実施され、受診者数は32,738人で、受診率は19.3%で年々減少傾向である。

一次検診の要精検者は3,563人、要精検率は10.9%で、前年度より1.7ポイント減少した。

このうち、精密検査を受診したのは2,604人、精検受診率は73.1%で、依然として低下傾向が続いている。特に、東部地区の精検受診率が悪く、他の地区に比べ約10%低い。これは要精検者が市町村から紹介状が来るまでに精検を受診するケースがあり、実際には精検を受診していても紹介状が提出されていない場合もあるのではないかとということで、市町村の保健師さんに精検未受診者への受診勧奨及び結果把握に努めて頂くこととなった。

精検結果は、胃がんまたは胃がん疑いであった者は51人、胃がん発見率は0.16%で、平成13年度より24人も少なかった。特に集団検診からの発見がんが約半数に減少しており、各地区読影会の精度についても考慮しながら、今後の経過を検討していかなければならない。

(2) 内視鏡検査は、23市町村で実施され、受診者数は13,295人で、検査結果は胃がんまたは胃がん疑いであった者は110人が発見され、発見率は0.81%で、平成13年度より37人も多く発見された。

2. 胃がん検診発見胃がん追跡調査結果

平成14年度に発見された胃がん及び胃がん疑いについて確定調査を行った結果、確定胃がんは142例（一次検査がX線検査：車検診20例、施設検診33例、一次検査内視鏡検査：89例）であった。ただし、腫瘍登録データと照合の結果、平成14年度に胃がん一次検診を受診し、その後、がんと確定診断されたが精検紹介状が市町村に報告されていない者が6名判明し、その確定調査結果も集計に計上した。

早期がんは104例、進行がんは38例で、早期がん率は73.2%であった。このうち切除例は136例で、そのうち内視鏡切除は33例で、平成13年度の12例に比べ非常に多く施行されている。

性・年齢別では、男性98例、女性44例であった。

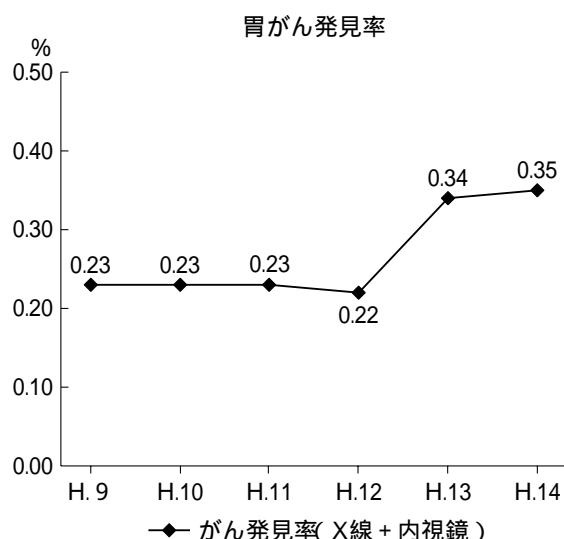
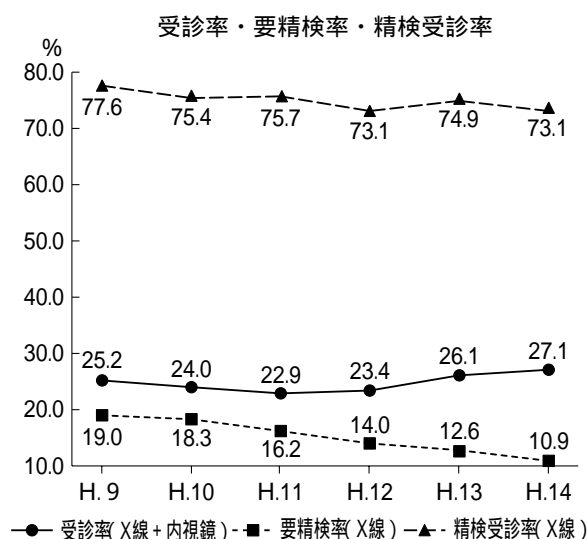
切除例の大きさは2cm以内が38.6%であった。車検診では45.0%、施設検診では30.0%、内視鏡検査では40.2%であった。

切除例の深達度では「t1」が99例で、そのうちmが65例であった。

また、前年度受診歴を有する進行癌は、車検診2例、施設検診9例でここ近年件数が減少している。

(1) 胃がん検診の受診者数及び受診率の推移

区 分		平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度			平成13年度			平成14年度		
					X線	内視鏡	計	X線	内視鏡	計	X線	内視鏡	計
一次検診	対象者数(人)	175,612	171,250	174,021			172,825			167,336			169,754
	受診者数(人)	44,192	41,165	39,783	36,706	3,651	40,357	33,904	9,732	43,636	32,738	13,295	46,033
	受診率(%)	25.2	24.0	22.9	21.2	2.1	23.4	20.3	5.8	26.1	19.3	7.8	27.1
一次検診結果	異常認めず(人)	35,782	33,639	33,319	31,556			29,618			29,175		
	要精検者数(人)	8,410	7,526	6,464	5,150			4,286			3,563		
	要精検率(%)	19.0	18.3	16.2	14.0			12.6			10.9		
精密検査	受診者数(人)	6,523	5,671	4,894	3,766			3,212			2,604		
	受診率(%)	77.6	75.4	75.7	73.1			74.9			73.1		
精密検査結果	胃がん又はがんの疑いのある者(人)	103	95	90	64	23	87	75	73	148	51	110	161
	胃がん発見率(%)	0.23	0.23	0.23	0.17	0.63	0.22	0.22	0.75	0.34	0.16	0.83	0.35
追跡調査結果	確定がん数(人)	93	84	82			79			109			142
	確定がん率(%)	0.21	0.20	0.21			0.20			0.25			0.31



(2) 平成14年度胃がんX線検診結果

1) 一次検診結果(年齢階級別)

年齢	一次検診受診者数(人)		一次検診結果				要精検率(%)	
			要精検者数		異常認めず			
	男	女	男	女	男	女	男	女
40～44	491	1,074	54	69	437	1,005	11.0	6.4
45～49	645	1,339	93	80	552	1,259	14.4	6.0
50～54	977	2,187	130	180	847	2,007	13.3	8.2
55～59	914	2,400	135	206	779	2,194	14.8	8.6
60～64	1,462	3,221	205	287	1,257	2,934	14.0	8.9
65～69	2,258	4,171	289	411	1,969	3,760	12.8	9.9
70～74	2,290	3,666	329	351	1,961	3,315	14.4	9.6
75～79	1,541	2,270	234	250	1,307	2,020	15.2	11.0
80歳以上	778	1,054	126	134	652	920	16.2	12.7
計	11,356	21,382	1,595	1,968	9,761	19,414	14.0	9.2
合計	32,738		3,563		29,175		10.9	

2) 胃がんX線検診精密検査結果(年齢階級別)

年 齢	精密検査 受診者数 (人)		精密検査 受診率 (%)		精 密 検 査 結 果								胃がん発見率 (%)	
					異常認めず		その他の疾病		胃がん疑い		胃 が ん			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
40 ~ 44	32	47	59.3	68.1	11	17	21	30	0	0	0	0	0.000	0.000
45 ~ 49	54	60	58.1	75.0	11	27	40	33	1	0	2	0	0.465	0.000
50 ~ 54	81	135	62.3	75.0	16	52	64	82	0	0	1	1	0.102	0.046
55 ~ 59	87	153	64.4	74.3	19	61	67	92	0	0	1	0	0.109	0.000
60 ~ 64	136	213	66.3	74.2	33	84	102	128	0	0	1	1	0.068	0.031
65 ~ 69	196	314	67.8	76.4	50	105	140	208	0	0	6	1	0.266	0.024
70 ~ 74	246	280	74.8	79.8	65	94	174	182	3	1	3	4	0.262	0.136
75 ~ 79	182	197	77.8	78.8	38	63	133	128	1	0	10	6	0.714	0.264
80歳以上	95	96	75.4	71.6	20	30	69	64	2	0	4	2	0.771	0.190
計	1,109	1,495	69.5	76.0	263	533	810	947	7	1	28	15	0.308	0.075
合 計	2,604		73.1		796		1,757		8		43		0.156	

3) 検診機関別

a. 一次検診結果

一次検診 機 関	一次検診受診者数 (人)		一 次 検 診 結 果				要精検率(%)	
			要 精 検 者 数		異 常 認 め ず			
	男	女	男	女	男	女	男	女
保健事業団	7,146	13,166	850	910	6,296	12,256	11.9	6.9
中国労働衛生協会	222	301	13	18	209	283	5.9	6.0
病 院	1,237	2,532	281	443	956	2,089	22.7	17.5
診 療 所	2,751	5,383	451	597	2,300	4,786	16.4	11.1
計	11,356	21,382	1,595	1,968	9,761	19,414	14.1	9.2
合 計	32,738		3,563		29,175		10.9	

b. 精密検査結果

一次検診 機 関	精密検査 受診者数 (人)		精密検査 受診率 (%)		精 密 検 査 結 果								胃がん発見率 (%)	
					異常認めず		その他の疾病		胃がん疑い		胃 が ん			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
保健事業団	638	745	75.1	81.9	152	259	472	480	4	1	10	5	0.196	0.046
中国労働衛生協会	9	13	69.2	72.2	1	4	8	9	0	0	0	0	0.000	0.000
病 院	159	291	56.6	65.7	55	134	99	152	2	0	3	5	0.404	0.197
診 療 所	302	447	67.0	74.9	55	136	231	306	1	0	15	5	0.582	0.093
計	1,108	1,496	69.5	76.0	263	533	810	947	7	1	28	15	0.308	0.075
合 計	2,604		73.1		796		1,757		8		43		0.156	

4) 平成14年度鳥取県胃がんX線検診受診状況

市町村名	対象者数		受診者数			要精密検査				精検受診者			がん発見率 (%) Q=(N+O)/D				
	A	車検診 B	施設検診 C	計 D=B+C	受診率 (%) E=D/A	F	G	H=F+G	I=H/D (%)	J	K=(J/H) (%)	L		M	N	O	P
鳥取市	38,500	493	4,328	4,821	12.5	24	620	644	13.4	407	63.2	139	258	2	8	268	0.207
米子市	42,100	751	3,962	4,713	11.2	83	577	660	14.0	477	72.3	123	342	0	12	354	0.255
倉吉市	11,995	1,303	239	1,542	12.9	126	71	197	12.8	155	78.7	42	112	0	1	113	0.065
境港市	11,809	118	876	994	8.4	12	85	97	9.8	82	84.5	26	53	1	2	56	0.302
国府町	1,128	542	53	595	52.7	24	9	33	5.5	32	97.0	15	17	0	0	17	0.000
岩美町	2,805	842	106	948	33.8	48	22	70	7.4	39	55.7	11	28	0	0	28	0.000
福部村	904	116	130	246	27.2	4	15	19	7.7	13	68.4	4	9	0	0	9	0.000
都家町	1,522	736	71	807	53.0	53	8	61	7.6	44	72.1	8	36	0	0	36	0.000
船岡町	1,534	523	149	672	34.1	34	21	55	6.5	26	76.5	5	19	1	1	21	0.382
河原町	2,836	536	149	685	24.2	29	21	50	7.3	30	60.0	7	23	0	0	23	0.000
八東町	2,098	612	130	742	29.2	46	76	122	7.5	36	78.3	9	27	0	0	27	0.000
若桜町	1,191	468	352	820	39.3	30	76	104	6.4	29	96.7	7	21	0	1	22	0.214
用瀬町	1,324	303	33	336	25.4	12	5	17	5.1	12	70.6	0	12	0	0	12	0.000
佐治村	1,057	226	16	242	22.9	13	4	17	7.0	9	52.9	6	3	0	0	3	0.000
智頭町	2,678	788	371	1,159	43.3	43	106	149	12.9	85	57.0	24	59	0	2	61	0.173
気高町	1,547	464	352	816	52.7	28	76	104	12.7	75	72.1	45	27	1	2	30	0.368
鹿野町	1,267	88	485	573	45.2	5	22	27	4.7	23	85.2	6	17	0	0	17	0.000
青谷町	3,077	642	197	839	27.3	41	42	83	9.9	63	75.9	27	34	0	2	36	0.238
羽台町	1,411	583	17	600	42.5	68	4	72	12.0	57	79.2	6	48	1	2	51	0.500
油村	618	97	24	121	19.6	12	7	19	15.7	14	73.7	7	7	0	0	7	0.000
東郷町	1,901	527	36	563	29.6	51	4	55	9.8	41	74.5	18	20	1	2	23	0.533
三朝町	1,416	623	17	623	44.0	52	4	52	8.3	43	82.7	12	30	0	1	31	0.161
関金町	1,882	428	203	631	22.7	65	35	65	15.2	50	76.9	24	26	0	0	26	0.000
北条町	1,726	410	203	613	35.5	52	35	87	14.2	56	64.4	22	33	0	1	34	0.163
大栄町	2,064	889	102	991	43.1	102	35	102	11.5	86	84.3	34	52	0	0	52	0.000
東伯町	3,964	1,294	122	1,416	32.6	122	76	122	9.4	94	77.0	31	62	0	1	63	0.077
赤碕町	2,526	849	9	858	34.0	85	3	88	10.3	63	71.6	17	46	0	0	46	0.000
西伯町	1,128	229	19	248	22.0	18	3	21	8.5	16	76.2	2	14	0	0	14	0.000
糸見町	1,700	314	428	742	18.5	40	4	40	12.7	33	82.5	6	27	0	0	27	0.000
岸本町	3,105	618	203	821	19.9	49	35	49	7.9	35	71.4	12	22	0	1	23	0.162
日吉津村	412	233	68	233	56.6	29	12	29	12.4	20	69.0	6	14	0	0	14	0.000
淀江町	3,605	568	68	636	17.6	65	12	77	12.1	69	89.6	14	52	1	2	55	0.472
大山町	1,082	491	491	982	45.4	35	35	35	7.1	35	100.0	11	24	0	0	24	0.000
名和町	2,719	444	444	888	16.3	51	51	51	11.5	40	78.4	8	32	0	0	32	0.000
中山町	1,143	440	21	440	38.5	33	5	33	7.5	26	78.8	11	15	0	0	15	0.000
日南町	3,008	831	11	852	28.3	67	5	72	8.5	58	80.6	14	43	0	1	44	0.117
日野町	1,373	439	11	450	32.8	51	5	56	12.4	46	82.1	10	35	0	1	36	0.222
江府町	2,154	480	127	607	22.3	28	11	28	5.8	20	71.4	4	16	0	0	16	0.000
溝口町	1,445	497	127	624	43.2	61	11	72	11.5	65	90.3	23	42	0	0	42	0.000
合計	169,754	20,835	11,903	32,738	19.3	1,791	1,772	3,563	10.9	2,604	73.1	796	1,757	8	43	1,808	0.156

(3) 平成14年度胃がん内視鏡検診

1) 年齢階級別結果

年 齢	一次検診 受診者数 (人)		検 査 結 果								胃がん発見率 (%)	
			異常認めず		その他の疾病		胃がん疑い		胃 が ん			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
40 ~ 44	137	250	62	136	75	114	0	0	0	0	0.000	0.000
45 ~ 49	155	258	83	134	71	123	0	0	1	1	0.645	0.388
50 ~ 54	253	527	138	282	114	244	0	0	1	1	0.395	0.190
55 ~ 59	315	749	174	396	136	351	1	0	4	2	1.587	0.267
60 ~ 64	590	1,162	299	641	284	518	0	2	7	1	1.186	0.258
65 ~ 69	1,037	1,612	500	864	522	741	0	3	15	4	1.446	0.434
70 ~ 74	1,222	1,710	574	877	632	827	6	1	10	5	1.309	0.351
75 ~ 79	880	1,174	418	613	443	554	3	0	16	7	2.159	0.596
80歳以上	472	792	223	400	235	387	1	2	13	3	2.966	0.631
計	5,061	8,234	2,471	4,343	2,512	3,859	11	8	67	24	1.541	0.389
合 計	13,295		6,814		6,371		19		91		0.827	

2) 検診機関別結果

検診機関	一次検診 受診者数 (人)		検 査 結 果								胃がん発見率 (%)	
			異常認めず		その他の疾病		胃がん疑い		胃 が ん			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
病 院	1,566	2,216	701	1,037	846	1,171	4	2	15	6	1.213	0.361
診 療 所	3,495	6,018	1,770	3,306	1,666	2,688	7	6	52	18	1.688	0.399
計	5,061	8,234	2,471	4,343	2,512	3,859	11	8	67	24	1.541	0.389
合 計	13,295		6,814		6,371		19		91		0.827	

3) 平成14年度胃がん内視鏡検診受診状況

市町村名	検査結果別人員						がん発見率 (%) $G = (D + E) / A$
	受診者数 A	異常認めず B	その他の病 疾 C	がん疑い D	が ん E	異常者総計 F = C + D + E	
鳥取市	4,290	1,699	2,549	11	31	2,591	0.979
米子市	5,224	2,782	2,395	5	42	2,442	0.900
倉吉市	411	194	216	0	1	217	0.243
境港市	1,269	767	493	1	8	502	0.709
国府町	46	16	30	0	0	30	0.000
岩美町	162	132	30	0	0	30	0.000
福部村	81	33	48	0	0	48	0.000
郡家町	45	14	29	0	2	31	4.444
船岡町							
河原町	86	21	65	0	0	65	0.000
八東町							
若桜町							
用瀬町							
佐治村	159	144	13	0	2	15	1.258
智頭町	78	28	49	0	1	50	1.282
気高町	251	79	172	0	0	172	0.000
鹿野町	201	169	31	0	1	32	0.498
青谷町	62	17	44	0	1	45	1.613
羽合町	30	13	17	0	0	17	0.000
泊村	106	90	16	0	0	16	0.000
東郷町							
三朝町							
関金町							
北条町							
大栄町							
東伯町							
赤碕町	17	7	10	0	0	10	0.000
西伯町	440	379	57	2	2	61	0.909
会見町							
岸本町							
日吉津村							
淀江町	68	35	33	0	0	33	0.000
大山町	55	38	17	0	0	17	0.000
名和町							
中山町							
日南町	24	15	9	0	0	9	0.000
日野町	63	26	37	0	0	37	0.000
江府町							
溝口町	127	116	11	0	0	11	0.000
合計	13,295	6,814	6,371	19	91	6,481	0.827

(4) 平成14年度胃がん検診受診状況 (X線 + 内視鏡)

市町村名	対象者数 A	受診者数				X線検診精密検査及内視鏡検診結果別人員						
		X線 受診者 B	内視鏡 受診者 C	計 D = B + C	受診率 (%) E = D / A	異常 認めず F	その他 の疾病 G	が ん 疑 い H	が ん I	異常者 総計 J = G + H + I	がん発見率 (%) K = (H + I) / D	
鳥取市	38,500	4,821	4,290	9,111	23.7	1,838	2,807	13	39	2,859	0.571	
米子市	42,100	4,713	5,224	9,937	23.6	2,905	2,737	5	54	2,796	0.594	
倉吉市	11,995	1,542	411	1,953	16.3	236	328	0	2	330	0.102	
境港市	11,809	994	1,269	2,263	19.2	793	546	2	10	558	0.530	
国府町	1,128	595	46	641	56.8	31	47	0	0	47	0.000	
岩美町	2,805	948	162	1,110	39.6	143	58	0	0	58	0.000	
福部村	904	246	81	327	36.2	37	57	0	0	57	0.000	
郡家町	1,522	807	45	852	56.0	22	65	0	2	67	0.235	
船岡町	1,534	523	0	523	34.1	5	19	1	1	21	0.382	
河原町	2,836	685	86	771	27.2	28	88	0	0	88	0.000	
八東町	2,098	612	0	612	29.2	9	27	0	0	27	0.000	
若桜町	1,191	468	0	468	39.3	7	21	0	1	22	0.214	
用瀬町	1,324	336	0	336	25.4	0	12	0	0	12	0.000	
佐治村	1,057	242	159	401	37.9	150	16	0	2	18	0.499	
智頭町	2,678	1,159	78	1,237	46.2	52	108	0	3	111	0.243	
気高町	1,547	816	251	1,067	69.0	124	199	1	2	202	0.281	
鹿野町	1,267	573	201	774	61.1	175	48	0	1	49	0.129	
青谷町	3,077	839	62	901	29.3	44	78	0	3	81	0.333	
羽合町	1,411	600	30	630	44.6	19	65	1	2	68	0.476	
泊村	618	121	106	227	36.7	97	23	0	0	23	0.000	
東郷町	1,901	563	0	563	29.6	18	20	1	2	23	0.533	
三朝町	1,416	623	0	623	44.0	12	30	0	1	31	0.161	
関金町	1,882	428	0	428	22.7	24	26	0	0	26	0.000	
北条町	1,726	613	0	613	35.5	22	33	0	1	34	0.163	
大栄町	2,064	889	0	889	43.1	34	52	0	0	52	0.000	
東伯町	3,964	1,294	0	1,294	32.6	31	62	0	1	63	0.077	
赤碕町	2,526	858	17	875	34.6	24	56	0	0	56	0.000	
西伯町	1,128	248	440	688	61.0	381	71	2	2	75	0.581	
会見町	1,700	314	0	314	18.5	6	27	0	0	27	0.000	
岸本町	3,105	618	0	618	19.9	12	22	0	1	23	0.162	
日吉津村	412	233	0	233	56.6	6	14	0	0	14	0.000	
淀江町	3,605	636	68	704	19.5	49	85	1	2	88	0.426	
大山町	1,082	491	55	546	50.5	49	41	0	0	41	0.000	
名和町	2,719	444	0	444	16.3	8	32	0	0	32	0.000	
中山町	1,143	440	0	440	38.5	11	15	0	0	15	0.000	
日南町	3,008	852	24	876	29.1	29	52	0	1	53	0.114	
日野町	1,373	450	63	513	37.4	36	72	0	1	73	0.195	
江府町	2,154	480	0	480	22.3	4	16	0	0	16	0.000	
溝口町	1,445	624	127	751	52.0	139	53	0	0	53	0.000	
合計	169,754	32,738	13,295	46,033	27.1	7,610	8,128	27	134	8,289	0.350	

(5) 平成14年度胃がん検診発見胃がん患者追跡調査報告

表1 報告胃癌追跡調査

	東 部			中 部			西 部			計
	車検診	施設検診	内視鏡 検 診	車検診	施設検診	内視鏡 検 診	車検診	施設検診	内視鏡 検 診	
確 定 胃 癌 発 見 率	6	16	39	8	1	1	6	16	49	142 (0.308)
	61(0.319)			10(0.124)			71(0.378)			
早 期 癌 (%)	5	14	29	4	0	1	4	10	37	104 (73.2)
	48(78.7)			5(50.0)			51(71.8)			
進 行 癌	1	2	10	4	1	0	2	6	12	38
切 除 例	6	16	39	8	1	1	6	14	45	136
非 切 除 例	0	0	0	0	0	0	0	2	4	6

手術拒否... 3 手術不能... 3
EMR : 東 (19) 中 (1) 西 (13)

表2 性・年齢別

	40~49	50~59	60~69	70~79	80~	計
男	3	7	29	43	16	98
女	1	6	7	23	7	44

表3 早期癌の肉眼分類

	東 部			中 部			西 部			計 (%)
	車検診	施設検診	内視鏡 検 診	車検診	施設検診	内視鏡 検 診	車検診	施設検診	内視鏡 検 診	
I	2	3	0	0	0	0	0	1	2	8(7.7)
IIa	1	2	4	0	0	0	1	0	10	18(17.3)
IIc	1	5	14	3	0	0	2	6	16	47(45.2)
IIc+III	1	1	3	0	0	0	1	0	0	6(5.8)
IIa+IIc	0	2	7	1	0	1	0	1	6	18(17.3)
そ の 他	0	1	1	0	0	0	0	2	3	7(6.7)
計	5	14	29	4	0	1	4	10	37	104

腫瘍登録データと照合の結果、胃がん検診を受診して、その後、がんと確定診断されたが、精検紹介状が市町村に報告されていない者が6名判明しました。その6名について確定調査を行い、集計に計上しています。

表4 進行癌の肉眼分類

	東 部			中 部			西 部			計 (%)
	車検診	施設検診	内視鏡 検 診	車検診	施設検診	内視鏡 検 診	車検診	施設検診	内視鏡 検 診	
1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1(2.6)
2	1	0	3	0	0	0	0	0	6	10(26.3)
3	0	0	2	1	0	0	1	3	3	10(26.3)
4	0	2	3	2	0	0	0	1	2	10(26.3)
5	0	0	2	1	1	0	0	2	1	7(18.5)
不 明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0(0.0)
計	1	2	10	4	1	0	2	6	12	38

表5 切除例の深達度

	東 部			中 部			西 部			計
	車検診	施設検診	内視鏡 検 診	車検診	施設検診	内視鏡 検 診	車検診	施設検診	内視鏡 検 診	
t 1	5	14	28	4	0	1	4	9	34	99
m	3	11	17	3	0	1	2	6	22	65
t 2	1	0	5	1	1	0	1	2	6	17
t 3	0	2	4	2	0	0	1	3	3	15
t 4	0	0	1	1	0	0	0	0	2	4
計	6	16	38	8	1	1	6	14	45	135
不 明	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1

表6 切除例の大きさ

mm	~ 10	11 ~ 20	小計 (%)	21 ~ 50	51 ~	計	不 明
車 検 診	5	4	9(45.0)	7	4	20	0
施 設 検 診	2	7	9(30.0)	15	6	30	1
内 視 鏡 検 診	13	20	33(40.2)	31	18	82	3
計	20	31	51(38.6)	53	28	132	4

表7 1 早期癌の占拠部位

部 位	車 検 診	施 設 検 診	内視鏡検診
U	1	0	10
M	5	14	34
L	7	10	22
全 体	0	0	0
計	13	24	66
不 明	0	0	1

部 位	車 検 診	施 設 検 診	内視鏡検診
小 弯	3	13	25
大 弯	2	1	10
前 壁	2	2	13
後 壁	6	8	17
全 周	0	0	1
計	13	24	66
不 明	0	0	1

表7 2 進行癌の占拠部位

部 位	車 検 診	施 設 検 診	内視鏡検診
U	4	2	5
M	1	4	13
L	1	1	3
全 体	1	2	1
計	7	9	22
不 明	0	0	0

部 位	車 検 診	施 設 検 診	内視鏡検診
小 弯	1	5	10
大 弯	0	0	5
前 壁	2	0	2
後 壁	3	1	1
全 周	1	3	4
計	7	9	22
不 明	0	0	0

表8 前年度受診歴を有する進行癌症例

地 区	検 診	歳	性	型	深達度	組織型	大きさ (mm)	占拠部位
東 部	施設検診	80	女	2	t4 (si)	pap	110×85	ML小弯前壁
	施設検診	76	男	4	t3 (se)	por2	210×210	UML全周
	内視鏡検診	78	女	2	t2 (mp)	tub1	54×31	L小弯
	内視鏡検診	67	男	4	t3 (se)	por2	100×75	ML小弯後壁
中 部	車検診	78	男	5	t2 (mp)	tub1	30×20	L後壁
	施設検診	50	男	5	t2 (mp)	por1	40×40	M小弯前壁
西 部	車検診	77	男	1	t2 (mp)	tub1	45×35	U前壁
	施設検診	77	男	5	t2 (ss)	tub2	80×80	U小弯 (残胃)
	施設検診	78	男	3	t3 (se)	por1	110×110	MU小弯前壁
	内視鏡検診	87	男	5	不明	不明	不明	不明
	内視鏡検診	81	男	4	t3 (se)	por	180×140	UML全周

表9 検診別癌発見率

	車 検 診	施 設 検 診	内視鏡検診
東 部	0.081	0.254	0.714
中 部	0.114	* 1	* 2
西 部	0.093	0.315	0.674

参考 * 1 = 0.189 (1/528) * 2 = 0.178 (1/564)

2. 子宮がん検診

1. 子宮がん検診実績

平成14年度の対象者数（30歳以上の女性のうち職場等で受診の機会がない者として各市町村が把握している人数）は125,040人で、このうち受診者数は27,197人（「頸部のみ」26,276人、「頸部+体部」921人）で受診率は21.8%で、平成13年度より受診者数は約700人増加したが、受診率は同率であった。また、一次検診受診者の経年受診率は77.6%で、僅かであるが若年層の新規受診者が増えたようである。

要精検者数は88人（車検診：10人、施設検診：78人）要精検率は0.32%で前年度より60人、0.24ポイント減少した。特に、集団検診の要精検率が平成13年度0.41%に比べ、平成14年度は0.08%に低下している。要因としては、経年受診者が多い、また、頸管部の細胞採取が不十分だった検体が多くあったのではないかと考えられる。

このうち、精密検査を受診したのは66人、精検受診率は75.0%で前年度より8.8ポイントも減少した。特に、一次検診を診療所で受診した人の精検受診率がかなり低下した。

精検結果は、子宮がん11人、異形成22人の合計33人であり、子宮がん発見率は0.12%で、前年度より異形成が約半数減少しているが、がんは3名も多く見ついている。

受診者数は僅かながら増加しているが、平成14年度は要精検率、精検受診率、がん発見率ともに平成13年度よりかなり減少した。

2. 子宮体部がん検診

子宮がん検診受診者数27,197人中、体部がん検診対象者数は1,084人で、一次検診会場での受診者は921人、また一次検診会場で受診できず医療機関で別途検査した者が83人で、受診者の合計は1,004人で、受診率は92.6%であった。

一次検診の結果、要精検となった者は13人、要精検率1.41%で、精検受診者数11人、精検受診率は84.6%であった。

精検の結果、子宮体部がんは一次検診会場の受診者から1人、子宮内膜増殖症4人発見され、医療機関での検査受診者からは子宮体部がんが2人、子宮内膜増殖症が5人発見された。がん発見率は1.20%であった。40～50歳の対象者が増えた。また、市部の対象者も増えている。

体部がん検診の受診者は年々僅かながら増えているが、子宮がんの35%は体部がんが占めると言われていることからすると、まだまだ受診者が少ないので、受診勧奨する必要がある。

3. 子宮がん検診発見子宮結がん追跡調査果

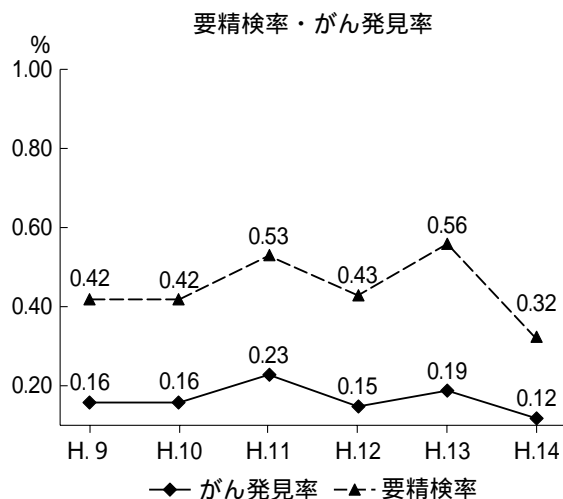
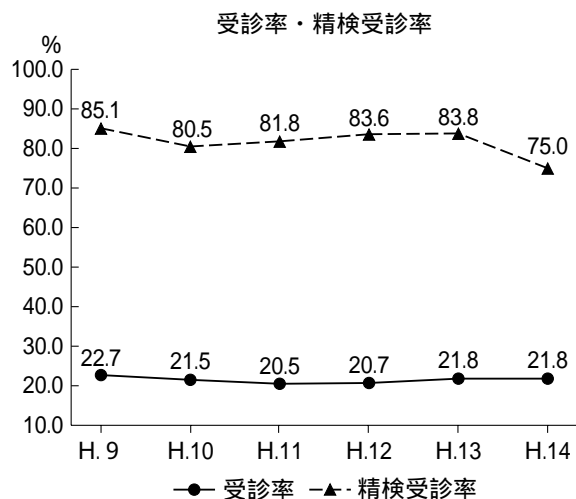
平成14年度は子宮頸部がん12名、異形成22名であった。平成13年度より減少した要因は、要精検率の低下と精検受診率の低下が影響していると思われる。

Ic期以上が2例で、全て初回受診者であった。

また、子宮体部がんが3例、子宮内膜増殖症は8例であった。

(1) 子宮頸部がん検診の受診者数及び受診率の推移

区	分	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度
一次検診	対象者数(人)	127,386	124,486	126,103	124,662	121,326	125,040
	受診者数(人)	28,953	26,787	25,874	25,797	26,486	27,197
	受診率(%)	22.7	21.5	20.5	20.7	21.8	21.8
一次検診結果	異常認めず(人)	28,832	26,674	25,737	25,687	26,338	27,109
	要精検者数(人)	121	113	137	110	148	88
	要精検率(%)	0.42	0.42	0.53	0.43	0.56	0.32
精密検査	受診者数(人)	103	91	112	92	124	66
	受診率(%)	85.1	80.5	81.8	83.6	83.8	75.0
精密検査結果	子宮がん又は異形成の者(人)	47	42	59	39	49	33
	精検受診者に占めるがん・がん疑いの割合(%)	45.6	46.2	52.7	42.4	39.5	50.0
	子宮がん発見率(%)	0.16	0.16	0.23	0.15	0.19	0.12
追跡調査結果	確定がん数(人)	11	5	19	10	8	12
	確定がん率(%)	0.04	0.02	0.07	0.04	0.03	0.04



(2) 平成14年度子宮頸部がん検診結果

1) 一次検診結果(年齢階級別)

年齢	対象者数(人)	一次検診受診者数(人)	受診率(%)	一次検診結果		要精検率(%)
				要精検者数	異常認めず	
30～34	7,657	1,518	19.8	13	1,505	0.86
35～39	7,240	1,780	24.6	10	1,770	0.56
40～44	7,982	2,491	31.2	10	2,481	0.40
45～49	9,205	2,492	27.1	10	2,482	0.40
50～54	11,885	3,234	27.2	12	3,222	0.37
55～59	10,594	3,090	29.2	13	3,077	0.42
60～64	13,570	3,726	27.5	9	3,717	0.24
65～69	15,447	4,105	26.6	7	4,098	0.17
70歳以上	41,460	4,761	11.5	4	4,757	0.08
計	125,040	27,197	21.8	88	27,109	0.32

2) 精密検査結果 (年齢階級別)

年 齢	精密検査受診者数(人)	精密検査受診率(%)	精 密 検 査 結 果				子宮がん発見率(%)
			異常認めず	その他の疾病	異 形 成	子 宮 が ん	
30 ~ 34	10	76.9	4	0	5	1	0.395
35 ~ 39	8	80.0	0	1	5	2	0.393
40 ~ 44	8	80.0	3	2	2	1	0.120
45 ~ 49	8	80.0	0	2	4	2	0.241
50 ~ 54	9	75.0	4	1	1	3	0.124
55 ~ 59	5	38.5	3	1	1	0	0.032
60 ~ 64	9	100.0	4	1	3	1	0.107
65 ~ 69	5	71.4	3	1	1	0	0.024
70歳以上	4	100.0	1	2	0	1	0.021
計	66	75.0	22	11	22	11	0.121

3) 検診機関別

a. 一次検診結果

一次検診機関	一次検診受診者数(人)	一 次 検 診 結 果		要精検率(%)
		要 精 検 者 数	異 常 認 め ず	
保健事業団	12,052	10	12,042	0.08
病 院	6,208	32	6,176	0.52
診 療 所	8,937	46	8,891	0.51
計	27,197	88	27,109	0.32

b. 精密検査結果

一次検診機関	精密検査受診者数(人)	精密検査受診率(%)	精 密 検 査 結 果				子宮がん発見率(%)
			異常認めず	その他の疾病	異 形 成	子 宮 が ん	
保健事業団	8	80.0	2	0	5	1	0.050
病 院	26	81.3	10	8	4	4	0.129
診 療 所	32	69.6	10	3	13	6	0.213
計	66	75.0	22	11	22	11	0.121

4) 平成14年度子宮頸部がん検診受診状況

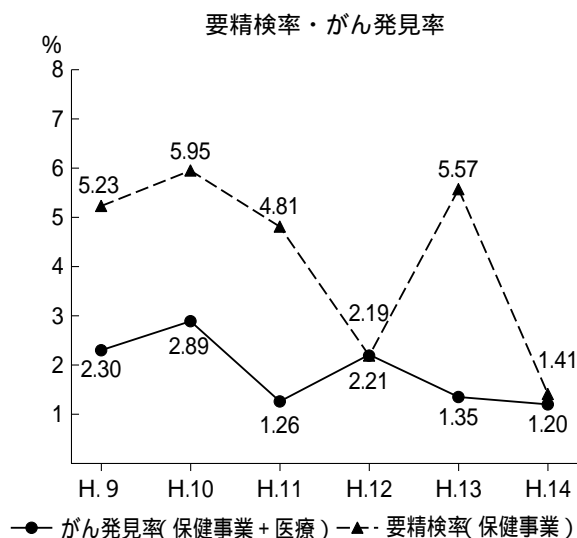
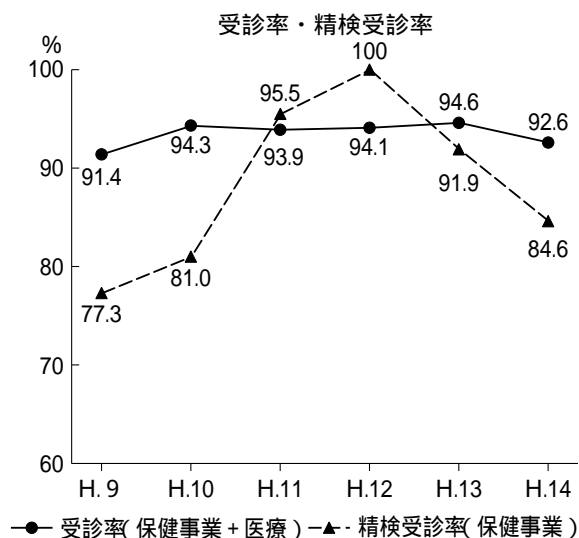
市町村名	対象者数		受診者数		要精密検査者			検査結果			人員					
	車検診 B	施設検診 C	計 D=B+C	受診率 (%) E=D/A	車検診 F	施設検診 G	計 H=F+G	要精密検査率 (%) I=H/D	精検受診者数 J	精検受診率 (%) K=J/H	異常認めず L	その他 の疾病 M	がん疑い N	がん O	異常者 総計 P	がん発見率 (%) Q=(N+O)/D
鳥取市	32,400	3,454	4,072	12.6	1	22	23	0.6	16	69.6	3	1	7	5	13	0.295
米子市	30,580	5,597	5,601	18.3	0	30	30	0.5	22	73.3	7	3	8	4	15	0.214
倉吉市	7,579	908	1,258	16.6	1	7	8	0.6	7	87.5	5	1	1	0	2	0.079
境港市	8,506	1,006	1,006	11.8	0	4	4	0.4	4	100.0	1	1	1	1	3	0.199
国府町	789	74	527	66.8	0	1	1	0.2	0	0.0	0	0	0	0	0	0.000
岩美町	1,987	744	744	37.4	1	0	1	0.1	1	100.0	0	1	0	0	1	0.134
福部村	672	105	180	26.8	1	0	1	0.6	0	0.0	0	0	0	0	0	0.000
郡家町	1,060	74	689	65.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.000
船岡町	907	343	343	37.8	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.000
河原町	2,054	347	482	23.5	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.000
八東町	1,326	392	392	29.6	1	0	1	0.3	0	0.0	0	0	0	0	0	0.000
若桜町	1,600	441	441	27.6	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.000
用瀬町	921	100	225	24.4	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.000
佐治村	660	190	231	35.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.000
智頭町	1,835	552	764	41.6	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.000
気高町	1,040	79	540	51.9	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.000
鹿野町	981	137	249	25.4	0	1	1	0.4	1	100.0	0	0	1	0	1	0.402
青谷町	2,191	270	360	16.4	1	0	1	0.3	1	100.0	0	0	1	0	1	0.278
羽合町	983	314	455	46.3	0	2	2	0.4	0	0.0	0	0	0	0	0	0.000
泊村	494	89	208	42.1	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.000
東郷町	1,334	180	312	23.4	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.000
三朝町	1,108	438	438	39.5	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.000
関金町	1,278	339	339	26.5	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.000
北条町	1,484	335	439	29.6	0	7	7	1.6	6	85.7	3	3	0	0	3	0.000
大栄町	1,471	879	879	59.8	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.000
東伯町	3,080	846	846	27.5	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.000
赤碕町	1,804	577	589	32.6	1	1	2	0.3	2	100.0	0	1	1	0	2	0.170
西伯町	608	224	224	36.8	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.000
会見町	1,045	198	229	21.9	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.000
岸本町	2,335	362	537	23.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.000
日吉津村	441	55	305	69.2	1	1	2	0.7	2	100.0	2	0	0	0	0	0.000
淀江町	2,578	71	580	22.5	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.000
大山町	761	338	362	47.6	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.000
名和町	1,818	124	415	22.8	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.000
中山町	687	152	205	29.8	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.000
日南町	1,696	511	511	30.1	1	0	1	0.2	1	100.0	1	0	0	0	0	0.000
日野町	999	362	403	40.3	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.000
江府町	1,410	4	374	26.5	0	2	2	0.5	2	100.0	0	1	1	0	2	0.267
溝口町	538	311	443	82.3	1	0	1	0.2	1	100.0	0	0	0	1	1	0.226
合計	125,040	12,052	27,197	21.8	10	78	88	0.3	66	75.0	22	11	22	11	44	0.121

(3) 子宮体部がん検診の受診者数及び受診率の推移

区	分	平成 9 年度			平成 10 年度			平成 11 年度		
		保 健 事業分	医療分	合計	保 健 事業分	医療分	合計	保 健 事業分	医療分	合計
一 次 検 診	対 象 者 数(人)	524		524	404		404	506		506
	受 診 者 数(人)	421	58	479	353	28	381	457	18	475
	受 診 率(%)	80.3		91.4	87.4		94.3	90.3		93.9
一次検診結果	異 常 認 め ず(人)	399			332			435		
	要 精 検 者 数(人)	22			21			22		
	要 精 検 率(%)	5.23			5.95			4.81		
精 密 検 査	受 診 者 数(人)	17			17			21		
	受 診 率(%)	77.3			81.0			95.5		
精密検査結果	子宮がん又はがんの 疑いのある者 (人)	8	3	11	6	5	11	5	1	6
	子宮がん発見率(%)	1.90	5.17	2.30	1.70	17.86	2.89	1.09	5.56	1.26

区	分	平成 12 年度			平成 13 年度			平成 14 年度		
		保 健 事業分	医療分	合計	保 健 事業分	医療分	合計	保 健 事業分	医療分	合計
一 次 検 診	対 象 者 数(人)	626		626	785		785	1,084		1,084
	受 診 者 数(人)	502	87	589	664	79	743	921	83	1,004
	受 診 率(%)	80.2		94.1	84.6		94.6	85.0		92.6
一次検診結果	異 常 認 め ず(人)	491			627			908		
	要 精 検 者 数(人)	11			37			13		
	要 精 検 率(%)	2.19			5.57			1.41		
精 密 検 査	受 診 者 数(人)	11			34			11		
	受 診 率(%)	100.0			91.9			84.6		
精密検査結果	子宮がん又はがんの 疑いのある者 (人)	2	11	13	8	2	10	5	7	12
	子宮がん発見率(%)	0.40	12.64	2.21	1.20	2.53	1.35	0.54	8.43	1.20

「保健事業分」については医療機関検診及び集団検診において検診を受けた者、「医療分」については集団検診で当日体部がん検診を受けられず、後日医療機関で受診した者です。



(4) 平成14年度子宮体部がん検診結果

1) 一次検診結果(年齢階級別)

年 齢	体 部 が ん 検診対象者数	一 次 検 診 受 診 者 数	受診率(%)	一 次 検 診 結 果		要精検率(%)
				要精検者数	異常認めず	
30 ~ 34	36	36	100.0	0	36	0.00
35 ~ 39	68	62	91.2	0	62	0.00
40 ~ 44	160	146	91.3	1	145	0.68
45 ~ 49	233	216	92.7	4	212	1.85
50 ~ 54	274	232	84.7	3	229	1.29
55 ~ 59	131	100	76.3	2	98	2.00
60 ~ 64	83	64	77.1	0	64	0.00
65 ~ 69	55	33	60.0	0	33	0.00
70歳以上	44	32	72.7	3	29	9.38
計	1,084	921	85.0	13	908	1.41

2) 精密検査結果(年齢階級別)

年 齢	精密検査受 診者数(人)	精 密 検 査 結 果				子宮がん 発見率(%)
		異常認めず	その他の疾病	子宮内膜増殖症	子宮体部がん	
30 ~ 34	0	0	0	0	0	0.00
35 ~ 39	1	0	0	1	0	1.61
40 ~ 44	1	1	0	0	0	0.00
45 ~ 49	2	2	0	0	0	0.00
50 ~ 54	3	1	0	2	0	0.86
55 ~ 59	2	1	0	1	0	1.00
60 ~ 64	0	0	0	0	0	0.00
65 ~ 69	0	0	0	0	0	0.00
70歳以上	2	1	0	0	1	3.13
計	11	6	0	4	1	0.54

3) 一次検診会場で子宮体部がん検診を受診できなかった者の結果(年齢階級別)

年 齢	体部がん検査 受診者数	検 査 結 果			
		異常認めず	その他の疾病	子宮内膜増殖症	子宮体部がん
30 ~ 34	0	0	0	0	0
35 ~ 39	4	4	0	0	0
40 ~ 44	5	4	1	0	0
45 ~ 49	7	5	1	1	0
50 ~ 54	24	19	3	1	1
55 ~ 59	10	6	3	1	0
60 ~ 64	10	8	0	1	1
65 ~ 69	15	13	1	1	0
70歳以上	8	6	2	0	0
計	83	65	11	5	2

4)平成14年度子宮体部がん検診受診状況

市町村名	対象者数		受診者数		要精密検査者		検査結果		果別人員							
	車検診 B	施設検診 C	計 D=B+C	受診率 (%) E=D/A	車検診 F	施設検診 G	計 H=F+G	要精密検査率 (%) I=H/D	精検受診者数 J	精検受診率 (%) K=J/H	異常認めず L	その他の疾病 M	子宮内膜増殖症 N	がん O	異常者 総計 P	がん発見率 (%) Q=(N+O)/D
鳥取市	260	230	230	88.5	2	2	2	0.9	2	100.0	1	0	1	0	1	0.435
米子市	468	458	458	97.9	7	7	7	1.5	6	85.7	3	0	2	1	3	0.655
倉吉市	78	59	59	75.6	1	1	1	1.7	1	100.0	1	0	0	0	0	
境港市	27	27	27	100.0	0	0	0		0						0	
国府町	6	1	1	16.7	0	0	0								0	
岩美町			0				0								0	
福部村	9	8	8	88.9	0	0	0								0	
郡家町	10	1	1	10.0	0	0	0								0	
船岡町	1		0				0								0	
河原町	3	0	0				0								0	
八東町	4		0				0								0	
若桜町	6		0				0								0	
用瀬町	5	5	5	100.0	0	0	0								0	
佐治村	4	4	4	100.0	0	0	0								0	
智頭町	8		0				0								0	
気高町	27	25	25	92.6	0	0	0								0	
鹿野町	4	4	4	100.0	0	0	0								0	
青谷町			0				0								0	
羽合町	15	7	7	46.7	0	0	0								0	
泊村	9	9	9	100.0	2	2	2	22.2	1	50.0	1	0	0	0	0	
東郷町	10	7	7	70.0	0	0	0								0	
三朝町	7		0				0								0	
関金町	3		0				0								0	
北条町	2		0				0								0	
大栄町	7		0				0								0	
東伯町			0				0								0	
赤碕町	18		0				0								0	
西伯町	7	7	7	100.0		0	0								0	
倉見町			0				0								0	
岸本町	19	16	16	84.2		0	0								0	
日吉津村	3	2	3	100.0	0	0	0								0	
淀江町	22	22	22	100.0		0	0								0	
大山町	6		0				0								0	
名和町	9	9	9	100.0		0	0								0	
中山町	3	2	3	100.0	0	0	0								0	
日南町	3		0				0								0	
日野町	6	1	1	16.7		0	0								0	
江府町	15	15	15	100.0		1	1	6.7	1	100.0	0	0	1	0	1	6.667
溝口町			0				0								0	
合計	1,084	2,919	921	85.0	0	13	13	1.4	11	84.6	6	0	4	1	5	0.543

(5) 平成14年度子宮がん検診発見子宮がん患者追跡調査結果

表1 子宮がん検診追跡調査結果(頸部)

最終診断	車検診		施設検診	
	平成13年度	平成14年度	平成13年度	平成14年度
異形成	11	6	30	16
頸癌0期	1	1	3	6
頸癌I a期	0	0	1	3
頸癌I b期以上	0	0	3	2
合計	12	7	37	27

表2 子宮がん検診追跡調査結果(体部)

最終診断	平成13年度	平成14年度
増殖症	9	8
体癌I a、I b期	2	1
体癌I c期以上	0	2
合計	11	11

表3 発見子宮がん症例(I b期以上)のがん検診受診歴

受診歴	車検診	施設検診	計
前年受診	0	0	0
2年間隔	0	0	0
3年以上の間隔	0	0	0
初回受診	0	2	2

表4 治療機関

	0期	I a期	I b期以上	体癌
鳥大医附属病院	3	2	0	2
鳥取県立中央病院	1	0	0	0
鳥取市立病院	1	1	1	0
鳥取赤十字病院	0	0	1	0
国立米子病院	2	0	0	1

3 . 肺 が ん 検 診

1 . 肺がん検診実績

平成14年度の対象者数（40歳以上の者のうち職場等で受診の機会がない者として各市町村が把握している人数）は177,198人で、このうち受診者数は63,616人（車検診：51,007人、施設検診：12,609人）で、受診率は35.9%であった。平成13年度より受診者数は985人増加したが、受診率は同率であった。

要精検者数は343人で、要精検率は0.54%で平成13年度より127人、0.20ポイント増加した。そのうち、精検受診者は271人、精検受診率は79.0%で、前年度より119人、8.6ポイントも増加した。精検受診率は上向きとなったが、過去の成績と比べると依然として低い結果である。また、依然として、東部地区の精検受診率が低い。

精検の結果、肺がん又はがん疑いのある者59人が発見され、がん発見率は0.09%であった。

また、受診者総数のうち経年受診者は76.6%を占め、この経年受診者からはがんが31人発見されており、発見率は0.064%、非経年受診者からの発見がんは12人、発見率0.081%で、経年受診者からの発見率が高かった。

X線検査受診者63,616人中、喀痰検査の対象者となる高危険群所属者は8,459人で、そのうち喀痰検査を受診した者は5,148人であった。高危険群所属者8,459人のうち、がん・がん疑いの者が11人発見され、がん発見率は0.130%であった。

非高危険群所属者のうち、がん・がん疑いの者が48人発見され、がん発見率は0.087%で、高危険群所属者のがん発見率の方が約1.5倍（平成12年度3.1倍、平成13年度1.3倍）高かった。

受診率は横這い状態であるが、平成14年度は要精検、精検受診、発見がん共に数、率が増加した。これは、肺がん部会・肺がん対策専門委員会でX線検査D判定の中でがんが強く疑われる者はE判定とするようにということから要精検率は高くなったが、発見がん数は例年並であった。

2 . 肺がん検診発見肺がん追跡調査結果

1) 平成14年度は原発性肺癌48例（発見率10万対75）、転移性肺腫瘍6例、合計54例であった。

(1) 胸部X線のみでの発見肺がんの割合は45例（93.8%）と引き続き、高い傾向が続いている。内訳はE発見が27/45（60%）と例年より高率であった。

(2) 女性肺癌は20/48例（41.7%）、腺癌は32/48例（66.7%）と引き続き、高い傾向が続いている。

(3) 手術症例の割合は62.5%と増加し、その背景にI期肺癌の割合の増加（63.3%）があり、手術の根治性も高かった。

(4) 腫瘍径は平均28.8mmと小径が増加し、2cm以下は19例（39.6%）であった。

(5) また、腫瘍登録データとの照合を行ったところ、肺がん検診に受診して肺癌であったのに報告されていない例が10例あり、そのうちX線D判定が6例、E判定が2名であった。

2) 昭和62年から平成14年までの発見肺癌は544例（発見率10万対56）であった。診断方法は胸X457例（84.0%）、細胞診50例（9.2%）、両者36例（6.6%）である。最近の特徴として細胞診よりの肺癌発見が少なくなっている。平均年齢70.9歳、男：女＝347：197で、最近の女性肺癌の増加が著しい。TNM分類0 + I期291例（53.5%）で早期肺癌例は約半数である。310例（57.0%）に手術が行われた。

手術有無別の累積生存率、術後病期別（新分類）の累積生存率は次頁の図に示す。全症例（544例）の5生率37.3%、10生率21.2%であり、手術例の5生率58.7%、10生率34.6%である。そして

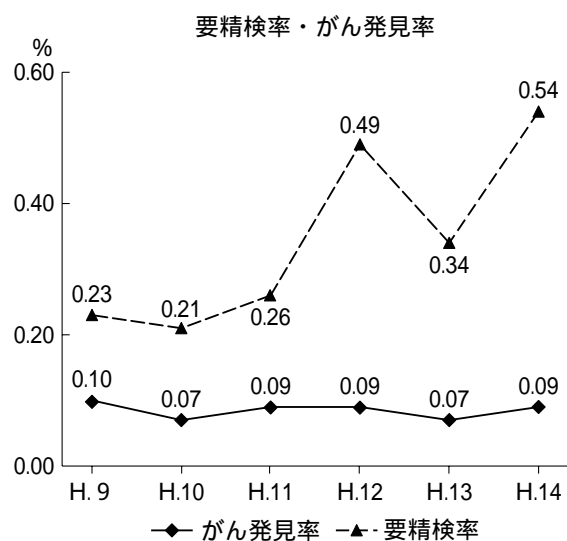
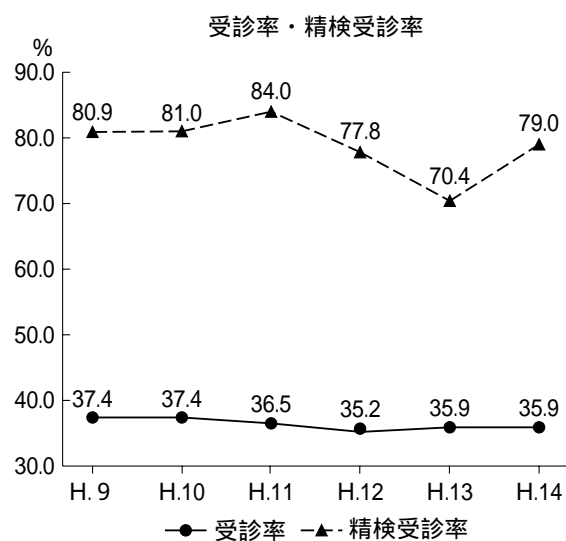
手術例の1A期(141例)の5生率は81.7%、10生率は58.7%と良好な結果を示している。

しかし、近年精検受診率が減少している。また、喀痰検査D、E判定から早期の肺がんが多く見つかるのに、近年、喀痰検査実施割合が減少している。特に、高危険群所属者の喀痰実施率が非常に低いので、今後対策を検討する必要がある。

(1) 肺がん検診の受診者数及び受診率の推移

区 分		平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度
一 次 検 診	対 象 者 数(人)	179,302	172,667	177,815	175,818	174,453	177,198
	受 診 者 数(人)	67,092	64,540	64,845	62,837	62,631	63,616
	受 診 率(%)	37.4	37.4	36.5	35.7	35.9	35.9
一 次 検 診 結 果	異 常 認 め ず(人)	66,940	64,403	64,676	62,526	62,415	63,273
	要 精 検 者 数(人)	152	137	169	311	216	343
	要 精 検 率(%)	0.23	0.21	0.26	0.49	0.34	0.54
精 密 検 査	受 診 者 数(人)	123	111	142	242	152	271
	受 診 率(%)	80.9	81.0	84.0	77.8	70.4	79.0
精 密 検 査 結 果	肺がん又はがんの 疑いのある者(人)	70	48	58	59	43	59
	肺がん発見率(%)	0.10	0.07	0.09	0.09	0.07	0.09
追 跡 調 査 結 果	確 定 が ん 数(人)	55(53)	47(40)	48(41)	48(42)	37(30)	54(48)
	確 定 が ん 率(%)	0.08	0.07	0.07	0.08	0.06	0.08

確定がん数の()の数字は原発性肺癌です。



(2) 平成14年度肺がん検診結果(検診機関別)

1) 一次検診結果(年齢階級別)

a X線検査結果

年 齢	対象者数 A		X 線 検 査								X 線 フ ィ ル ム 読 影 結 果							
			X線検査 受診者数 B		受診率 (%) C=B/A		経年受診 者数再掲 D		経年受診 者数割合 (%) E=D/B		異常認めず F		要精検 者 数 G		要精検率 (%) H=G/B		X線検査受診 者中高危険群 所 属 者 数 I	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
40 ~ 44	3,636	6,772	752	1,716	20.7	25.3	428	995	56.9	58.0	751	1,711	1	5	0.13	0.29	15	7
45 ~ 49	4,909	7,926	970	2,006	19.8	25.3	652	1,412	67.2	70.4	968	1,999	2	7	0.21	0.35	25	5
50 ~ 54	6,904	10,856	1,515	3,425	21.9	31.6	1,033	2,268	68.2	66.2	1,505	3,415	11	10	0.73	0.29	705	45
55 ~ 59	6,323	9,840	1,468	3,813	23.2	38.8	1,009	2,829	68.7	74.2	1,461	3,795	7	18	0.48	0.47	698	62
60 ~ 64	9,215	13,634	2,617	5,332	28.4	39.1	1,830	4,100	69.9	76.9	2,604	5,315	15	18	0.57	0.34	1,089	69
65 ~ 69	10,953	16,015	4,207	7,336	38.4	45.8	3,272	5,884	77.8	80.2	4,185	7,303	22	33	0.52	0.45	1,606	68
70 ~ 74	10,955	15,863	4,945	7,454	45.1	47.0	3,983	5,987	80.5	80.3	4,892	7,416	56	38	1.13	0.51	1,892	62
75 ~ 79	7,883	13,101	3,785	5,613	48.0	42.8	3,130	4,655	82.7	82.9	3,761	5,580	25	33	0.66	0.59	1,359	39
80歳以上	6,631	15,782	2,422	4,240	36.5	26.9	1,962	3,310	81.0	78.1	2,406	4,214	16	26	0.66	0.61	687	26
計	67,409	109,789	22,681	40,935	33.7	37.3	17,299	31,440	76.3	76.8	22,533	40,748	155	188	0.68	0.46	8,076	383
合 計	177,198		63,616		35.9		48,739		76.6		63,281		343		0.54		8,459	

b 喀痰細胞診結果

年 齢	喀痰細胞診受診者数 (人) J		喀 痰 細 胞 診 結 果				要精密検率(%) L/J	
			精検不要 K		要精検者数 L			
	男	女	男	女	男	女	男	女
40 ~ 44	87	25	87	25	0	0	0.00	0.00
45 ~ 49	132	26	132	26	0	0	0.00	0.00
50 ~ 54	293	65	293	65	0	0	0.00	0.00
55 ~ 59	350	108	350	108	0	0	0.00	0.00
60 ~ 64	544	165	543	165	1	0	0.18	0.00
65 ~ 69	825	190	825	190	0	0	0.00	0.00
70 ~ 74	1,012	153	1,009	153	3	0	0.30	0.00
75 ~ 79	746	91	745	91	1	0	0.13	0.00
80歳以上	283	53	283	53	0	0	0.00	0.00
計	4,272	876	4,267	876	5	0	0.12	0.00
合 計	5,148		5,143		5		0.10	

2) 精密検査結果(年齢階級別)

年齢	要精検者数		精密検査受診者数		精密検査受診率(%)		精密検査結果								肺がん発見率(%)	
							異常認めず		その他の疾病		肺がん疑い		肺がん			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
40～44	1	5	1	5	100.0	100.0	1	3	0	2	0	0	0	0	0.000	0.000
45～49	2	7	2	5	100.0	71.4	1	5	0	0	0	0	1	0	0.103	0.000
50～54	11	10	8	7	72.7	70.0	2	6	4	1	0	0	2	0	0.132	0.000
55～59	7	18	5	17	71.4	94.4	5	11	0	4	0	0	0	2	0.000	0.052
60～64	15(1)	18	12	16	80.0	88.9	7	7	4	5	0	0	1	4	0.038	0.075
65～69	22	33	16	25	72.7	75.8	5	17	7	7	1	0	3	1	0.095	0.014
70～74	5(3)	38	46	31	82.1	81.6	14	17	17	11	3	0	12	3	0.303	0.040
75～79	25(1)	33	22	28	88.0	84.8	5	11	10	8	0	2	7	7	0.185	0.160
80歳以上	16	26	8	17	50.0	65.4	2	6	3	4	1	4	2	3	0.124	0.165
計	155(5)	188	120	151	77.4	80.3	42	83	45	42	5	6	28	20	0.145	0.064
合計	343		271		79.0		125		87		11		48		0.093	

()はX線検査と喀痰細胞診検査結果が両者とも要精検

3) 検診機関別

a. 一次検診結果

一次検診機関	一次検診受診者数(人)		一次検診結果				要精検率(%)	
			要精検者数		異常認めず			
	男	女	男	女	男	女	男	女
保健事業団	17,850	32,285	94	118	17,756	32,167	0.53	0.37
中国労働衛生協会	313	559	8	16	305	543	2.56	2.86
病院	2,139	3,771	40	40	2,099	3,731	1.87	1.06
診療所	2,379	4,320	13	14	2,366	4,306	0.55	0.32
計	22,681	40,935	155	188	22,526	40,747	0.68	0.46
合計	63,616		343		63,273		0.54	

b. 精密検査結果

年齢	要精検者数(人)		精密検査受診者数		精密検査受診率(%)		精密検査結果								肺がん発見率(%)	
							異常認めず		その他の疾病		肺がん疑い		肺がん			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
保健事業団	94	118	79	97	84.0	82.2	23	51	26	27	5	4	25	15	0.168	0.059
中国労働衛生協会	8	16	5	16	62.5	100.0	1	9	4	6	0	0	0	1	0.000	0.179
病院	40	40	29	30	72.5	75.0	17	19	11	8	0	1	1	2	0.047	0.080
診療所	13	14	7	8	53.8	57.1	1	4	4	1	0	1	2	2	0.084	0.069
計	155	188	120	151	77.4	80.3	42	83	45	42	5	6	28	20	0.145	0.064
合計	343		271		79.0		125		87		11		48		0.093	

4)平成14年度肺がん検診受診状況

市町村名	対象者数		受診者数		要精密検査者				検査結果別人員							
	A	車検診 施設検診 C	D = B + C	E = D / A	F	G	H = F + G	I = H / D	J	K = J / H	L	M	N	O	P	がん発見率 (%) Q = (N + O) / D
鳥取市	38,500	372	9,953	25.9	0	42	42	0.42	22	52.4	7	11	1	3	15	0.040
米子市	42,100	4,295	4,295	10.2	30		30	0.70	24	80.0	11	8	2	3	13	0.116
倉吉市	11,995	1,817	2,429	20.3	5	4	9	0.37	7	77.8	1	0	1	5	6	0.247
境港市	11,809	994	994	8.4	12		12	1.21	10	83.3	2	7	0	1	8	0.101
国府町	1,884	1,149	1,149	61.0	1		1	0.09	1	100.0	1	0	0	0	0	0.000
岩美町	3,006	1,013	1,013	33.7	2		2	0.20	2	100.0	1	1	0	0	1	0.000
福部村	958	431	431	45.0	1		1	0.23	1	100.0	0	0	0	1	1	0.232
都家町	2,189	1,597	1,700	77.7	11	2	13	0.76	7	53.8	5	0	0	2	2	0.118
船岡町	1,620	1,072	1,072	66.2	4		4	0.37	4	100.0	0	0	1	3	4	0.373
河原町	2,355	949	1,174	49.9	1	1	2	0.17	2	100.0	1	1	0	0	1	0.000
八東町	2,169	1,201	1,201	55.4	1		1	0.08	1	100.0	0	1	0	0	1	0.000
若桜町	1,357	724	724	53.4	1		1	0.14	1	100.0	0	0	0	1	1	0.138
用瀬町	2,394	747	780	32.6	2	0	2	0.26	2	100.0	0	1	1	0	2	0.128
佐治村	1,166	485	663	56.9	2	1	3	0.45	1	33.3	0	0	0	1	1	0.151
智頭町	2,789	1,358	1,584	56.8	1	1	2	0.13	0	0.0				0	0	0.000
気高町	2,042	955	1,574	77.1	1	4	5	0.32	5	100.0	2	1	0	2	3	0.127
鹿野町	1,435	881	1,043	72.7	2	1	3	0.29	2	66.7	0	1	0	1	2	0.096
青谷町	3,108	1,397	1,661	53.4	0	32	32	1.93	26	81.3	18	8	0	0	8	0.000
羽台町	1,703	1,255	1,305	76.6	4	5	9	0.69	8	88.9	6	0	0	2	2	0.153
泊村	731	418	652	89.2	0	0	0	0.00	0	0.0				0	0	0.000
東郷町	2,672	1,775	1,803	67.5	8	2	10	0.55	7	70.0	1	2	2	2	6	0.222
三朝町	2,094	1,735	1,735	82.9	3		3	0.17	3	100.0	2	0	0	1	1	0.058
関金町	2,020	978	978	48.4	2		2	0.20	2	100.0	1	0	0	1	1	0.102
北条町	1,944	1,303	1,515	77.9	27	12	39	2.57	33	84.6	23	9	0	1	10	0.066
大栄町	2,676	2,349	2,349	87.8	9		9	0.38	9	100.0	3	0	2	4	6	0.255
東伯町	4,170	3,147	3,147	75.5	14		14	0.44	14	100.0	3	9	0	2	11	0.064
赤碕町	2,920	2,262	2,288	78.4	3	0	3	0.13	3	100.0	0	0	0	3	3	0.131
西伯町	1,708	1,018	1,018	59.6	0		0	0.00	0	0.0				0	0	0.000
糸見町	1,151	718	718	62.4	12		12	1.67	10	83.3	8	2	0	0	2	0.000
岸本町	3,105	1,443	1,443	46.5	12		12	0.83	10	83.3	6	2	1	1	4	0.139
日吉津村	565	413	413	73.1	0		0	0.00	0	0.0				0	0	0.000
淀江町	3,057	2,172	2,172	71.1	16		16	0.74	15	93.8	4	7	0	4	11	0.184
大山町	2,241	1,893	1,949	87.0	5	1	6	0.31	6	100.0	2	3	0	1	4	0.051
名和町	3,121	1,346	1,346	43.1	5		5	0.37	2	40.0	0	1	0	1	2	0.074
中山町	2,138	1,520	1,520	71.1	5		5	0.33	4	80.0	2	1	0	1	2	0.066
日南町	2,533	1,407	1,407	55.6	3		3	0.21	2	66.7	2	0	0	0	0	0.000
日野町	1,373	691	691	50.3	0		0	0.00	0	0.0				0	0	0.000
江府町	1,257	872	872	69.4	24		24	2.75	21	87.5	10	10	0	1	11	0.115
溝口町	1,143	855	855	74.8	6		6	0.70	4	66.7	3	1	0	0	1	0.000
合計	177,198	51,007	63,616	35.9	235	108	343	0.54	271	79.0	125	87	11	48	146	0.093

(3) 平成14年度肺がん検診発見がん患者の予後調査の確定について

肺がん確定診断（原発性544、転移性80）	624例
他部位癌（鼻腔1、咽頭2、喉頭3、その他4）	10例
他の良性疾患	22例
<hr/>	
総計	656例

1) 肺がん確定診断

(単位：例)

	62年	63年	平成元年	平成2年	平成3年	平成4年	平成5年	平成6年
原発性肺癌	6	22	18	32	36	37	41	22
転移性肺癌	0	4	4	4	7	9	3	5
合計	6	26	22	36	43	46	44	27

	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	合計
原発性肺癌	38	38	53	40	41	42	30	48	544
転移性肺癌	5	4	2	7	7	6	7	6	80
合計	43	42	55	47	48	48	37	54	624

2) 原発性肺がん診断方法

				〔H14年度集計〕			
胸 X 間接	Dのみ	203例	} 457例(84.0%)	Dのみ	18例	} 45例(93.8%)	
	Eのみ	254例		Eのみ	27例		
細胞診	Dのみ	18例	} 50例(9.2%)	Dのみ	0例	} 1例(2.1%)	
	Eのみ	32例		Eのみ	1例		
胸 X 線間接と細胞診	D + D	10例	} 36例(6.6%)	D + D	1例	} 2例(4.1%)	
	D + E	8例		D + E	0例		
	E + D	4例		E + D	0例		
	E + E	14例		E + E	1例		
	不明	1例	1例(0.2%)	不明	0例	0例(0.0%)	
計			544例(100%)	計 48例			

3) 精密検診受診・原発性肺癌発見の状況

年	受診者 (人)	要精検者 (人)	精検受診者 (人)	肺癌発見者 (人)	発見者 (対人口10万)
S 62	16,420	745 (4.54%)	652 (87.5%)	6	37
S 63	38,445	65 (0.17%)	60 (92.3%)	22	57
H 1	52,473	117 (0.22%)	107 (91.5%)	18	34
H 2	68,374	153 (0.22%)	132 (86.3%)	32	49
H 3	70,189	95 (0.14%)	89 (93.7%)	36	51
H 4	69,909	133 (0.19%)	111 (83.5%)	37	53
H 5	69,027	133 (0.19%)	98 (72.9%)	41	59
H 6	66,316	103 (0.16%)	89 (86.4%)	22	33
H 7	65,226	162 (0.25%)	135 (83.3%)	38	58
H 8	64,169	114 (0.18%)	91 (79.8%)	38	59
H 9	67,092	152 (0.23%)	123 (80.9%)	53	79
H 10	64,540	137 (0.21%)	111 (81.0%)	40	62
H 11	64,845	169 (0.26%)	142 (84.0%)	41	64
H 12	62,837	311 (0.49%)	242 (77.8%)	42	67
H 13	62,631	216 (0.34%)	152 (70.4%)	30	48
H 14	63,616	343 (0.54%)	271 (79.0%)	48	75
計	966,109	3,148 (0.33%)	2,605 (82.8%)	544	56

4) 原発性肺癌 (544例)

a. 年齢・性別

区分	原発性肺癌	比率 (%)
~59歳	43例	7.9
60~69歳	190	34.9
70~79歳	237	43.6
80~	74	13.6
計	544	100.0

平均年齢 = 70.9

男 : 女 = 347例 : 197例

[H14年度集計]

区分	原発性肺癌	比率 (%)
50~59歳	5例	10.4
60~69歳	9	18.8
70~79歳	28	58.3
80~	6	12.5
計	48	100.0

平均年齢 = 72.0

男 : 女 = 28例 : 20例

b . 原発性肺癌の臨床病期と組織型

組織型 \ 病期	Occult	I	II	III A	III B	IV	不明	計 (%)
扁平上皮癌	2	93	12	43	9	14	7	180(33.1)
腺癌	0	169	16	35	13	42	2	277(50.9)
大細胞癌	0	4	0	2	2	0	0	8(1.5)
小細胞癌	0	7	7	9	3	5	2	33(6.1)
腺扁平上皮癌	0	2	0	2	0	0	0	4(0.7)
腺様嚢胞癌	0	0	0	1	0	0	0	1(0.2)
不明	0	14	2	2	3	6	14	41(7.5)
計	2 (0.4)	289 (53.1)	37 (6.8)	94 (17.3)	30 (5.5)	67 (12.3)	25 (4.6)	544(100)

[H14年度集計]

臨床病期	(%)
Occult	0例
I	33(68.8)
II	1
III A	8
III B	0
IV	5
不明	1
計	48

組織型	(%)
扁平上皮癌	9例
腺癌	33(66.7)
大細胞癌	1
小細胞癌	2
腺扁平上皮癌	0
腺様嚢胞癌	0
不明	4
計	48

c . 原発性肺癌の手術症例 (310例、手術率 : 57.0%)

(a) 臨床病期、術後病期

臨床病期 (%)		術後病期 (%)	
Occult	2例	Occult	2例
I	223(71.9)	I	203(65.5)
II	19	II	24
III A	54	III A	57
III B	9	III B	14
IV	3	IV	10
計	310	計	310

[H14年度集計]

原発性肺癌の手術症例

(30例、手術率 : 62.5%)

臨床病期 (%)		術後病期 (%)	
Occult	0例	Occult	0例
I	25(83.3)	I	19(63.3)
II	0	II	5
III A	5	III A	6
III B	0	III B	0
IV	0	IV	0
計	30	計	30

(b) 組織型分類

組織型	(%)
扁平上皮癌	96例
腺癌	194(62.6)
大細胞癌	8
小細胞癌	5
腺扁平上皮癌	5
腺様嚢胞癌	1
不明	1
計	310

(c) 根治度

根治度分類	(%)
絶対的治癒手術	177例(57.1)
相対的治癒手術	67
相対的非治癒手術	38
絶対的非治癒手術	24
不明	4
計	310

} 244(78.7%)

〔H14年度集計〕

組織型	(%)
扁平上皮癌	6例
腺癌	23(76.7)
大細胞癌	1
小細胞癌	0
腺扁平上皮癌	0
計	30

根治度分類	(%)
絶対的治癒手術	17例(56.7)
相対的治癒手術	9
相対的非治癒手術	4
絶対的非治癒手術	0
計	30

} 26(86.7%)

d. 新病期分類の手術症例

(a) 病期分類

(全症例：544例、H14年度：48例)

臨床病期	全症例 (%)	H14年度
Occult	2例	0例
I A	194(35.7)	26(54.2)
I B	87	7
II A	17	1
II B	38	0
III A	83	8
III B	31	0
IV	68	5
不明	24	1
計	544	48

(b) 術後病理病期

(全手術症例：310例、H14年度：30例)

術後病期	全症例 (%)	H14年度 (%)
Occult	2例	0例
I A	140(45.2)	12(40.0)
I B	61	6
II A	12	3
II B	23	4
III A	48	5
III B	14	0
IV	10	0
計	310	30

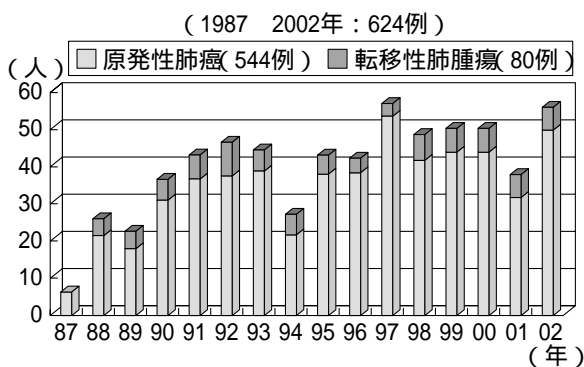
e . 腫瘍径

腫瘍径(mm)	H10年度(%)	H11年度(%)	H12年度(%)	H13年度(%)	H14年度(%)
0~10	1例	2例	1例	0例	2例
11~20	9(22.5)	10	15(35.7)	11(36.7)	17(35.4)
21~30	6	15(36.6)	7	6	13
31~40	6	9	8	9	8
41~50	7	1	3	1	3
51~	7	2	6	3	3
不明	4	2	2	0	2
計	40	41	42	30	48
平均	37.1mm	27.9mm	32.2mm	33.5mm	28.8mm

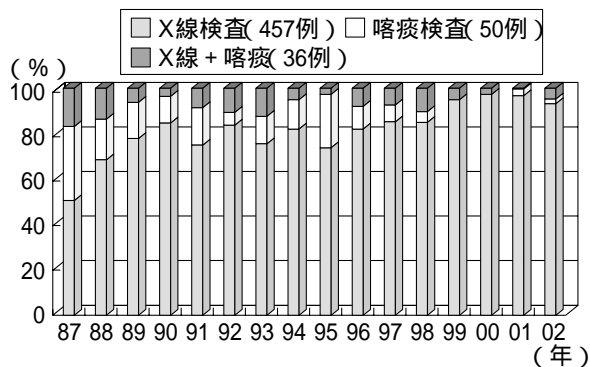
5) 転移性肺癌(80例)

大腸がん:23例 腎臓癌:9例 乳癌:7例 甲状腺癌:7例 肝臓癌:4例
 前立腺癌:4例 胆のう癌:3例 卵巣癌:2例 胃癌:2例 肺癌:2例
 子宮癌:2例 尿管癌:2例 食道癌:2例 咽頭癌:1例 肛門癌:1例
 顎下腺:1例 子宮肉腫:1例 胸腺癌:1例 膵臓癌:1例 膀胱癌:1例
 胆管癌:1例 不明:3例

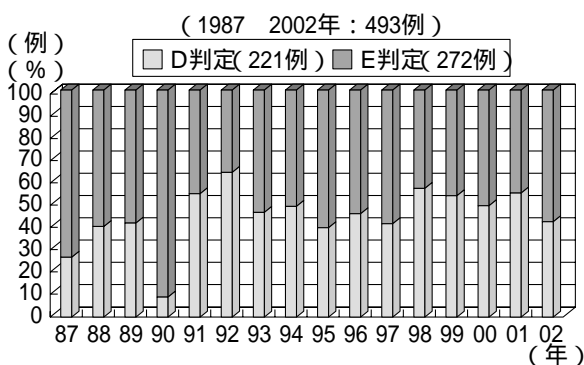
6) 検診発見肺癌の推移



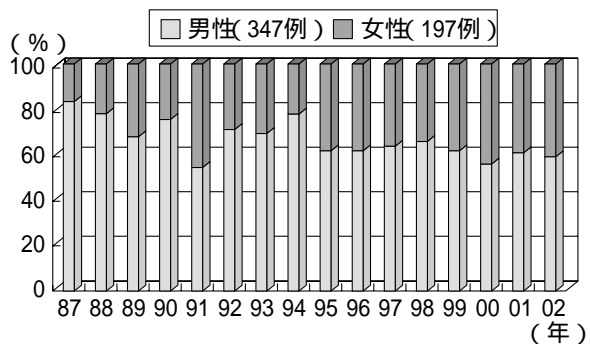
7) 検診発見肺癌の発見動機



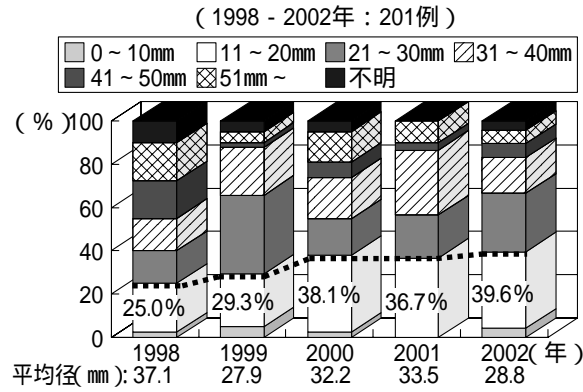
8) 胸部X線発見肺癌



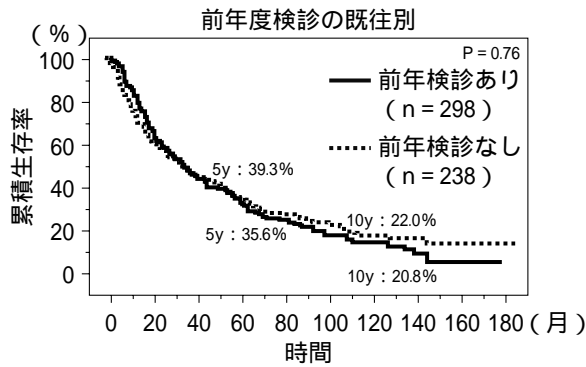
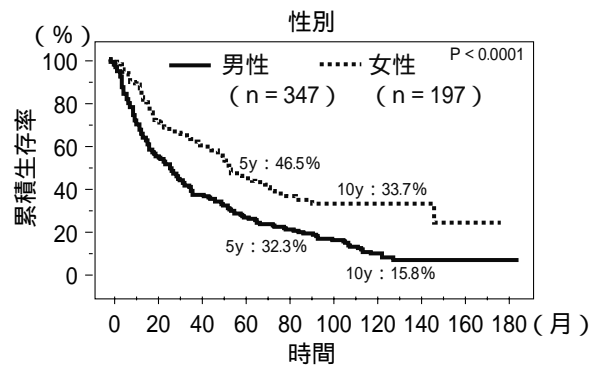
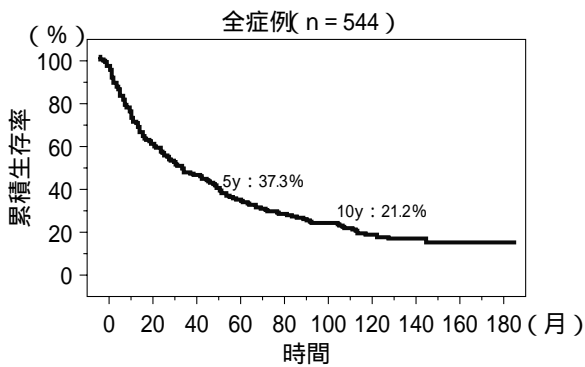
9) 検診発見肺癌の性差



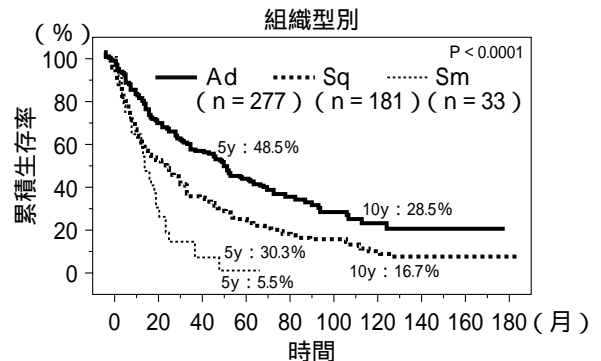
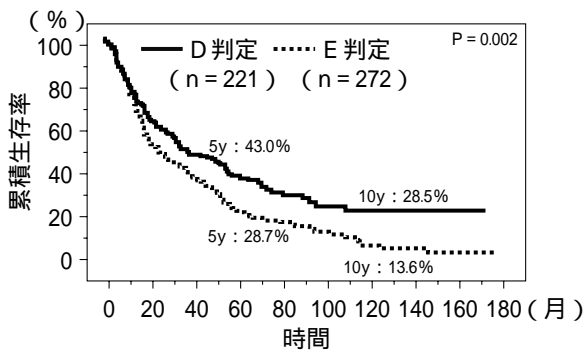
10) 検診発見肺癌の腫瘍径



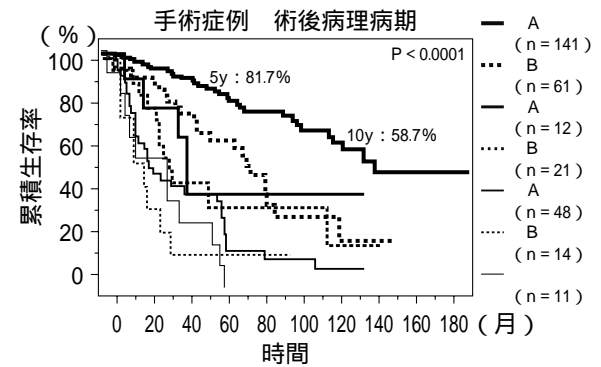
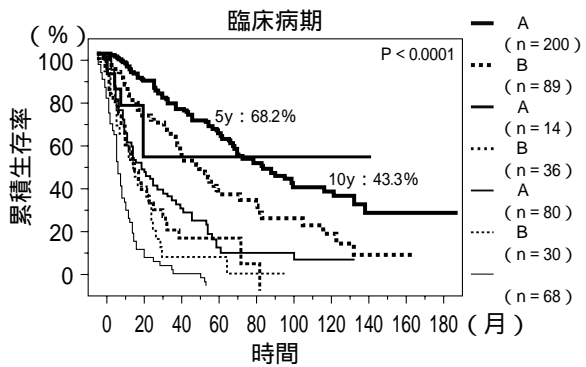
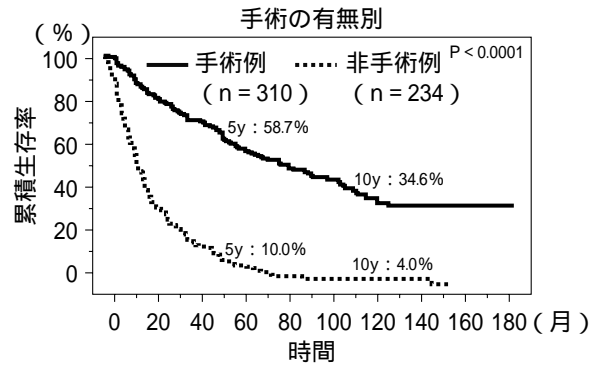
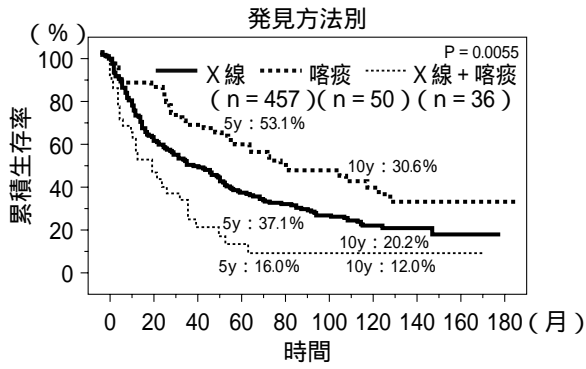
11) 検診発見肺癌の予後



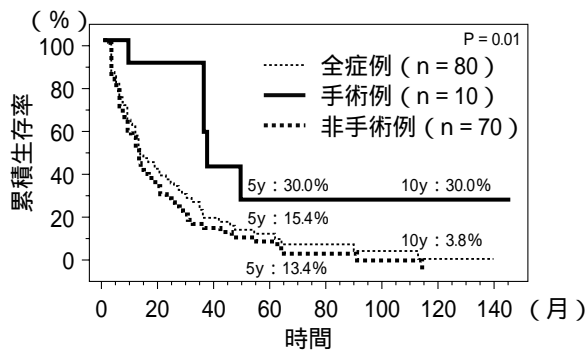
12) DとE判定 発見肺癌の予後の比較



13) 検診発見肺癌の予後



14) 検診発見転移性肺腫瘍の予後



4 . 乳 が ん 検 診

1 . 乳がん検診実績

平成14年度の対象者数（30歳以上の女性のうち職場等で受診の機会がない者として各市町村が把握している人数）は127,944人で、このうち受診者数は31,105人（出張検診：14,401人、施設検診：16,704人）で受診率は24.3%であった。平成12年度以降、受診者数、率ともに僅かながら増加傾向である。

要精検者数は898人（出張検診：149人、施設検診：749人）、要精検率は2.89%で、精検受診者数735人、精検受診率は81.8%であった。平成11年度より、一部の市町村でマンモグラフィ併用検診を行っているところがあり、その影響か要精検率が僅かずつ増加傾向にある。しかし、精検受診率は平成7年度以降減少傾向である。

精検の結果、乳がん又は乳がん疑いが42人発見され、発見率0.14%で、過去最高であった。

年代別にみると、受診率は55～59歳、要精検率は45～49歳、がん発見率は40～44歳がそれぞれ高かった。

平成14年度は8町でマンモグラフィ併用検診が行われ、受診者数1,347人、要精検者数102人、要精検率7.57%、がん及びがん疑いは6人発見された。

2 . 乳がん検診発見乳がん追跡調査結果

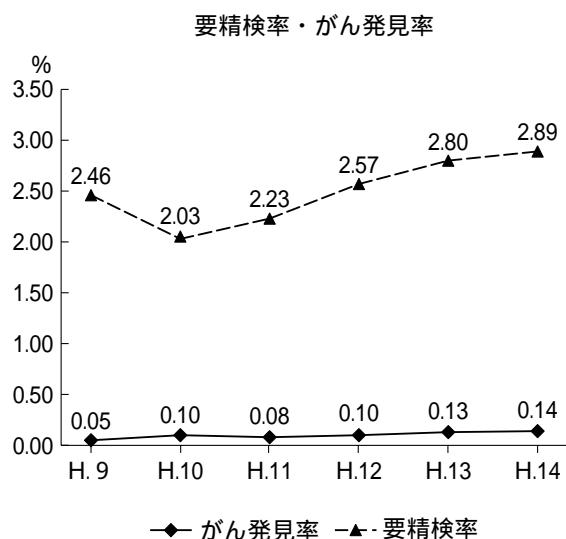
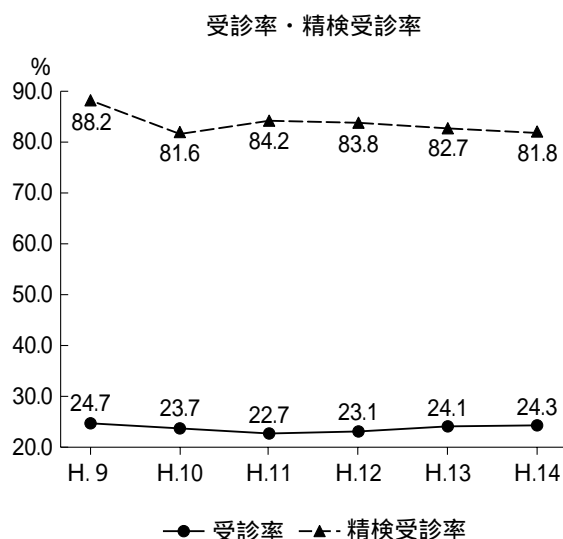
平成14年度の確定乳がんは41例であった。平均年齢は58.0歳であった。

病期はⅡ期までであったが、視触診で非浸潤癌が1例発見されている。温存手術例は50%で平成13年度の63.6%に比べ少なかったが、年齢に関係なく施行されていた。

初回検診では進行例が多く、繰り返し検診1年で2cm以内の症例が多かった。

(1) 乳がん検診の受診者数及び受診率の推移

区 分		平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度
一 次 検 診	対 象 者 数(人)	130,112	127,118	128,948	127,810	123,896	127,944
	受 診 者 数(人)	32,131	30,086	29,231	29,532	29,840	31,105
	受 診 率(%)	24.7	23.7	22.7	23.1	24.1	24.3
一 次 検 診 結 果	異 常 認 め ず(人)	31,340	29,476	28,578	28,774	29,003	30,207
	要 精 検 者 数(人)	791	610	653	758	837	898
	要 精 検 率(%)	2.46	2.03	2.23	2.57	2.80	2.89
精 密 検 査	受 診 者 数(人)	698	498	550	635	692	735
	受 診 率(%)	88.2	81.6	84.2	83.8	82.7	81.8
精 密 検 査 結 果	乳がん又はがんの疑いのある者(人)	16	29	24	29	38	42
	乳がん発見率(%)	0.05	0.10	0.08	0.10	0.13	0.14
追 跡 調 査 結 果	確 定 が ん 数(人)	15	28	24	29	32	41
	確 定 が ん 率(%)	0.05	0.09	0.08	0.10	0.11	0.13



(2) 平成14年度乳がん検診結果

1) 一次検診結果(年齢階級別)

年 齢	対 象 者 数 (人)	一 次 検 診 受診者数(人)	受 診 率 (%)	一 次 検 診 結 果		要 精 検 率(%)
				要 精 検 者 数	異 常 認 め ず	
30 ~ 34	7,647	1,353	17.7	43	1,311	3.18
35 ~ 39	7,282	1,649	22.6	80	1,567	4.85
40 ~ 44	8,053	2,403	29.8	124	2,280	5.16
45 ~ 49	9,408	2,526	26.8	148	2,376	5.86
50 ~ 54	12,209	3,581	29.3	130	3,452	3.63
55 ~ 59	10,917	3,470	31.8	78	3,392	2.25
60 ~ 64	13,913	4,301	30.9	90	4,212	2.09
65 ~ 69	16,056	4,995	31.1	87	4,907	1.74
70歳以上	42,459	6,827	16.1	118	6,710	1.73
計	127,944	31,105	24.3	898	30,207	2.89

2) 精密検査結果 (年齢階級別)

年 齢	精 密 検 査 受診者数(人)	精 密 検 査 受診率(%)	精 密 検 査 結 果				乳 が ん 発見率(%)
			異常認めず	その他の疾病	乳がん疑い	乳がん	
30 ~ 34	39	90.7	16	23	0	0	0.000
35 ~ 39	63	78.8	15	46	1	1	0.121
40 ~ 44	111	89.5	26	80	1	4	0.208
45 ~ 49	116	78.4	25	86	0	5	0.198
50 ~ 54	103	79.2	21	75	0	7	0.195
55 ~ 59	64	82.1	24	36	0	4	0.115
60 ~ 64	73	81.1	28	41	0	4	0.093
65 ~ 69	78	89.7	42	31	1	4	0.100
70 歳 以上	88	74.6	47	31	0	10	0.146
計	735	81.8	244	449	3	39	0.135

3) 検診機関別

a. 一次検診結果

一次検診 機 関	一 次 検 診 受診者数(人)	一 次 検 診 結 果		要精検率(%)
		要 精 検 者 数	異 常 認 め ず	
医 師 雇 上	3,535	81	3,454	2.29
保 健 事 業 団	10,866	68	10,798	0.63
病 院	7,659	494	7,165	6.45
診 療 所	9,045	255	8,790	2.82
計	31,105	898	30,207	2.89

b. 精密検査結果

一次検診 機 関	精 密 検 査 受診者数(人)	精 密 検 査 受診率(%)	精 密 検 査 結 果				乳 が ん 発見率(%)
			異常認めず	その他の疾病	乳がん疑い	乳がん	
医 師 雇 上	55	67.9	30	21	0	4	0.113
保 健 事 業 団	58	85.3	28	28	0	2	0.018
病 院	404	81.8	114	271	3	16	0.248
診 療 所	218	85.5	72	129	0	17	0.188
計	735	81.8	244	449	3	39	0.135

4)平成14年度乳がん検診受診状況

市町村名	対象者数		受診者数			要精密検査者				検査結果別人員							
	A	出張検診 B	施設検診 C	計 D=B+C	受診率 (%) E=D/A	出張検診 F	施設検診 G	計 H=F+G	要精密検査率 (%) I=H/D	精検受診者数 J	精検受診率 (%) K=J/H	異常認めず L	その他の疾病 M	がん N	がん O	異常者 総計 P	がん発見率 (%) Q=(N+O)/D
鳥取市	32,400	604	4,487	5,091	15.7	43	235	278	5.46	193	69.4	87	95	1	10	106	0.216
米子市	30,580	4	5,381	5,385	17.6	0	171	171	3.18	165	96.5	27	126	0	12	138	0.223
倉吉市	7,579	376	887	1,263	16.7	2	47	49	3.88	42	85.7	13	28	0	1	29	0.079
境港市	8,506		1,143	1,143	13.4		17	17	1.49	16	94.1	2	13	1	0	14	0.087
国府町	853	495	71	566	66.4	1	2	3	0.53	3	100.0	3	0	0	0	0	0.000
岩美町	2,151	932		932	43.3	2		2	0.21	2	100.0	0	0	0	2	2	0.215
福部村	715	79	131	210	29.4	0	3	3	1.43	1	33.3	1	0	0	0	0	0.000
都家町	1,096	732	46	778	71.0	2	0	2	0.26	2	100.0	2	0	0	0	0	0.000
船岡町	994	429		429	43.2	4		4	0.93	4	100.0	2	2	0	0	2	0.000
河原町	2,127	373	163	536	25.2	3	15	18	3.36	11	61.1	5	6	0	0	6	0.000
八東町	1,431	465		465	32.5	0		0	0.00		0.0					0	0.000
若桜町	1,712	463		463	27.0	4		4	0.86	4	100.0	2	1	0	1	2	0.216
用瀬町	921	104	124	228	24.8	0	22	22	9.65	19	86.4	10	7	1	1	9	0.877
佐治村	765	297	1	298	39.0	0	0	0	0.00		0.0					0	0.000
智頭町	1,953	4	804	808	41.4	0	7	7	0.87	4	57.1	1	2	0	1	3	0.124
気高町	1,120	87	603	690	61.6	1	28	29	4.20	20	69.0	16	3	0	1	4	0.145
鹿野町	977	160	210	370	37.9	0	13	13	3.51	10	76.9	5	5	0	0	5	0.000
青谷町	2,362	330	119	449	19.0	1	6	7	1.56	7	100.0	4	2	0	1	3	0.223
羽台町	1,052	182	316	498	47.3	2	24	26	5.22	16	61.5	8	8	0	0	8	0.000
油村	520	149	237	386	74.2	0	8	8	2.07	6	75.0	5	1	0	0	1	0.000
東郷町	1,367	193	140	333	24.4	1	6	7	2.10	4	57.1	2	2	0	0	2	0.000
三朝町	1,313	468	5	473	36.0	2	1	3	0.63	2	66.7	1	1	0	0	1	0.000
関金町	1,368	410		410	30.0	1		1	0.24	1	100.0	1	0	0	0	0	0.000
北条町	1,495	368	120	488	32.6	3	8	11	2.25	8	72.7	3	4	0	1	5	0.205
大栄町	1,681	1,086		1,086	64.6	5		5	0.46	5	100.0	3	2	0	0	2	0.000
東伯町	3,182	933		933	29.3	22		22	2.36	16	72.7	9	7	0	0	7	0.000
赤碕町	1,914	752	14	766	40.0	4	0	4	0.52	3	75.0	2	1	0	0	1	0.000
西伯町	809		376	376	46.5		24	24	6.38	24	100.0	8	15	0	1	16	0.266
糸見町	1,045	264	28	292	27.9	1	1	2	0.68	2	100.0	2	0	0	0	0	0.000
岸本町	2,335	510	163	673	28.8	5	19	24	3.57	22	91.7	0	21	0	1	22	0.149
日吉津村	472	297		297	62.9	3		3	1.01	3	100.0	0	3	0	0	3	0.000
淀江町	2,673	207	465	672	25.1	9	22	31	4.61	28	90.3	6	22	0	0	22	0.000
大山町	901	427	28	455	50.5	3	1	4	0.88	4	100.0	2	1	0	1	2	0.220
名和町	1,841	169	298	467	25.4	3	14	17	3.64	14	82.4	0	13	0	1	14	0.214
中山町	768	253	59	312	40.6	0	4	4	1.28	4	100.0	0	4	0	0	4	0.000
日南町	1,871	597		597	31.9	3		3	0.50	3	100.0	3	0	0	0	0	0.000
日野町	1,078	481	48	529	49.1	3	3	6	1.13	6	100.0	3	2	0	1	3	0.189
江府町	1,397	326	112	438	31.4	16	23	39	8.90	36	92.3	3	30	0	3	33	0.685
溝口町	620	395	125	520	83.9	0	25	25	4.81	25	100.0	3	22	0	0	22	0.000
合計	127,944	14,401	16,704	31,105	24.3	149	749	898	2.89	735	81.8	244	449	3	39	491	0.135

(3) 平成14年度乳がん検診発見乳がん患者追跡調査結果

1) 登録届出数 42

確定乳癌 41 良性 1

鳥取市 11 米子市 12 倉吉市 1 境港市 1

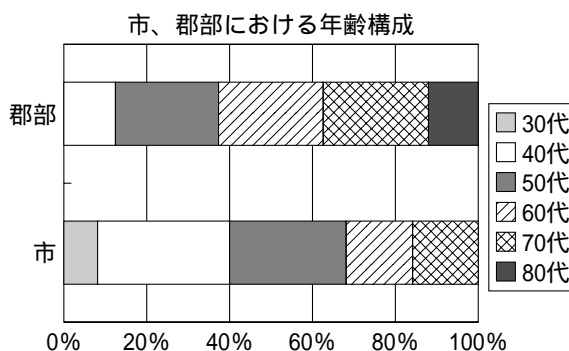
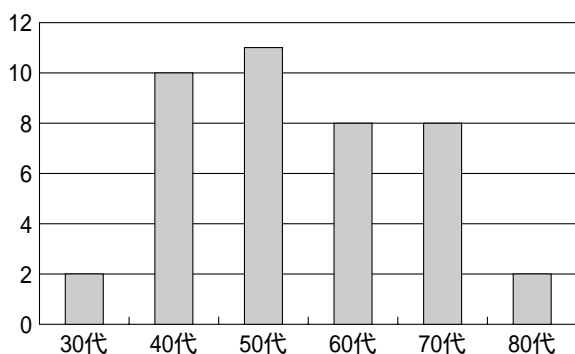
江府町 3 岩美町 2

若桜町、用瀬町、智頭町、気高町、青谷町、北条町、西伯町、岸本町

大山町、名和町、日野町 1

2) 年齢構成

平均年齢 58.0歳 (36 - 85)



3) 病期分類

TNM	例数
I	16
II A	20
II B	5

組織型	例数
非浸潤癌	1
浸潤癌	40

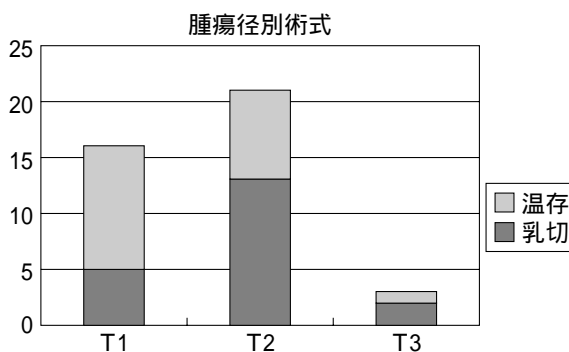
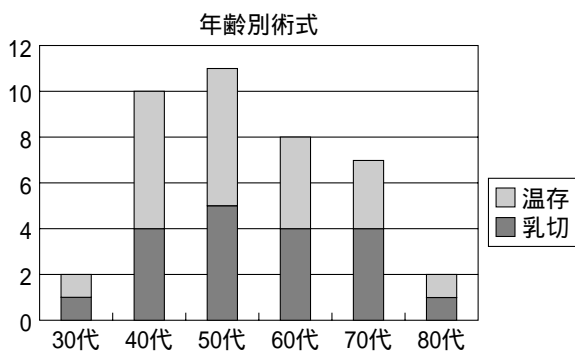
4) 手術術式

胸筋温存乳房切除術 20

乳房温存術 20

なし 1 手術拒否

温存率 50% (平成13年度 63.6%)



5) 検診歴

検 診 歴	例 数	T1	T2	T3
初回検診	21	5	13	
繰り返し検診 1年	12	9	3	
2年以上	7	2	5	

6) まとめ

1. 平成14年度検診発見乳癌は41例であった。
2. 平均年齢は58.0歳であった。都市部が53.9歳、郡部は64.3歳であった。
3. 病期はⅡ期までであったが、非浸潤癌は1例のみであった。
4. 温存手術例は50%と昨年に比べ少なかったが、年齢に関係なく施行されていた。
5. 初回検診で進行例が多く、繰り返し検診1年で2cm以内の症例が多かった。

5. 大腸がん検診

1. 大腸がん検診実績

平成14年度の対象者数（40歳以上の者のうち職場等で受診の機会がない者として各市町村が把握している人数）は177,254人で、このうち受診者数は53,336人（地域検診：26,062人、施設検診：27,274人）で、受診率は30.1%で、平成13年度より受診者数2,041人、受診率0.8ポイント増加した。増加した主因は70歳以上の受診者が約1,600人も増えたことによる。

要精検者数は4,405人（地域検診：1,729人、施設検診：2,676人）要精検率は8.3%で、前年度とほぼ同率であった。

このうち、精検受診者数は2,767人、精検受診率は62.8%、精検の結果、大腸がん126人、大腸がん疑い12人の合計138人が発見され、がん発見率は0.26%で前年度より0.02ポイント増加した。

受診者数、率ともに年々増加傾向にあるが、要精検率、精検受診率、がん発見率は横這い状態である。境港市の要精検率が14.4%と高いが、精検受診率も83.6%と高率であり、どのような取組みがなされているの問い合わせたところ、精密検査未受診者にはアンケート調査（回収率80%）を行い、受診しているが医療機関からの返信がない場合は、医療機関に連絡し返信を求め結果を把握している。アンケートの返事がない20%の人に対しても、昨年度は2日間とも便潜血陽性の人には、電話で受診勧奨した。また、アンケート結果の未受診の理由に「医師から痔疾患があるので大丈夫といわれた」、「再度便潜血検査を受けたら陰性だったので受けなかった」等があったため、6月に実施している行政と委託医療機関との「反省会」の中で取り上げ、精密検査の実施について徹底を図っているという報告があった。

2. 大腸がん検診発見大腸がん追跡調査結果

平成14年度に発見された大腸がん及び大腸がん疑い138例（地域検診：61例、施設検診：77例）について追跡調査を行った結果、127例が確定癌で、そのうちの早期がんは67例で、早期癌率は52.8%で、平成13年度より14.1%も低い結果であった。また、例年は全国集計を上回る言い成績であるが、平成14年度は約10ポイントも低率であった。

部位別にみると「直腸」「S状結腸」で55.1%を占め、早期癌では「Ip」「Isp」「Is」が、進行癌では「2」が大半を占めていた。平成13年度全国平均と同様な結果であった。

大きさは、10mm以下が29.9%であった。EMRを施行し、大きさが記入していない症例については、10mm以下に計上したため、全国平均24.8%に比べ高くなっている。

Dukes分類は「A」が61.4%、組織型分類は「Well」が66.1%で、例年は全国平均より少し高いが、平成14年度は少し下回った。

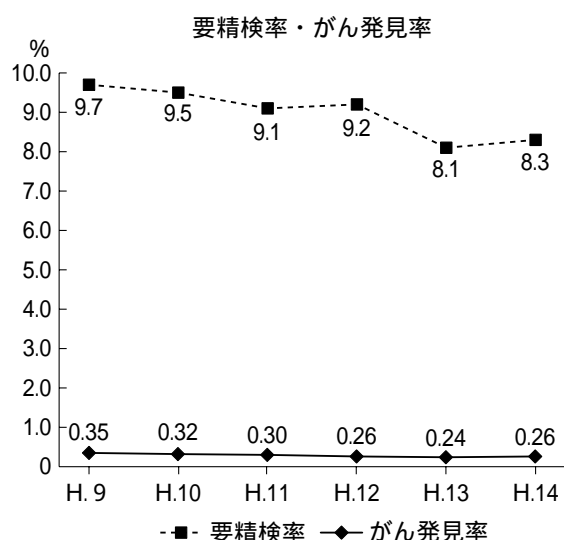
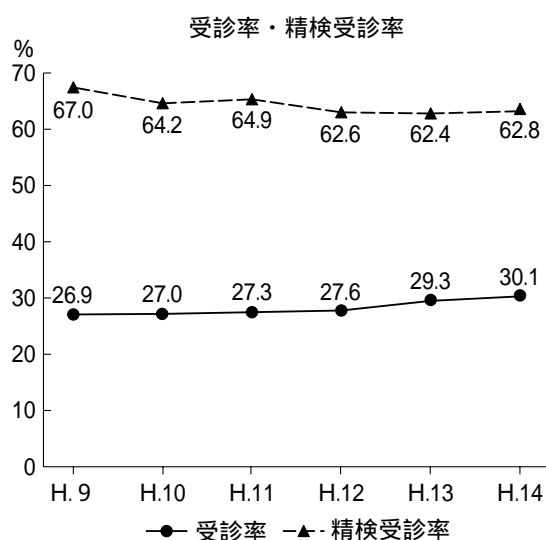
また、毎年傾向であるが、東部と西部では受診者数に大差はあまりないのに、発見がんが西部から多く見ついている。治療方法では東部の外科手術の実施割合が高く、西部は内視鏡的治療が多く実施されている。原因として考えられるのは、西部地区は他の地区に比べ、要精検率、精検受診率が高いことが影響しているのではないかと。また、病理の診断基準に地域差があるのではないかと。西部の場合は、m癌の中に腺腫が含まれているのではないかと。この指摘があり、ポリープ、そのうちの腺腫の割合を地区別に集計して比較してみることとなった。

治療方法では、外科手術56.7%、内視鏡的治療42.5%であった。全国平均は外科手術が少し多く実施されている。

また、逐年検診発見進行大腸癌は22例（東部12例、中部1例、西部9例）で例年に比べ非常に多かった。

(1) 大腸がん検診の受診者数及び受診率の推移

区 分		平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度
一次検診	対象者数(人)	185,761	182,629	181,677	179,933	175,103	177,254
	受診者数(人)	49,957	49,302	49,544	49,671	51,295	53,336
	受診率(%)	26.9	27.0	27.3	27.6	29.3	30.1
一次検診結果	異常認めず(人)	45,127	44,612	45,046	45,108	47,141	48,931
	要精検者数(人)	4,830	4,690	4,498	4,563	4,154	4,405
	要精検率(%)	9.7	9.5	9.1	9.2	8.1	8.3
精密検査	受診者数(人)	3,234	3,013	2,920	2,858	2,593	2,767
	受診率(%)	67.0	64.2	64.9	62.6	62.4	62.8
精密検査結果	大腸がん又はがんの疑いのある者(人)	173	159	147	127	124	138
	大腸がん発見率(%)	0.35	0.32	0.30	0.26	0.24	0.26
追跡調査結果	確定がん数(人)	159	147	138	117	118	127
	確定がん率(%)	0.32	0.30	0.28	0.24	0.23	0.24



(2) 平成14年度大腸がん検診結果

1) 一次検診結果(年齢階級別)

年齢	対象者数(人)		一次検診受診者数(人)		受診率(%)		一次検診結果				要精検率(%)	
	男	女	男	女	男	女	要精検者数		異常認めず		男	女
							男	女	男	女		
40～44	4,388	7,332	769	1,468	17.5	20.0	49	95	720	1,373	6.4	6.5
45～49	5,703	8,441	964	1,755	16.9	20.8	76	96	888	1,659	7.9	5.5
50～54	7,755	11,238	1,472	2,983	19.0	26.5	119	179	1,353	2,804	8.1	6.0
55～59	6,824	9,956	1,476	3,472	21.6	34.9	137	207	1,339	3,265	9.3	6.0
60～64	9,245	13,248	2,368	4,875	25.6	36.8	239	307	2,129	4,568	10.1	6.3
65～69	10,887	15,471	3,823	6,518	35.1	42.1	413	398	3,410	6,120	10.8	6.1
70～74	10,456	15,053	4,170	6,233	39.9	41.4	481	426	3,689	5,807	11.5	6.8
75～79	7,494	12,339	2,951	4,113	39.4	33.3	342	329	2,609	3,784	11.6	8.0
80歳以上	6,319	15,105	1,582	2,344	25.0	15.5	229	283	1,353	2,061	14.5	12.1
計	69,071	108,183	19,575	33,761	28.3	31.2	2,085	2,320	17,490	31,441	10.7	6.9
合計	177,254		53,336		30.1		4,405		48,931		8.3	

2) 精密検査結果 (年齢階級別)

年 齢	精密検査 受診者数(人)		精密検査 受診率(%)		精密検査結果								大腸がん 発見率(%)	
	男	女	男	女	異常認めず		その他の疾病		大腸がん疑い		大腸がん		男	女
					男	女	男	女	男	女	男	女		
40 ~ 44	22	55	44.9	57.9	11	39	10	15	0	1	1	0	0.130	0.068
45 ~ 49	45	51	59.2	53.1	12	30	32	21	0	0	1	0	0.104	0.000
50 ~ 54	66	109	55.5	60.9	29	52	35	51	0	0	2	6	0.136	0.202
55 ~ 59	72	131	52.6	63.3	23	61	44	62	0	0	5	8	0.339	0.230
60 ~ 64	152	219	63.6	71.3	53	111	90	103	2	1	7	4	0.380	0.103
65 ~ 69	272	283	65.9	71.1	64	142	189	134	3	0	16	7	0.497	0.107
70 ~ 74	330	264	68.6	62.0	112	133	198	122	2	1	18	8	0.480	0.144
75 ~ 79	229	202	67.0	61.4	72	96	139	94	2	0	16	12	0.610	0.292
80歳以上	136	129	59.4	45.6	52	63	77	58	0	0	7	8	0.442	0.341
計	1,324	1,443	63.5	62.2	428	727	814	660	9	3	73	53	0.419	0.166
合計	2,767		62.8		1,155		1,474		12		126		0.259	

3) 検診機関別

a. 一次検診結果

一次検診 機 関	一次検診受診者数 (人)		一 次 検 診 結 果				要精検率(%)	
	男	女	要 精 検 者 数		異 常 認 め ず		男	女
			男	女	男	女		
保健事業団	9,078	14,796	780	795	8,298	14,001	8.6	5.4
ファルコ	346	549	37	31	309	518	10.7	5.6
中国労働 衛生協会	734	559	65	21	669	538	8.9	3.8
病 院	2,751	4,707	320	335	2,431	4,372	11.6	7.1
診 療 所	6,666	13,150	883	1,138	5,783	12,012	13.2	8.7
計	19,575	33,761	2,085	2,320	17,490	31,441	10.7	6.9
合計	53,336		4,405		48,931		8.3	

b. 精密検査結果

一次検診 機 関	精密検査 受診者数(人)		精密検査 受診率(%)		精密検査結果								大腸がん 発見率(%)	
	男	女	男	女	異常認めず		その他の疾病		大腸がん疑い		大腸がん		男	女
					男	女	男	女	男	女	男	女		
保健事業団	545	544	69.9	68.4	174	288	333	237	7	1	31	18	0.419	0.128
ファルコ	28	21	75.7	67.7	10	9	17	11	0	0	1	1	0.289	0.182
中国労働 衛生協会	38	17	58.5	81.0	16	4	22	11	0	0	0	2	0.000	0.358
病 院	184	193	57.5	57.6	71	102	101	86	0	1	12	4	0.436	0.107
診 療 所	530	667	60.0	58.6	157	324	342	314	2	1	29	28	0.465	0.221
計	1,325	1,442	63.5	62.2	428	727	815	659	9	3	73	53	0.419	0.166
合計	2,767		62.8		1,155		1,474		12		126		0.259	

4)平成14年度大腸がん検診受診状況

市町村名	対象者数		受診者数		要精密検査				検査者		がん	がん疑い	その他 の疾病 M	異常 認めず L	異 常 計 P	がん発見率 (%) Q=(N+O)/D	
	A	B	C	D=B+C	E=D/A	F	G	H=F+G	I=H/D	J							K=(J/H)
鳥取市	38,500	837	8,921	9,758	25.3	68	794	862	8.8	438	50.8	2	24	245	167	271	0.266
米子市	42,100		10,293	10,293	24.4	1,044	1,044	1,044	10.1	588	56.3	2	36	309	241	347	0.369
倉吉市	11,995	1,183	649	1,832	15.3	62	77	139	7.6	96	69.1	1	4	55	36	60	0.273
境港市	11,809		2,242	2,242	19.0	323	323	323	14.4	270	83.6	1	5	153	111	159	0.268
国府町	1,534	922	92	1,014	66.1	52	5	57	5.6	48	84.2	0	0	23	25	23	0.000
岩美町	3,080	1,156	244	1,400	45.5	70	12	82	5.9	53	64.6	0	2	32	19	34	0.143
福部村	977	210	210	420	43.0	13	20	33	7.9	15	45.5	0	0	4	11	4	0.000
都家町	1,937	1,463	106	1,569	81.0	95	6	101	6.4	55	54.5	0	2	31	22	33	0.127
船岡町	1,613	751		751	46.6	57		57	7.6	41	71.9	0	0	23	18	23	0.000
河原町	3,154	806	221	1,027	32.6	55	17	72	7.0	40	55.6	0	2	20	18	22	0.195
八東町	2,262	935		935	41.3	71		71	7.6	51	71.8	0	4	33	14	37	0.428
若桜町	1,750	597	353	950	54.3	26	33	59	6.2	49	83.1	0	2	23	24	25	0.211
用瀬町	2,394	503	33	536	22.4	17	3	20	3.7	11	55.0	0	0	7	4	7	0.000
佐治村	1,237	351	176	527	42.6	18	14	32	6.1	13	40.6	0	0	7	6	7	0.000
智頭町	2,972	870	399	1,269	42.7	56	21	77	6.1	49	63.6	0	2	38	9	40	0.158
気高町	1,527	79	1,039	1,118	73.2	12	92	104	9.3	69	66.3	0	1	34	34	35	0.089
鹿野町	1,266	76	575	651	51.4	7	43	50	7.7	25	50.0	0	2	7	16	9	0.307
青谷町	3,108	919	261	1,180	38.0	41	13	54	4.6	35	64.8	0	0	20	15	20	0.000
羽谷町	1,649	625	50	675	40.9	54	2	56	8.3	38	67.9	0	0	22	16	22	0.000
泊村	712	211	138	349	49.0	15	14	29	8.3	20	69.0	0	0	12	8	12	0.000
東郷町	2,170	493	33	526	24.2	46	3	49	9.3	33	67.3	1	1	21	10	23	0.380
三朝町	1,745	817		817	46.8	47		47	5.8	34	72.3	0	0	20	14	20	0.000
関金町	2,001	465		465	23.2	31		31	6.7	21	67.7	1	2	9	9	12	0.645
北条町	2,082	526	203	729	35.0	38	31	69	9.5	43	62.3	0	2	24	17	26	0.274
大栄町	2,692	1,667		1,667	61.9	121		121	7.3	91	75.2	0	5	31	55	36	0.300
東伯町	4,870	1,318		1,318	27.1	87		87	6.6	67	77.0	1	1	37	28	39	0.152
赤碕町	2,672	753	25	778	29.1	51	7	58	7.5	35	60.3	0	3	18	14	21	0.386
西伯町	1,170	54	661	715	61.1	8	51	59	8.3	32	54.2	0	0	15	17	15	0.000
糸見町	1,700	375		375	22.1	25		25	6.7	21	84.0	0	3	9	9	12	0.800
岸本町	3,105	739		739	23.8	57		57	7.7	36	63.2	0	1	25	10	26	0.135
日吉津村	595	403		403	67.7	21		21	5.2	11	52.4	0	2	4	5	6	0.496
淀江町	3,820	895	137	1,032	27.0	68	33	101	9.8	72	71.3	0	2	39	31	41	0.194
大山町	1,157	596	54	650	56.2	34	1	35	5.4	35	100.0	0	0	14	21	14	0.000
名和町	3,032	937		937	30.9	52		52	5.5	28	53.8	0	1	15	12	16	0.107
中山町	1,253	503	114	617	49.2	13	13	28	4.5	20	71.4	0	3	9	8	12	0.486
日南町	3,085	1,051	45	1,096	35.5	93	4	97	8.9	79	81.4	3	7	33	36	43	0.912
日野町	1,373	558		558	40.6	47		47	8.4	30	63.8	0	4	16	10	20	0.717
江府町	2,081	666		666	32.0	31		31	4.7	29	93.5	0	2	16	11	18	0.300
溝口町	1,075	752		752	70.0	68		68	9.0	46	67.6	0	1	21	24	22	0.133
合計	177,254	26,062	27,274	53,336	30.1	1,729	2,676	4,405	8.3	2,767	62.8	12	126	1,474	1,155	1,612	0.259

(3) 平成14年度大腸がん検診発見大腸がん患者追跡調査結果

表1 報告癌と確定癌

	地域検診				施設検診				計			総計
	東部	中部	西部	小計	東部	中部	西部	小計	東部	中部	西部	
報告癌	13	20	28	61	30	2	45	77	43	22	73	138
確定癌	12	18	27	57	26	2	42	70	38	20	69	127
腺腫	1	1	1	3	2	0	2	4	3	1	3	7
その他	0	1	0	1	0	0	1	1	0	1	1	2
調査中	0	0	0	0	2	0	0	2	2	0	0	2

表2 性及び年齢

年齢		40~	45~	50~	55~	60~	65~	70~	75~	80~	計
地域	男	0	1	3	2	3	11	8	7	1	36
	女	0	0	2	6	4	4	4	0	1	21
	計	0	1	5	8	7	15	12	7	2	57
施設	男	1	0	0	2	4	7	9	7	6	36
	女	1	0	2	3	3	2	6	11	6	34
	計	2	0	2	5	7	9	15	18	12	70
計	男	1	1	3	4	7	18	17	14	7	72
	女	1	0	4	9	7	6	10	11	7	55
総計		2	1	7	13	14	24	27	25	14	127

表3 部位

部位	鳥取県 (H14年度)					全国 (%) H13年度
	東部	中部	西部	計	(%)	
P	0	0	0	0	0.0	0.3
R	12	4	22	38	29.9	30.8
S	8	6	18	32	25.2	33.5
D	1	4	5	10	7.9	5.6
T	4	1	4	9	7.1	9.3
A	7	3	16	26	20.5	14.1
C	6	1	4	11	8.7	6.3
不明	0	1	0	1	0.8	0.1
計	38	20	69	127	100.0	100.0 n = 3,712

表4 大きさ

大きさ (mm)	鳥取県 (H14年度)					全国 (%) H13年度
	東部	中部	西部	計	(%)	
0 ~ 10	6	10	22	38	29.9	24.8
11 ~ 20	9	5	15	29	22.8	33.9
21 ~ 50	18	2	20	40	31.5	34.2
51 ~	4	1	9	14	11.0	7.1
不明	1	2	3	6	4.7	
計	38	20	69	127	100.0	100.0 n = 3,317

表5 肉眼分類

肉眼型	鳥取県 (%) H14年度		全国 (%) H13年度
0	67	52.8	62.8
1	9	7.1	6.5
2	46	36.2	26.9
3	2	1.6	2.9
4	0	0.0	0.3
5	0	0.0	0.6
不明	3	2.4	
計	127	100.0	100.0 n = 3,690

表6 早期癌の肉眼分類

肉眼型	鳥取県 (%) H14年度		全国 (%) H13年度
I p	19	28.4	24.6
I sp	14	20.9	31.3
I s	8	11.9	14.9
II a	13	19.4	13.5
II a + II c	5	7.5	6.3
II b	0	0.0	0.1
II c	2	3.0	1.4
III	0	0.0	0.2
その他	1	1.5	2.0
不明	5	7.5	5.7
計	67	100.0	100.0 n = 2,316

表7 深達度

深達度	鳥取県 (H14年度)					全国 (%) H13年度
	東部 (%)	中部 (%)	西部 (%)	計	(%)	
m	11(28.9)	13(65.0)	27(39.1)	51	(40.2)	47.2
sm	2(5.3)	2(10.0)	10(14.5)	14	(11.0)	17.5
不明	1	0	1	2		
小計	14(36.8)	15(75.0)	38(55.1)	67	(52.8)	64.7
mp	7(18.4)	1(5.0)	6(8.7)	14	(11.0)	11.3
ss	9(23.7)	2(10.0)	13(18.8)	24	(18.9)	17.4
se	7(18.4)	0	7(10.1)	14	(11.0)	5.8
si	0	1(5.0)	2(2.9)	3	(2.4)	0.8
不明	1	1	3	5		
計	38(100.0)	20(100.0)	69(100.0)	127	(100.0)	100.0 n = 3,551

表8 Dukes分類

Dukes分類	鳥取県 (H14年度)					全国 (%) H13年度
	東部	中部	西部	計	(%)	
A	19	18	41	78	61.4	69.4
B	10	0	9	19	15.0	12.3
C	8	1	15	24	18.9	18.3
D	1	1	1	3	2.4	
不明	0	0	3	3	2.4	
計	38	20	69	127	100.0	100.0 n = 2,811

表9 組織型分類

組織型	鳥取県 (%) H14年度					全国 (%) H13年度
	東部	中部	西部	計	(%)	
Well	26	15	43	84	66.1	72.0
Mode	10	4	21	35	27.6	24.6
Por	1	0	1	2	1.6	1.4
muc	0	0	1	1	0.8	0.8
その他不明	1	1	3	5	3.9	1.2
計	38	20	69	127	100.0	100.0 n = 3,435

表10 治療法

治療方法	鳥取県 (H14年度)					全国 (%) H13年度
	東部 (%)	中部 (%)	西部 (%)	計	(%)	
外科手術	27 (71.1)	5 (25.0)	40 (58.0)	72	(56.7)	46.8
内視鏡治療	11 (28.9)	14 (70.0)	29 (42.0)	54	(42.5)	45.5
その他不明	0 (0.0)	1 (5.0)	0 (0.0)	1	(0.8)	7.7
計	38 (100.0)	20 (100.0)	69 (100.0)	127	(100.0)	100.0 n = 3,389

表11 平成14年度逐年検診発見進行癌

症 例			病 巣					便潜血		前年の精 検	地区	検診方式
年齢	性	部位	大きさ (mm)	深達	肉眼型	組織型	前年	当年				
1	68	m	S	34	ss	2	Well	- -	++		東	地域 検診
2	55	f	A	22	mp	1	Mod	- -	++		"	
3	65	m	S	45	se	3	Por	++	++	未受診	"	
4	75	m	R	15	mp	1	Mod	- -	++		"	
5	56	f	D	23	mp	2	Mod	- -	++		"	
6	71	m	R	45	se	2	Well	++	+-	未受診	"	
7	65	m	A	50	mp	2	Well	++	++	異常なし	"	
8	74	m	R	25	mp	2	Mod	- -	- +		中	
9	77	m	R	30	mp	2	Mod	++	++	未受診	西	
10	72	m	A	58	ss	2	Well	++	++	未受診	"	
11	67	m	R	26	mp	1	Well	- -	+-		"	
12	69	m	R			1		- -	+-		"	
13	57	f	A	32	se	2	Mod	- -	++		"	
14	78	m	T	30	ss	2	Well	- -	++		東	施設 検診
15	75	m	T	22	mp	2	Mod	- -	/		"	
16	76	m	T	30	se	1	Well	- -	- +		"	
17	71	f	C	17	ss	2	Well	- -	++		"	
18	75	f	A	20	mp	2	Mod	- -	++		"	
19	77	f	A	27	mp	1	Well	- -	+-		西	
20	71	f	A	20	mp	2	Por	++	++	異常なし	"	
21	74	m	S	13	se	1	Well	+-	- +		"	
22	72	m	S	12	ss	2	Mod	- -	++		"	

S状結腸、上行結腸に早期大腸癌（隆起型）のため内視鏡手術実施

6. 肝 臓 が ん 検 診

1. 肝臓がん検診実績

平成14年度より、国庫事業の基本健康診査の肝炎ウイルス検査が導入されたことに伴い、鳥取県の肝臓がん検診は、国庫事業の肝炎ウイルス検査、県事業の肝臓がん対策事業、市町村単独事業の何れであるか市町村が判断しそれぞれ実施された。全体では36市町村で実施され、7,207人が受診した。

1) 平成14年度肝臓がん検診実績（県事業の肝臓がん対策事業）

平成14年度は14市町村で実施し、受診者数は1,268人で、一次検診の結果、要指導者は205人（16.2%）、要精検者は103人（8.1%）であった。また、HBs抗原陽性者は21人（1.66%）、HCV抗体陽性者は30人（2.37%）であった。また、HCV抗体陽性者30人に対し、HCV RNA検査を行った結果、20人が受診し、検査の結果+は14人、-は6人であった。

要精検者103人のうち精検受診者は62人であり、精検受診率は60.2%であった。

この結果、肝臓がんまたは肝臓がん疑いの者は一人も発見されなかった。

年代別にみると、例年と同様に要精検率、HCV抗体陽性率は65～69歳代、HBs抗原陽性率は45～54歳代が最も高かった。

平成13年度に比べ、国庫事業の肝炎ウイルス検査が導入されたことに伴い、単県事業で実施する市町村が8市町村減少し、受診者数も約半分に減少した。要精検率は同率であったが、要指導率が5.5ポイント増加した。また、HCV抗体陽性率が0.69ポイント増加した。

平成7～14年度の8年間を集計すると、受診者数71,256人で、そのうちHBs抗原陽性者は1,907人（2.68%）、HCV抗体陽性者は3,137人（4.37%）であった。HCV抗体陽性率は60歳以上が高く、HBs抗原陽性率は40～59歳が高い傾向は例年と同様であった。

2) 肝臓がん検診により発見されたウイルス陽性者に対しての定期検査の状況について（県事業の肝臓がん対策事業）

肝臓がん検診により発見されたウイルス陽性者に対しての定期検査を平成10年度より行っており、平成14年度は昨年度と同様に28市町村で実施された。

健康指導対象者はB型肝炎ウイルス陽性者が1,039人、C型肝炎ウイルス陽性者が1,080人で、このうち受診者数はB型肝炎ウイルス陽性者が503人、C型肝炎ウイルス陽性者が629人であった。

定期検査の結果、慢性肝炎と診断された人は、B型肝炎ウイルス陽性者が108人（受診者数の21.5%）、C型肝炎ウイルス陽性者が330人（受診者数の52.5%）であった。また、肝硬変と診断された人はB型肝炎ウイルス陽性者が6人（受診者数の1.2%）、C型肝炎ウイルス陽性者が18人（受診者数の2.9%）であった。

肝臓がん疑いまたは肝臓がんと診断された人は、B型肝炎ウイルス陽性者が2人（受診者数の0.4%）、C型肝炎ウイルス陽性者が9人（受診者数の1.4%）であった。

3) 平成14年度基本健康診査における肝炎ウイルス検査

平成14年度は26市町村で実施し、対象者数35,163人のうち、受診者数は5,813人で、受診率は16.5%であった。検査の結果、HBs抗原のみ陽性者は118人、HCV抗体のみ陽性者は106人、HBs抗原・HCV抗体ともに陽性者が2人であった。よって、HBs抗原陽性率2.1%、HCV抗体陽性率1.9%で、単県事業と比べると陽性率が少し低いようである。特に、HCV抗体陽性率は2.5ポイントも低かった。

年代別にみると、単県事業と同様に、HCV抗体陽性率は65～69歳代、HBs抗原陽性率は45～54歳代が最も高かった。

平成14年度当初は精検の結果を市町村に報告するシステムをとっていなかったため、現在5町しか報告がなされていなく、がん及びがん疑いは一人も発見されていない。平成15年度実績からは精検の結果報告を取りまとめて頂くよう市町村に指導を行う。

2. 肝臓がん検診発見肝臓がん追跡調査結果

- 1) 平成14年度肝臓がん検診からはがん及びがん疑いの者は一人も発見されなかった。また、肝臓がん検診により発見されたウイルス陽性者に対しての定期検査の結果、がん及びがん疑いの者が11名発見され、そのうち4名は過去の検診、定期検査で既にごんと診断されていた。残り7名の確定調査を行った結果、確定がんが5例であった。
- 2) 平成7年～14年度肝臓がん検診発見がん患者のうち、17例が確定癌であり、そのうち現在も生存されている方は1例であった。また、平成10～14年度定期検査確定がんが31例で、そのうち15例（他病死を含む）が死亡されている。

(1) 平成14年度肝臓がん検診結果(県事業の肝臓がん対策事業)

1) 一次検診結果(年齢階級別)

年 齢	一次検診受診者数		一 次 検 診 結 果						要精検率(%)	
			要 指 導		要 精 検		異 常 認 め ず			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
40 ~ 44	(4) 45	(13) 86	(1) 9	(0) 4	(0) 5	(0) 1	(3) 31	(13) 81	11.1	1.2
45 ~ 49	(3) 48	(8) 88	(0) 11	(0) 6	(0) 7	(1) 6	(3) 30	(7) 76	14.6	6.8
50 ~ 54	(5) 65	(3) 123	(2) 23	(1) 15	(1) 7	(0) 8	(2) 35	(2) 100	10.8	6.5
55 ~ 59	(0) 58	(3) 112	(0) 16	(0) 19	(0) 5	(1) 10	(0) 37	(2) 83	8.6	8.9
60 ~ 64	(2) 99	(2) 121	(1) 25	(1) 10	(0) 10	(0) 7	(1) 64	(1) 104	10.1	5.8
65 ~ 69	(3) 101	(0) 87	(0) 29	(0) 11	(0) 11	(0) 11	(3) 61	(0) 65	10.9	12.6
70 ~ 74	(2) 68	(0) 50	(1) 12	(0) 2	(0) 4	(0) 2	(1) 52	(0) 46	5.9	4.0
75 ~ 79	(0) 26	(3) 40	(0) 3	(0) 5	(0) 1	(0) 3	(0) 22	(3) 32	3.9	7.5
80歳以上	(1) 30	(0) 21	(0) 3	(0) 2	(0) 3	(0) 2	(1) 24	(0) 17	10.0	9.5
計	(20) 540	(32) 728	(5) 131	(2) 74	(1) 53	(2) 50	(14) 356	(28) 604	9.8	6.9
合 計	(52) 1 268		(7) 205		(3) 103		(42) 960		8.1	

* ()内はウイルス検査のみした人の再掲

2) 精密検査結果(年齢階級別)

年 齢	精密検査受診者数(人)		精密検査受診率(%)	
	男	女	男	女
40 ~ 44	(0) [0] 0	(0) [0] 0	0.0	0.0
45 ~ 49	(2) [0] 5	(3) [1] 4	71.4	66.7
50 ~ 54	(0) [2] 5	(1) [0] 3	71.4	37.5
55 ~ 59	(0) [0] 3	(2) [4] 6	60.0	60.0
60 ~ 64	(1) [1] 5	(1) [1] 2	50.0	28.6
65 ~ 69	(1) [1] 9	(2) [4] 8	81.8	72.7
70 ~ 74	(0) [0] 3	(0) [2] 2	75.0	100.0
75 ~ 79	(1) [0] 1	(0) [2] 3	100.0	100.0
80歳以上	(0) [2] 3	(0) [0] 0	100.0	0.0
計	(6) [6] 34	(9) [14] 28	64.2	56.0
合 計	(15) [20] 62		60.2	

* ()内はHBs抗原陽性者で再掲
* []内はHCV抗体陽性者で再掲

(単位:人)

年齢	精密検査														肝臓がん		肝臓がん発見率 (%)	
	異常なし		その他の疾病		その他の疾病						肝臓がん疑い		肝臓がん					
	男	女	男	女	脂肪肝	HBVキャリア・HCVキャリア		慢性肝炎	肝硬変		アルコール性肝障害		その他	男	女	男		女
						男	女		男	女	男	女						
40~44	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
45~49	0	0	5	4	2	0	3	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
50~54	2	0	3	3	1	2	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
55~59	0	2	3	4	1	0	4	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
60~64	1	1	4	1	1	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0
65~69	1	0	8	8	3	3	1	3	2	2	0	2	0	0	0	0	0	0
70~74	0	0	3	2	0	0	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
75~79	0	1	1	2	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
80歳以上	1	0	2	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	5	4	29	24	9	5	3	12	7	7	1	0	9	0	0	0	0	0
合計	9	53	14	15	14	1	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

年代別肝炎ウイルス陽性率

(単位:人、%)

年齢	一次検診受診者数		HBs抗原陽性者		HBs抗原陽性率		HCV抗体陽性者		HCV抗体陽性率	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
40~44	45	86	0	0	0.00	0.00	0	1	0.00	1.16
45~49	48	88	2	3	4.17	3.41	1	2	2.08	2.27
50~54	65	123	1	2	1.54	1.63	2	1	3.08	0.81
55~59	58	112	0	3	0.00	2.68	0	5	0.00	4.46
60~64	99	121	1	3	1.01	2.48	1	2	1.01	1.65
65~69	101	87	3	2	2.97	2.30	2	5	1.98	5.75
70~74	68	50	0	0	0.00	0.00	0	2	0.00	4.00
75~79	26	40	0	0	0.00	0.00	0	2	0.00	5.00
80歳以上	30	21	1	0	3.33	0.00	2	2	6.67	9.52
計	540	728	8	13	1.48	1.79	8	22	1.48	3.02

3) 平成14年度肝臓がん検診受診状況

対象者	受診者				要指導者			要精密検査者				精検 受診者 M	検査結果				人員	
	集団 検診 B	医療 機関 C	計 D = B + C	受診率 (%) E = D / A	集団 検診 F	医療 機関 G	計 H = F + G	集団 検診 I	医療 機関 J	計 K = I + J	要精密 検査 率 (%) L = K / D		精検受診 率 (%) N = M / K	異常 認めず O	その他 の疾病 P	がん 疑い Q		がん R
市町村	A																	
国府町	1,538	(2) 44	(2) 44	2.9	0		0	6		13.6	4	4	66.7	4			4	
岩美町	2,783	170	227	8.2	23	16	39	12	4	7.0	7		43.8	7			7	
福部村	809	15	(2) 31	3.8	3	0	3	3	4	22.6	4		57.1	4			4	
船岡町	1,398	(22) 132	(22) 132	9.4	(2) 20		(2) 20	(1) 22		16.7	15	2	68.2	13			13	
八束町	1,257	(23) 88	(24) 148	11.8	(4) 11	2	(4) 13	(2) 10	4	9.5	12	3	85.7	9			9	
若桜町	34	34	34	100.0	3		3	4		11.8	2	2	50.0				0	
佐治村	20	(1) 20	(1) 20	100.0	3		3	1		5.0	1	1	100.0				0	
鹿野町	409	10	40	9.8	1	4	5	1	2	7.5	2		66.6	2			2	
青谷町	2,882	78	78	2.7	11		11	12		15.4	4	1	33.3	3			3	
泊村	1,268	(1) 48	(1) 189	14.9	(1) 28	20	(1) 48	1	1	1.1	2	2	100.0	2			2	
北条町	195	172	172	88.2		51	51	5	5	2.9	5		100.0	5			5	
会見町	70	70	70	100.0	4		4	8		11.4	1		12.5	1			1	
岸本町	205	50	50	24.4	0		0	0			0		0.0				0	
溝口町	33	33	33	100.0	5		5	3		9.1	3		100.0	3			3	
合計	12,901	(49) 792	(52) 1,268	9.8	(7) 112	(0) 93	(7) 205	(3) 83	(0) 20	(3) 103	8.1	62	9	53	0	0	53	

* ()内はウイルス検査のみ受診した者の再掲

4) 平成7～14年度年代別肝臓がん検診結果

(単位：人、%)

年 齢	一次検診受診者数 (人)		HBs抗原陽性者 (人)		HBs抗原陽性率 (%)		HCV抗体陽性者 (人)		HCV抗体陽性率 (%)	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
40～44	1,556	3,244	74	103	4.76	3.18	31	41	1.99	1.26
45～49	1,716	3,766	93	154	5.42	4.09	31	88	1.81	2.34
50～54	1,598	4,453	88	176	5.51	3.95	27	141	1.69	3.17
55～59	1,734	5,300	60	175	3.46	3.30	58	217	3.34	4.09
60～64	3,956	8,400	118	179	2.98	2.13	158	424	3.99	5.05
65～69	5,061	8,728	129	179	2.55	2.05	256	467	5.06	5.35
70～74	4,254	6,952	76	129	1.79	1.86	253	388	5.95	5.58
75～79	2,280	3,967	50	62	2.19	1.56	130	206	5.70	5.19
80歳以上	1,636	2,655	18	44	1.10	1.66	101	120	6.17	4.52
計	23,791	47,465	706	1,201	2.97	2.53	1,045	2,092	4.39	4.41
合 計	71,256		1,907		2.68		3,137		4.40	

	健康指導 対象者数	定期検査 受診者数	慢性肝炎	肝硬変	肝臓がん疑い または肝臓がん
B型肝炎ウイルス陽性者	1,039	503	108 (21.5%)	6 (1.2%)	2 (0.4%)
C型肝炎ウイルス陽性者	1,080	629	330 (52.5%)	18 (2.9%)	9 (1.4%)

(3) 平成14年度肝炎ウイルス検査結果

1) ウイルス検査結果(年齢階級別)

年 齢	受診者数		HBs抗原のみ陽性		HCV抗体のみ陽性		HBs・HCV陽性		異常なし		HBs抗原陽性率			HCV抗体陽性率		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計	男	女	計
40～44	83	277	2	8	0	1	0	0	81	268	2.4	2.9	2.8		0.4	0.3
45～49	54	213	3	4	2	2	0	0	49	206	5.6	1.9	2.6	3.7	0.9	1.5
50～54	113	324	4	8	4	4	0	0	106	312	3.5	2.5	2.7	3.5	1.2	1.8
55～59	141	450	5	18	2	8	1	0	133	424	3.5	4.0	3.9	1.4	1.8	1.7
60～64	229	570	5	20	7	8	0	0	217	542	2.2	3.5	3.1	3.1	1.4	1.9
65～69	386	742	5	8	6	8	0	0	375	726	1.3	1.1	1.2	1.6	1.1	1.2
70～74	526	819	8	9	8	15	0	0	510	795	1.5	1.1	1.3	1.5	1.8	1.7
75～79	205	294	4	2	10	7	0	0	191	285	2.0	0.7	1.2	4.9	2.4	3.4
80歳以上	117	270	2	3	5	9	1	0	109	258	1.7	1.1	1.3	4.3	3.3	3.6
計	1,854	3,959	38	80	44	62	2	0	1,771	3,816	2.0	2.0	2.0	2.4	1.6	1.8
合計	5,813		118		106		2		5,587		2.0			1.8		

2) 精密検査結果(年齢階級別)

(単位:人)

年齢	精密検査										検査										
	精密検査受診者数					その他の疾患					その他の疾患					肝臓がん					
	異常なし		脂肪肝		HBVキャリア・HCVキャリア		慢性肝炎		肝硬変		アルコール性肝障害		その他		肝臓がん疑い		肝臓がん		肝臓がん発見率(%)		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男
40~44	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []
45~49	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []
50~54	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []
55~59	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []
60~64	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []
65~69	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []
70~74	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []
75~79	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []
80歳以上	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []
計	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []
合計	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []

* ()内はHBS抗原陽性者で再掲
* []内はHCV抗体陽性者で再掲

3) 平成14年度肝炎ウイルス検査受診状況

市町村名	対象者数 A		肝炎ウイルス検査			検査結果				HBs抗原 陽性率 (%) K = H + J / D	HCV抗体 陽性率 (%) L = I + J / D
	集団検診 B	受診者 医療機関 C	検査者数		異常 認めず G	HBs抗原 のみ陽性 H	HCV抗体 のみ陽性 I	HBs抗原・ HCV抗体 とも陽性 J			
			D = B + C	計					受診率 E = D / A		
鳥取市	12,700		272	272	266	6	0		2.2		
米子市	7,285		4,154	4,154	4,022	81	51		1.9	1.2	
倉吉市	4,542		32	32	32	0	0				
境港市	1,792		342	342	333	2	7		0.6	2.0	
国府町	213		39	39	38	1	0		2.6		
岩美町	435		33	33	32	0	1			3.0	
郡家町	303		17	54	52	1	1		1.9	1.9	
河原町	672		34	93	84	4	5		4.3	5.4	
八東町	345		30	30	29	0	1				
佐治村	16		3	3	3	0	0				
智頭町	411		136	136	128	8	0		5.9		
気高町	170		72	72	72	0	0				
青谷町	810		17	17	16	1	0		5.9		
羽合町	114		27	27	27	0	0				
東郷町	490		27	59	54	4	1		6.8	1.7	
三朝町	61		20	20	20	0	0				
関金町	320		62	62	22	2	36	2	3.2	58.1	
赤碕町	550		47	47	46	1	0		2.1		
西伯町	70		12	12	12	0	0				
岸本町	57		14	14	14	0	0				
日吉津村	199		14	14	13	1	0		7.1		
淀江町	498		52	52	52	0	0				
大山町	208		33	78	74	3	1		3.8	1.3	
名和町	2,852		47	112	109	1	2		0.9	1.8	
中山町	6		2	2	2	0	0				
江府町	44		37	37	35	2	0		5.4		
合計	35,163		5,236	5,813	5,587	118	106	2	2.0	1.8	

(4) 平成14年度肝臓がん検診発見がん患者追跡調査結果について

1) 平成14年度肝臓がん検診発見癌または癌疑いおよび定期検査による発見癌または癌疑い
肝臓がん検診においては、がんまたはがん疑いの者は一人も発見されなかった。

(定期検査による発見癌または癌疑い)

	年齢	性	診断	初回治療	治療日	病巣数	部位	大きさ	型	肝硬変	ウイルス	AFP
1	76	女	肝癌	T/P	02.10.10	単 発	S5	20×20	腫瘤	有	C	4
2	79	女	肝癌	TAE	01.06.27	> 4個	S2457	40×40	腫瘤	無	C	83
3	79	女	肝癌	切除	03.2.26	単 発	S3	30×30	浸潤	有	C	538
4	82	女	肝癌	RFA	03.5.26	単 発	S5	35×35	腫瘤	無	B	5
5	78	女	肝癌	T/R	02.9.24	単 発	S8	40×40	腫瘤	無	C	4
6	75	男	癌なし								C	95
7	75	女	癌なし								C	5

(脾門部悪性リンパ腫)

2) 平成10年～平成13年度肝炎ウイルス陽性者定期検査による発見癌追跡調査報告

	年齢	性	初回治療	治療日	病巣数	部位	大きさ	型	肝硬変	ウイルス	備 考
1	71	男	切除	95.8.	単 発			腫瘤	有	C	
2	63	男	切除	97.2.26	単 発	S8	30×30	腫瘤	有	C	4年6か月後死亡
3	71	男	TAE	97.7.16	2 個	S68	30×30	腫瘤	無	C	再発、5年9か月後死亡
4	63	女	PEIT	97.12.3	単 発	S2	10×10	腫瘤	無	C	無再発生存中
5	59	男	TAE	98.5.	単 発	S8	20×20	腫瘤	有	B	再発、3年2か月後死亡
6	76	女	TAE	98.6.30	単 発	S8	30×30	腫瘤	有	C	再発、2年3か月後死亡
7	70	男	切除	98.9.1	単 発	S8	40×30	腫瘤	有	C	再発、2年9か月後死亡
8	68	男	MCT	99.1.25	4 個	S2377	27×27	腫瘤	有	C	再発、3年5か月後死亡
9	83	男	TAE	99.2.11	> 4個	S35678	40×30	腫瘤	有	C	11か月後死亡
10	79	男	TAE	99.6.9	単 発	S8		浸潤	有	C	8か月後死亡
11	64	男	切除	00.2.8	2 個	S5/6、4	75×70	腫瘤	無	C	再発、3年6か月後死亡
12	79	女	TAE	00.3.1	単 発	S6	10×10	腫瘤	有	B	5か月後再発
13	66	男	切除	00.9.27	2 個	S65	15×15	腫瘤	有	B	2年10か月後再発
14	82	男	TAE	00.4.5	単 発	S4	55×40	腫瘤	有	C	1年2か月後他病死
15	74	女	切除	00.2.28	単 発	S2	32×32	腫瘤	有	C	2年5か月後再発
16	64	女	TAI	99.10.14	> 4個	S23457	10×10	腫瘤	有	C	無再燃生存中
17	75	男	TAE	00.4.19	単 発	S7	30×30	腫瘤	無	C	無再燃生存中
18	75	男	TAE	97.11.	> 4個	S4568	25×25	腫瘤	有	C	4年1か月後他病死
19	86	男	PEIT	00.8.18	単 発	S4	15×15	腫瘤	無	C	2年1か月後再発
20	70	女		00.7.2						C	同月死亡
21	65	男	切除	98.2.5	単 発	S1	90×90	腫瘤	有	B	3年10か月後死亡
22	67	男	切除	01.11.19	単 発	S8	13×13	腫瘤	有	B	無再燃生存中
23	76	女	T/P	01.8.1	単 発	S7	15×15	腫瘤	有	C	1年8か月後再発
24	66	女	TAE	01.7.26	単 発	S7	10×10	腫瘤	無	C	無再燃生存中
25	75	女	T/P	02.3.4	単 発	S5/6	37×31	腫瘤	無	C	5か月後再発
26	73	男	TAE	01.4.10	単 発	S5	20×20	腫瘤	有	C	7か月後死亡
27	76	女	T/P	02.10.10	単 発	S5	20×20	腫瘤	有	C	無再燃生存中
28	79	女	TAE	01.06.27	> 4個	S2457	40×40	腫瘤	有	C	1年10か月後死亡
29	79	女	切除	03.2.26	単 発	S3	30×30	浸潤	有	C	9か月後再発
30	82	女	RFA	03.5.26	単 発	S5	35×35	腫瘤	無	B	無再燃生存中
31	78	女	T/R	02.9.24	単 発	S8	40×40	腫瘤	無	C	無再燃生存中

3) 平成7年～平成14年度肝臓がん検診発見癌追跡調査報告

	年齢	性	初回治療	治療日	病巣数	部位	大きさ	型	肝硬変	ウイルス	備 考
1	74	女	切除	95.10.24	単 発	S4	55×55	腫瘤	有	C	再発、7年7か月後死亡
2	70	女	TAE	96.2.20	単 発	S8	40×38	腫瘤	無	C	死亡
3	63	女	切除	96.3.13	単 発	S7	30×23	腫瘤	有	C	無再燃生存中
4	83	男	TAE	96.7.15	単 発	S4	12×12	腫瘤	無	C	再発、3年9か月後死亡
5	74	女	TAE	96.8.29	> 4個	S5678	35×35	腫瘤	無	C	再発、1年8か月後死亡
6	64	女	TAE	96.10.25	> 4個	S67	67×57	腫瘤	無	B	9か月後死亡
7	72	男	TAE	96.11.1	2 個	S6	20×20	腫瘤	有		再発、1年1か月後死亡
8	70	男	PEIT	96.11.22	単 発	S5	25×25	腫瘤	有	C	再発、5年2か月後死亡
9	69	男	PEIT	97.1.7	単 発	S7	10×9	腫瘤	有	C	再発、6年1か月後死亡
10	73	女	TAE	97.11.17	> 4個	S234	80×60	腫瘤	無	C	3か月後死亡
11	61	男	TAE	97.11.17	3 個	S568	15×10	腫瘤	有	C	再発、2年3か月後死亡
12	75	男	TAE	97.12.4	単 発	S7/8	40×32	腫瘤	無	C	7か月後死亡
13	57	男	TAE	98.3.3	単 発	S1	70×50	腫瘤	有	B	1年後死亡
14	80	女	切除	98.7.31	単 発	S5/6	25×25	腫瘤	無	C	9か月後死亡
15	49	男	RES	99.12.15	> 4個	S4568	80×80	浸潤	無	B	4か月後死亡
16	69	男	切除	00.12.23	単 発	S8	50×50	腫瘤	無		再発、1年5か月後死亡
17	66	男	TAE	01.9.19	単 発	S6	100×100	腫瘤	無	C	

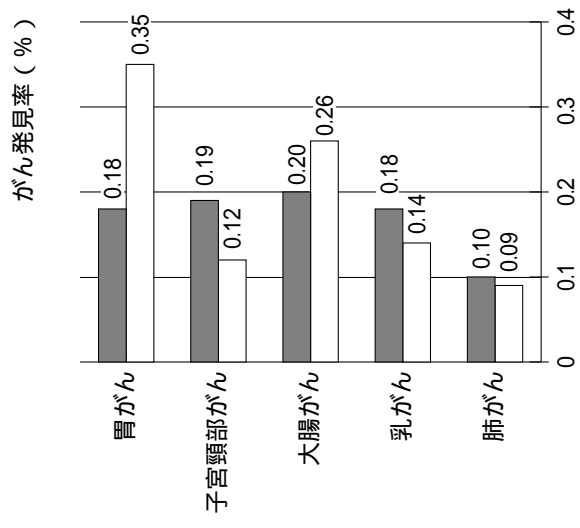
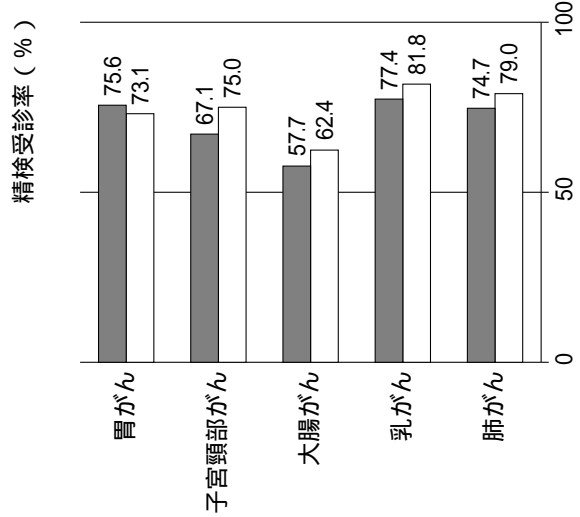
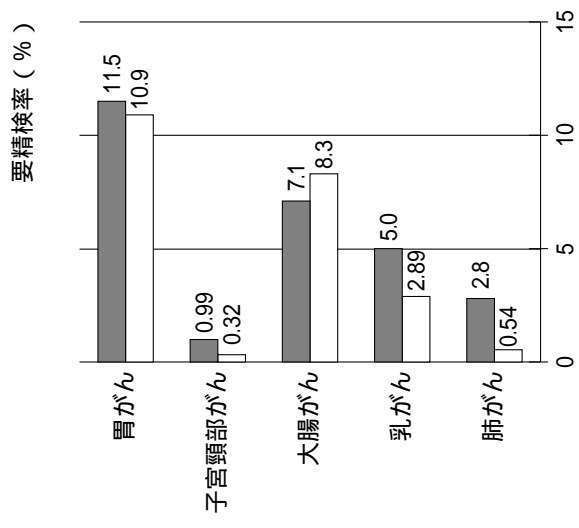
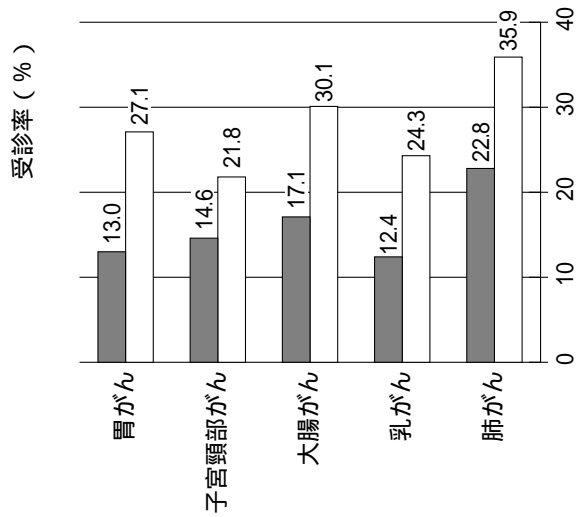
7. 全国がん検診実績との比較

(単位：人 %)

	区 分	平成14年度実績（鳥取）	平成14年度実績（全国）
胃 が ん 検 診	対 象 者 数（人）	169,754	33,656,712
	受 診 者 数（人）	46,033	4,371,784
	受 診 率（%）	27.1	13.0
	要 精 検 者 数（人）	3,563	501,337
	要 精 検 率（%）	10.9	11.5
	精 検 受 診 者 数（人）	2,604	379,121
	精 検 受 診 率（%）	73.1	75.6
	がん又はがんの疑いのある者	161	7,762
	が ん 発 見 率（%）	0.35	0.18
	H 14年度受診率全国順位	6位	
子 宮 頸 部 が ん 検 診	対 象 者 数（人）	125,040	26,515,244
	受 診 者 数（人）	27,197	3,863,380
	受 診 率（%）	21.8	14.6
	要 精 検 者 数（人）	88	38,173
	要 精 検 率（%）	0.32	0.99
	精 検 受 診 者 数（人）	66	25,612
	精 検 受 診 率（%）	75.0	67.1
	がん又はがんの疑いのある者	33	7,432
	が ん 発 見 率（%）	0.12	0.19
	H 14年度受診率全国順位	11位	
肺 が ん 検 診	対 象 者 数（人）	177,198	32,864,278
	受 診 者 数（人）	63,616	7,490,412
	受 診 率（%）	35.9	22.8
	要 精 検 者 数（人）	343	207,830
	要 精 検 率（%）	0.54	2.8
	精 検 受 診 者 数（人）	271	155,166
	精 検 受 診 率（%）	79.0	74.7
	がん又はがんの疑いのある者	59	7,485
	が ん 発 見 率（%）	0.09	0.10
	H 14年度受診率全国順位	19位	

区 分		平成14年度実績（鳥取）	平成14年度実績（全国）
乳 が ん 検 診	対 象 者 数（人）	127,944	26,824,473
	受 診 者 数（人）	31,105	3,337,202
	受 診 率（％）	24.3	12.4
	要 精 検 者 数（人）	898	166,647
	要 精 検 率（％）	2.89	5.0
	精 検 受 診 者 数（人）	735	129,019
	精 検 受 診 率（％）	81.8	77.4
	がん又はがんの疑いのある者	42	6,169
	が ん 発 見 率（％）	0.14	0.18
	H 14年度受診率全国順位	5位	
大 腸 が ん 検 診	対 象 者 数（人）	177,254	35,306,201
	受 診 者 数（人）	53,336	6,052,473
	受 診 率（％）	30.1	17.1
	要 精 検 者 数（人）	4,405	432,191
	要 精 検 率（％）	8.3	7.1
	精 検 受 診 者 数（人）	2,767	249,408
	精 検 受 診 率（％）	62.4	57.7
	がん又はがんの疑いのある者	138	11,941
	が ん 発 見 率（％）	0.26	0.20
	H 14年度受診率全国順位	6位	

全国がん検診実績との比較（平成14年度実績）



Ⅲ . 平成15年度各がん検診従事者講習会及び 症例研究会開催状況

平成15年度がん検診従事者講習会及び症例研究会開催状況

事	業	名	開催日時	場	所	出席者	内	容
胃がん	胃がん検診従事者講習会及び症例研究会	平成16年3月6日(土) 午後4時	烏取市 烏取県健康会館	127名	演題：「胃がん治療最近の動向」 講師：烏取県立中央病院内科医長 岡田克夫先生 症例検討 東部 1例：岩美病院 秋藤洋一先生 中部 1例：吉中胃腸科医院 吉中正人先生 西部 1例：博愛病院 濱本哲郎先生			
子宮がん	子宮がん検診従事者講習会及び症例検討会	平成16年2月11日(水) 午後4時	烏取市 烏取県健康会館	67名	演題：「これからの子宮がん検診 細胞診断医からのメッセージ」 講師：烏取県立中央病院検査科部長 中本 周先生 症例提示 4例			
肺がん	肺がん検診従事者講習会及び症例研究会	平成16年2月21日(土) 午後4時	烏取市 烏取県健康会館	88名	演題：「肺がんCT検診の現状」 講師：国立がんセンター がん予防・検診研究センター検診技術開発部画像診断開発室長 柿沼龍太郎先生 症例検討 東部 1例：わかさ生協診療所 皆木真一先生 中部 2例：鳥取県立厚生病院 吹野俊介先生 西部 3例：国立米子病院 中村廣繁先生			
乳がん	乳がん検診従事者講習会及び第11回鳥取県検診発見乳がん症例検討会	平成15年8月2日(土) 午後4時	米子市 西部医師会館	90名	演題：「マンモ併用検診におけるかかりつけ医の参入について」 講師：日本乳がん検診学会名誉会員（岡山県医師会常任理事、くにとみ外科胃腸科医科院院長） 岡崎邦泰先生 症例検討 東部 1例：鳥取赤十字病院 工藤浩史先生 中部 2例：鳥取県立厚生病院 林 英一先生 西部 1例：博愛病院 衣笠陽一先生			

事	業	名	開催日時	場	所	出席者	内	容
大腸がん	大腸がん検診従事者講習会 及び症例研究会		平成15年8月9日(土) 午後4時	倉吉市 中部医師会館		77名	<p>演題：「興味ある大腸疾患 山陰消化器研究会症例より」</p> <p>講師：国立米子病院外科医長 木村 修先生</p> <p>症例検討</p> <p>東部 1例：鳥取赤十字病院 田中久雄先生</p> <p>中部 1例：北岡病院 松田哲郎先生</p> <p>西部 3例：山陰労災病院 古城治彦先生</p>	
肝臓がん	肝臓がん検診従事者講習会 及び症例研究会		平成16年2月7日(土) 午後4時	倉吉市 中部医師会館		91名	<p>演題「肝細胞癌治療の最前線」</p> <p>講師：鳥取大学医学部統合内科医学講座病態内科学分野助教授 孝田雅彦先生</p> <p>東部 1例：鳥取赤十字病院 松田裕之先生</p> <p>中部 1例：鳥取県立厚生病院 嵯峨山 敦先生</p> <p>西部 1例：山陰労災病院 岸本幸廣先生</p>	

1. 胃がん検診症例研究会

日時 平成16年3月6日(土) 午後4時

場所 鳥取県健康会館

東・中・西部読影委員会より症例を提示し、症例検討を行った。

〔東部症例〕

提出者：岩美病院 秋藤 洋一

75歳、男性

集検歴：平成12年 異常なし

平成13年 異常なし

平成14年 異常なし

経過：平成12年からアルコール性肝障害で岩美病院通院中。

平成15年4月の定期検査で貧血を認め胃内視鏡検査を施行。

噴門部から胃底部にかけての1型胃がんを認め胃全摘術を施行。

12×8×8cm、Type 1、T2(ss)、p_{or}、ly₁、v₁、INF、Stage II

検討：平成13年集検フィルムで胃底部に隆起性病変の指摘が可能。

〔中部症例〕

提出者：吉中胃腸科医院 吉中正人

55歳、女性

集検歴：平成10年 異常なし

平成15年 胃体部、大弯、レリーフ異常

切除標本：胃体上部大弯1.2×1.2cm。IIc、tub 1>por+sig、m、ly₀、v₀、n₀、stage Ia症例を提示した。

検討：見逃せばスキルス胃がんに進展すると考えられる症例である。

従来、車検診で発見される胃がん、ことに早期がんは異所性チェックによる症例が多くを占めていた。しかし、この症例は高濃度低粘性バリウムを用いた新胃X線撮影法により、在存診断にとどまらず性状診断も出来る程に描出されていた。即ち粘膜ヒダの棍棒状腫大中断、陥凹様が描出されており、内視鏡検査にて不整陥凹を確認しIIcと診断した。

撮影を担当した保健事業団の技師の努力を評価したい症例であった。

〔西部症例〕

提出者：博愛病院 濱本哲郎

56歳、女性

集検歴：平成14年7月 異常なし

経過：平成15年7月に胃集検を受け、胃体部後壁ニッシェ様を指摘されて、平成15年9月5日に当院受診。胃内視鏡検査、胃X線検査等にて胃体部後壁の0 IIc型胃癌と診断し、胃切除術を行った。病理診断は0 IIc、1.3×0.7cm、signet ring cell carcinoma、深達度mであった。

検討：平成15年の集検フィルムの検討では、病変は椎体と重なる部位のため、病変なのか椎骨の陰影なのかの判定が難しかった。撮影の技師の方が同部を1枚余分に撮影してくれていたのが読影に非常に有用であった。また、平成14年のフィルムの検討では、同部にさらに浅いニッシェの存在も否定できないが、やはり椎体との重なりのため、通常読影での指摘は困難と思われた。

2. 子宮がん検診症例研究会

日 時 平成16年2月11日(水) 午後4時

場 所 鳥取県健康会館

1. 症例検討

鳥取大学医学部器官制御外科学講座生殖機能医学分野助教授 紀川純三先生の進行により、症例4例について症例検討が行われた。

平成15年度 子宮がん検診症例検討会提出症例

氏名	市町村名	検診月日	一次検診機関	一次検診結果	精密検査機関	精密検査結果			治療機関名
						組織診断	進行期分類	TMN分類	
症例1	鳥取市	H9.10.2 H14.9.13	梅沢産婦人科医院 梅沢産婦人科医院	class II V adenocarcinoma(子宮外腫瘍の可能性あり)	鳥取赤十字病院	cervical adenocarcinoma, endocervical type	Ⅲb期	T _{2b} N ₁ M ₀	鳥取赤十字病院
症例2	境港市	H14.1.29 H14.11.12	相原医院 相原医院	class II Ⅲa クロマチン増量、N/C比大の細胞を極少数認める	鳥取大学医学部附属病院	microinvasive carcinoma	I _{a1} 期	T _{1a1}	鳥取大学医学部附属病院
症例3	大栄町	H13.8.31 H14.8.30	鳥取県保健事業団 鳥取県保健事業団	class II class II 体部細胞診標本なし(依頼書発行)	レディースクリニックひまわり 小笹産婦人科	endometrial adenocarcinoma (moderately)	Ⅲc期	pT _{1b} N ₁ M ₀	鳥取大学医学部附属病院
症例4	倉吉市	H13.5.17 H14.6.13	鳥取県立厚生病院 鳥取県立厚生病院	class II class II 臨床診断にて体部癌疑(体部細胞診標本なし)	鳥取県立厚生病院	萎縮内膜			鳥取県立厚生病院

3 . 肺がん検診症例研究会

日 時 平成16年2月21日(土) 午後4時

場 所 鳥取県健康会館

東・中・西部読影委員会より症例を提示し、症例検討を行った。

〔東部症例〕

提出者：わかさ生協診療所 皆 木 真 一

症 例：78歳 女性

主 訴：胸部X線写真異常陰影

既往歴：高血圧症、心房細動、うっ血性心不全にて近医通院中

家族歴：特記することなし

喫煙歴：なし

現病歴：平成11年より毎年肺がん集団検診を受けC判定であった。

平成14年同検診にてD判定となり、かかりつけ医より精査目的で紹介された。自覚症はなかった。

臨床経過：胸部X線写真にて左中肺野に1.5×1.0cmのややdensityの高い不整形陰影を認めた。胸部CTでは左S3に約2cmの不整形腫瘤影を認め、胸膜陥入を疑った。縦隔リンパ節の腫大なし。腫瘍マーカーはCEA 4.4ng/ml、シフラ1.0ng/ml以下、PRO GRP 51pg/ml(46未満)であった。CTガイド穿刺生検にて腺癌と診断され、C T₁N₀M₀ stage I Aにて手術となった。左上葉切除術+リンパ節郭清を行った。切除標本では左S3に20×18×22mmの腫瘤を認め、病理組織診断では中分化型腺癌、P T₁N₁(#11+) M₀ stage II Aであった。現在再発なく経過している。

検 討：検診発見に至るまでの3年間は右上肺野陳旧性陰影でC判定であった。retrospectiveに検討すると平成11、12年の写真では左中肺野、前後肋骨影の重なる直上に血管影に続くようなdensityの高い横長の陰影を認めた。しかし指摘は困難と考えられた。平成13年の写真では後肋骨影の上に淡く下方半円のような陰影が認められ、この時点で指摘すべき陰影と考えられた。

〔中部症例〕

提出者：鳥取県立厚生病院 吹 野 俊 介

症例Ⅰ：78歳、女性

平成12年はC判定、平成13年はB判定、平成14年はD判定となり、当院受診となった。たばこ指数0で、他に問題なし。D判定となったのは、左下肺野の陰影だったが、直接写真では、異常陰影を認めず、胸部CTを行った。CTでは、右S8にcoin lesionを認め、左下肺野には炎症癍痕と考えられる線上の陰影を認めるのみであった。肺生検で右下肺野の陰影は腺癌の診断、胸腔鏡下右下葉切除、ND2aを施行した。右S8に1.7×1.5×1.0cmのpapillary adenocarcinoma、p T₂N₀M₀、p₂d₀e₀p_{m0}(p₀)、p Stage I Bであった。

症例Ⅱ：65歳、男性

平成10年から平成13年まではC判定、平成14年はD判定となり当院受診した。たばこ指数1,000であった。右上肺野に5cm大の陰影あり、肺生検で扁平上皮癌の診断となった。

前方腋か開胸で右上葉切除、ND2aを施行した。C T₂N₂M₀であり、右S1を中心に5.5×4.5

× 4 cmの腫瘍、P/D squamous cell carcinoma、Iy(+) V(-) p T₂N₂M₀、P₀d₀e₀m₀ (P₀)
p Stage III Aであった。

まとめ：症例Ⅰは間接、直接写真ともに発見困難でCTで認められて幸運であった。本日の講演のCT検診であれば、間違いなく発見される症例であった。

症例Ⅱはretrospectiveに見ると、平成12年より認められており、遅くとも平成13年には発見しなければならず、反省させられた症例であった。また、平成14年まではDとEの判定基準が曖昧であり、D判定としていた。今後は肺癌を疑うならE判定するように座長より説明があった。症例Ⅱは当然E判定すべきであったことを清水教授よりご指摘を受け、今後の意識改革になったことと考えている。

〔西部症例〕

提出者：国立米子病院 中村 廣 繁

症例Ⅰ：62歳、女性

主 訴：胸部X線異常陰影

現病歴：毎年肺癌検診を受けるが、異常を指摘されたことはなかった。平成14年9月9日、検診で胸部X線異常陰影（E判定）を指摘され、当院を受診した。

臨床経過：平成10年、11年、12年、13年の検診はB判定で平成14年に右肺門部陰影をE判定とされた。胸部CTで右S3bに腫瘍を認め、気管支鏡下生検で肺癌と診断された。腫瘍は心膜周囲脂肪に浸潤しており、右肺上葉切除＋心膜周囲脂肪合併切除＋リンパ節郭清を施行した。大きさ35×30×28mm、中分化型腺癌、pT₃N₁M₀、III Aの最終診断であった。

本症例は毎年検診を受けていたにもかかわらず、陰影が肺門部血管と重なり、見落とされた可能性の高い進行癌であった。顧みれば平成12年より陰影を認め、少なくとも平成13年には指摘されるべきであった。

症例Ⅱ：49歳、男性

主 訴：胸部X線異常陰影

現病歴：毎年肺癌検診を受けるが、異常を指摘されたことはなかった。平成14年10月3日、検診で胸部X線異常陰影（E判定）を指摘され、当院を受診した。

臨床経過：平成13年の検診はB判定で、平成14年に右下肺野の陰影をE判定とされた。胸部CTで右S3bに腫瘍を認め、CTガイド下生検で肺癌疑いと診断された。胸腔鏡下右肺下葉切除＋リンパ節郭清を施行した。

大きさ19×12×18mm、高分化型腺癌、pT₁N₀M₀、I Aの最終診断であった。

本症例は毎年検診を受けていたにもかかわらず、陰影が右乳頭部及び肋骨と重なり、見落とされた可能性が高い。高分化型であったがムチン産生タイプで陰影の増大は比較的早かった。

症例Ⅲ：77歳、男性

主 訴：胸部X線異常陰影

現病歴：毎年肺癌検診を受けるが、異常を指摘されたことはなかった。平成14年8月7日、検診で胸部X線異常陰影（D判定）を指摘され、当院を受診した。

臨床経過：平成13年の検診はB判定で平成14年に左上肺野の陰影をD判定とされた。

胸部CTで左S3bに腫瘍を認めたが、術前のCTガイド下生検では確定診断を得られなかった。腫瘍は辺縁不整で、周囲にスリガラス陰影（GGO）を認めた。肺癌を強く疑うため、手術を施行した。胸腔鏡下生検で肺癌と診断され、胸腔鏡下左肺上葉切除＋リンパ節郭清

を施行した。

大きさ14×12×12mm、高分化型腺癌、pT₁N₀M₀、I Aの最終診断であった。

本症例は毎年検診を受けていたにもかかわらず、陰影が左肋骨と重なり、見落とされたと考えられる。高分化型でGGOを有し、胸部X線での発見が困難であった可能性が高い。

4 . 乳がん検診症例研究会

日 時 平成15年 8 月 2 日 (土) 午後 4 時

場 所 鳥取県西部医師会館

〔 東部症例 〕

提出者：鳥取赤十字病院 工 藤 浩 史

44歳、女性。

平成13年の乳がん検診では異常なし。平成14年 9 月29日に左乳房のしこりに気づき、某病院外科を受診して超音波、マンモグラフィ、視・触診にて異常なし。

平成14年11月18日に乳がん検診を受け、左乳腺 (A) に腫瘍を指摘され当科受診。超音波、マンモグラフィ、視・触診が施行された。

触診では左乳房 (A) に5 2×3 8cmの弾性硬、辺縁・表面不整の腫瘍を触知した。腋窩リンパ節は触知せず。マンモグラフィでは左A領域に5 5×4 5×2 8cmの辺縁不明瞭で微細鋸歯状の陰影が認められ、カテゴリー 4 とした。超音波では同部に7 × 4 cmの辺縁不整で内部エコーの不均一な腫瘍影を認めた。穿刺吸引細胞診が2回施行されたが、いずれも炎症細胞、多核組織球、結合織、線維芽細胞などを認め、炎症性偽腫瘍と診断した。抗生物質と消炎剤の投与と切開排膿を繰り返して、治癒した。

この症例は肉芽腫性乳腺炎と考えられるが、画像上は癌が極めて疑われた。このような症例もまれにはあるので、画像診断のみに惑わされることなく、我々のように穿刺吸引細胞診の再検を行い、over surgeryを避ける努力が必要と思われる。

〔 中部症例 〕

提出者：鳥取県立厚生病院 林 英 一

外来において初診時に乳癌と診断できなかった2症例を報告する。

症例Ⅰ：48歳、女性

乳頭異常分泌を主訴に来院するも、諸検査において異常を確認することが出来ず経過観察とした。その9ヶ月後、左乳房腫瘍に気づき再度来院。乳癌の診断にて手術を施行。腋窩リンパ節転移陽性で、術後1年後に肝転移を来し、その1年後に死亡した。

症例Ⅱ：50歳、女性

右乳房の米粒大の腫瘍を主訴に来院。エコー上5mm大の腫瘍を認めたが、乳癌の診断に至らずしばらく経過観察とした。3ヶ月後同腫瘍は1.5cm大となり、精査の結果、乳癌と診断し手術を施行。腋窩リンパ節転移陽性で、2年3ヶ月後肝転移が出現、現在も治療中である。

いずれも初診時に乳癌の診断がなされず、術後肝転移を来した症例であった。経過観察としたことが悔やまれる症例であった。

〔 西部症例 〕

提出者：博愛病院 衣 笠 陽 一

62歳、女性

平成14年12月乳がん検診を受けるも異常なしと言われた。半年後の平成15年 6 月 5 日、右乳腺腫瘍に気づき他院を受診し当科を紹介された。来院時、右乳腺上外側 (C 領域) に硬い2.5×2.5cm大の腫瘍と右腋窩に硬く腫大したリンパ節を触知した。

MMGではMLOでカテゴリー 4 の腫瘍影と腫大した腋窩リンパ節を認めた。CCではスピキュラを

伴う高濃度の腫瘤影でありカテゴリ－5であった。超音波検査では縦長で内部低エコー境界不明瞭な腫瘤が認められ悪性が強く疑われた。細胞診では乳頭癌が疑われた。MRIでは孤立性でスピキュラを伴い造影剤で強調されていた。

乳房温存が可能であったが、本人の希望にて胸筋温存乳房切除術を行いレベルⅢまで郭清した。病理組織検査ではpapillotubular and scirrhous carcinoma 1.0×0.9cm、ER(-)、PGR(-)、リンパ節レベルI(+) 3 / 5、c erB 2(+)、HER2蛋白(3 +)との結果であった。

半年後に乳がん検診を受け異常なしとされた中間期乳癌の1例を経験した。腋窩に腫大した転移性リンパ節を有する進行癌であった。来院時MMGはカテゴリ－5で半年前にも病変が存在していたものと思われ、MMG併用検診は見落としの危険性を低下させるものと思われた。乳腺全体を注意深く丁寧に触診する必要がある。

5 . 大腸がん検診症例研究会

日 時 平成15年8月9日(土) 午後4時

場 所 鳥取県中部医師会館

東・中・西部読影委員会より症例を提示し、症例検討を行った。

〔東部症例〕

提出者：鳥取赤十字病院 田 中 久 雄

51歳、女性

大腸がん検診便潜血検査(二日法)にて+・-と要精査となり当科外来受診。

注腸造影：直腸Rb右側前壁に15mm大の隆起性病変を認めた。頂部に浅い陥凹と思われるバリウムの溜まりを認めた。

大腸内視鏡検査：直腸Rb右側前壁に15mm大の隆起性病変を認めた。ひだの上にもたがる様に存在するために、深達度診断の間接所見は不明瞭であったが、腫瘍径や陥凹がやや深く形成されていたことより、sm層程度の深達度と思われた。

病理組織学的所見：低位前方切除術が施行された。Moderately differentiated tubular adenocarcinoma、ss、INF、ly₀ v₀ n₀であった。

検 討：大腸癌の深達度診断は通常内視鏡検査(色素内視鏡)のほかに、注腸造影検査、超音波内視鏡検査、拡大内視鏡検査があるが、一般の臨床の場合においては通常の内視鏡検査における診断が重要である。Sm massive癌の内視鏡所見として分葉の欠如や緊満感などの腫瘍自体がもつ表面所見のみでは診断は困難であり、孤の硬化像や台状挙上などの伸展不良所見(間接所見)に注意して診断しなければならない。

〔中部症例〕

提出者：北岡病院 松 田 哲 郎

85歳、男性

現病歴：平成12年の大腸がん検診で便潜血陽性を指摘され、当院で全大腸内視鏡検査を施行したが、異常なしと診断した。平成13年の検診でも便潜血陽性となり、大腸内視鏡検査でS状結腸癌と診断し手術を行った。切除標本の病理学的診断で深達度mpの進行癌であった。

検 討：この症例は平成12年の内視鏡検査時、すでにごん化していただろうと思われる病変を見逃したものと考えられた。大腸内視鏡検査は屈曲部は盲点となり易くどんなに注意をして検査を行っても見落とし率をゼロにすることは不可能かもしれないが、横行結腸やS状結腸の屈曲部で観察が不十分だと感じた時には、体位変換をしたり、空気量を調整したり、出し入れを繰り返したりして出来るだけ見落とし率を下げるように努力するとともに、逐年検診の重要性を痛感させられた。

〔西部症例〕

提出者：山陰労災病院 古 城 治 彦

検診後精密検査での見逃し例についての検討

症例 I : 65歳

平成12年便潜血陽性、内視鏡検査でS状結腸ポリープ切除を受けたが、上行結腸へのスコープ挿入は出来なかった。平成13年便潜血陽性、CEA115、精査にて上行結腸に進行癌を認めた。

手術所見：35×35mm、2型、ss、porr、ly₁v₀n₀

反省：全内視鏡検査に失敗した時は再検査、または注腸検査が必須である。

症例Ⅱ：70歳

平成12年9月便潜血陽性、注腸検査で異常なしと判定。平成13年9月便潜血陽性、注腸検査で横行結腸中部に進行癌を認めた。

手術所見：35×35mm、2型、ss、mod、ly₁v₀n₀

反省：初回注腸造影写真の見直しで、横行結腸中部に低い隆起性病変が指摘出来た。読影時の見逃しであった。

症例Ⅲ：70歳

平成11年便潜血2回陽性、注腸造影で憩室を指摘、内視鏡検査を勧めたが拒否された。平成12年便潜血2回陽性、注腸造影で異常なしと判定。平成13年便潜血2回陽性、注腸造影にて上行結腸肝弯曲部に全周性の進行癌を認めた。

手術所見：65×40mm、2型、ss、poor、ly₁v₀n(+)

反省：初回及び2回目の注腸造影写真の見直しでは、上行結腸と横行結腸が重なっていたり、二重造影像でバリウムが十分に捌けていない、又、バリウムの付着が不十分で二重造影像が空気造影となっていた、など撮影技術の問題が指摘された。しかし、初回検査時の同部の充盈像で片側性陰影欠損は読影可能と思われた。

6 . 肝臓がん検診症例研究会

日 時 平成16年2月7日(土) 午後4時

場 所 鳥取県中部医師会館

東・中・西部地区より症例を提示し、症例検討を行った。

〔東部症例〕

提出者：鳥取赤十字病院 松田 裕之

78歳・女性

既往歴・家族歴・飲酒歴：特記事項認めず

現病歴：昭和60年頃より、肝機能異常の為、時折近医通院加療。平成9年7月、肝臓がん検診の際、HCV抗体陽性を指摘され、HCV RNA陽性よりC型慢性肝炎と診断される。以後、約1年間は定期経過観察を行っていたが、平成10年秋以降は定期経過観察を自己判断により中断し、年1回のみ超音波検査を受けていた。平成14年9月、約1年ぶりに前医で超音波検査を受けたところ、肝SOLを指摘され、精査のため当院受診、入院となる。

入院時検査成績：GOT 50U/l、GPT 23U/l、Alb 4.2g/dl、T. Bil 0.9mg/dl、PT 103%、ICG 13%、AFP 4ng/ml

画像診断のまとめ：超音波検査 S8径40mm mosaic echoic lesion

ダイナミックCT 同部 iso ~ high ~ low

DSA 同部 tumor stain (+)

CT AP 同部 defect (+)

CT A 同部 stain (+)

以上より、C型慢性肝炎に合併した肝細胞癌と診断された。

診 断：肝細胞癌、Stage II・肝障害度A

治 療：平成14年9月21日S8腫瘍に対し、経カテーテル的肝動脈塞栓術施行。さらに、肝動脈塞栓術では遺残が懸念される被膜外浸潤癌細胞に対し、同年10月4日経皮的ラジオ波焼灼療法を追加、以後経過観察中であるが、治療後1年3か月後のダイナミックCT所見では再発は認められていない。

考 察：肝臓がん検診によりC型慢性肝炎を指摘され、経過観察中に肝細胞癌が診断された症例。本例では年1回の受診勤奨により超音波検査を受け診断時径40mmの肝細胞癌が発見されたが、C型慢性肝炎例では、小肝癌の早期診断には3~6か月に1度の定期超音波検査によるフォローアップが望ましいと考えられた。

〔中部症例〕

提出者：鳥取県立厚生病院 嵯峨山 敦

44歳、男性

主 訴：肝腫瘍治療目的

家族歴・社会歴：父親が肝疾患（HBV陽性）で死亡、母親は不明。輸血歴なし。

既往歴：特記事項なし

現病歴：健康診断で肝機能障害の指摘を受け、慢性B型肝炎と診断された。

その後、近医で内服治療を受けたが、トランスアミナーゼが100前後と安定しないため、平成13年7月より、ラミブジンの投与も開始された。HBe抗原価、HBV DNA値は低下し

たが、PIVKA II 21260、と著明な上昇が見られた。そのため腹部超音波を施行、肝腫瘍を認められ、平成15年2月に紹介入院となった。

入院時血液検査成績：T. Bil 1.1mg/dl、Alb 3.5 g/dl、PT 76%、ICGR15 26%、AST 146IU/l、ALT 62IU/l、PLT 11.5×10⁴/μl、HBsAg(+)、HBeAg(+)、HBeAb(-)、HBV DNA 4.5LGE/ml、AFP 2927ng/ml

画像診断成績：

腹部超音波 肝後前区域 (S6/5) に径6cmの境界不鮮明なSOL門脈右枝 (P6) に腫瘍栓、腹水あり

肝ダイナミックCT

S6/5のSOLは早期相で不均一なhigh、晚期相で門脈腫瘍栓描出

肝前区域 (S8) に径2cmのSOL早期相でhigh、晚期相はiso

腹水あり

CTA S6/5、S8にtumor stain

CTAP S6/5、S8にdefect、

血管造影 S6/5、S8にtumor stain

検査結果のまとめ：Image St PA、6cm 浸潤型 Vp3 Stage IVA (T₄N₀M₀)

Child B (Child Pugh 8点) CLIP score 5点、JIS score 4点

治療：S6/5の腫瘍に対して、肝動脈塞栓術を行った。一時的に腫瘍マーカーの低下が得られたが、術後1ヶ月後より再上昇した。肝機能の悪化もあり、それ以上の治療は出来なかった。入院後2ヶ月で退院、その3ヶ月後に死亡された。

考察：B型ウイルス陽性慢性肝疾患では、病変の進行度によらず発癌がみられるため、肝炎の自然経過を踏まえた治療に加え、肝がんの発症にも十分な注意が必要である。

〔西部症例〕

提出者：山陰労災病院 岸本幸廣

平成9年度肝臓がん検診症例研究会において、HCV抗体陽性患者で腹部エコー上、脂肪肝のなかに25mm大の高エコーと低エコーの混在する肝腫瘍を認め、肝細胞癌と読影し、他の画像検査にて最終的には肝血管腫と診断した症例を発表した。この結果、腹部エコー検査にて脂肪肝の中にみられる肝腫瘍は読影により注意が必要である旨を報告した。今回、HBV陽性患者で2年前に肝腫瘍を指摘しながら、脂肪肝のspared areaと読影し、その後のfollow upにてspared areaの一つが肝細胞癌であった症例を経験したので報告する。

57歳、男性

主訴：AFP値およびPIVKA II値の上昇

既往歴：高血圧、肥大型心筋症、糖尿病にて平成11年より治療中。平成13年10月当科にてB型肝炎及び肝腫瘍として精査を受けるも経過観察となった。

家族歴：肝疾患なし。

生活歴：飲酒歴なし、喫煙歴30本/日×35年間。

現病歴：平成13年以降、近医にてHBVキャリアにてfollow upを受けていたが、平成15年12月AFP値およびPIVKA II値の上昇を指摘されて、再度紹介となった。自覚症状は特になし。

現症：160cm、72kg。理学的に胸部心尖部付近に軽度の収縮期雑音を聴取する。腹部は平坦で軟、肝脾は触知せず、圧痛もなし。

検査成績 (平成13年10月12日)：GOT 73IU/l、GPT 93IU/l、GPT 74IU/l、TB 0.6mg/dl、Alb

4.9g/dl、HBsAg(+)、HBeAg 0.3(-)、HBeAb 100%(+)、HBV DNA(probe)
<0.70Meq/ml、HCVAb(-)、AFP 4ng/ml、PIVKA II 130mAU/ml

画像診断所見：

腹部超音波：肝は全体にbright liverの所見を呈しており、S2に25mm×15mm大の矩形の低エコーSOLとS6に20mm大の同じく低エコーSOLを認めた。

腹部Dynamic CT所見：S2およびS6の腫瘤は共にいずれの相においても軽度のhigh densityを呈する腫瘤であり、造影効果は認められなかった。

臨床経過：以上の所見より、両腫瘤とも脂肪肝におけるspared areaと診断し、PIVKA IIが上昇していることより、注意して経過観察することとした。その後、AFPとPIVKA IIが共に上昇し、平成15年12月10日再び紹介となった。

検査成績(平成15年12月10日)：GOT 45IU/l、GPT 51IU/l、GPT 59IU/l、TB 0.7mg/dl、Alb 4.8g/dl、HBsAg(±)、HBeAg 0.3(-)、HBeAb 100%(+)、HBV DNA(PCR)<2.6 logコピー/ml、AFP 84ng/ml、AFP L3 17%、PIVKA II 294mAU/ml

画像診断所見：

腹部超音波：肝は全体にbright liverの所見のままであり、S2には平成13年と同様に25mm大の低エコーSOLを認めた。しかし、S6のSOLは中心部に約10mm大の高エコー部分を有する30mm大の低エコーへと変化しており、腫瘤そのものも20から30mm大へと増大していた。

腹部 Dynamic CT所見：S2の腫瘤は平成13年と変化はみられず、A P shuntが存在する所見が認められた。S6の腫瘤は中心部よりやや腹側寄りに造影効果を有さない8mm大のlow density areaを有する動脈相で造影効果の認められる30mm大の腫瘤へと変化していた。

DSA所見：S2にはA P shunt所見が認められたが、腫瘍濃染像はなかった。S6の腫瘤はCTと同様に中心部が造影されない部分を有する腫瘍濃染像を認めた。

診断：B型慢性肝炎及び脂肪肝に合併した①肝S6の肝細胞癌(分化度の異なる組織部分あるいは急性壊死部分を含む)・T2・Stage II、②肝S2のspared area.

考察：B型慢性肝炎に脂肪肝が合併したため、画像診断にて悪性所見と鑑別が困難であった症例であるが、初回の受診時の画像を良く見直してみると、肝S6の病変部の中心にエコーで高エコー及びCTにて全体がややhigh densityである中にlow densityの部分を認め、この所見がいわゆるspared areaと異なることに注意すべきであった。いずれにしても、脂肪肝にみられた腫瘤の診断には注意を要することが再認識された症例であった。

7 . 各地区がん検診症例検討会開催状況

事業名	東 部			中 部			西 部			合 計		
	回数	症例数	参加者延べ数	回数	症例数	参加者延べ数	回数	症例数	参加者延べ数	回数	症例数	参加者延べ数
胃 が ん	16	31	539	7	14	194	20	3,352	436	43	3,397	1,169
子宮がん												
肺 が ん	4	20	58	7	40	61	9	73	64	20	133	183
乳 が ん	1	18	46	1	20	22	1	5	38	3	43	106
大腸がん	8	8	292	9	36	242	23	279	486	40	323	1,020
肝臓がん	5	14	254	1	1	18	5	19	70	11	34	342
合 計	34回			25回			58回			117回		

Ⅳ．各がん検診精密検査医療機関登録について

平成10年度鳥取県成人病検診管理指導協議会総合部会及び各がん部会並びに鳥取県健康対策協議会各がん対策専門委員会において、がん検診の有効性向上のため、精度管理上、各がん検診精密検査医療機関登録の登録基準について、統一基準が決定し、これに基づき、各がん検診精密検査医療機関登録実施要綱等が次のとおり改正され、平成11年度以降の登録更新から適用することとしております。

なお、登録手続きは従来と同様に、地区医師会経由で申請を受付ます。ご不明の点がありましたら、鳥取県健康対策協議会事務局（☎0857 27 5566）へお問い合わせ下されば幸いです。

記

1．改正の要点

- ① 平成11年度以降の登録更新から従事者講習会等の出席状況を点数化し、点数基準を満たしたもののについてのみ登録する。
- ② 登録基準点数は原則として、従事者講習会は5点、各地区症例検討会等、各ブロック学会等は3点とする。
- ③ 点数の取得は担当医師ごととし、申請書の様式は、出席状況が確認できるよう改正を行う。
- ④ 新規開業、県外転入等の場合についても同様に扱う。
- ⑤ 担当医師が非常勤の場合は登録を認めない。

2．次回の更新時期

平成15年度より登録期間が、3年間となりましたので、ご留意下さい。

名 称	現在の登録期間	次回更新手続き時期	従事者講習会等 受講点数対象期間
胃がん検診精密検査	H15.4.1～H18.3.31	H17年度中	H15.4.1～H18.3.31
子宮がん検診精密検査	H15.4.1～H18.3.31	H17年度中	H15.4.1～H18.3.31
肺がん検診精密検査	H14.4.1～H17.3.31	H16年度中	H14.4.1～H17.3.31
乳がん検診精密検査	H14.4.1～H17.3.31	H16年度中	H14.4.1～H17.3.31
大腸がん検診精密検査 (注腸X線)	H14.4.1～H17.3.31	H16年度中	H14.4.1～H17.3.31
肝臓がん検診精密検査	H16.4.1～H19.3.31	H18年度中	H16.4.1～H19.3.31
肺がん一次検診	H14.4.1～H17.3.31	H16年度中	
乳がん一次検診	H15.4.1～H18.3.31	H17年度中	H15.4.1～H18.3.31

鳥取県胃がん検診精密検査医療機関登録基準

- 1 精密検査として、内視鏡検査が実施できること。
- 2 生検組織の採取が可能な胃内視鏡検査装置を有し、かつ内視鏡検査に習熟した医師が対応できること。
- 3 食道、胃内視鏡検査の臨床例が年間50例以上あること。
- 4 精密検査の結果判明後は、胃精密検査紹介状の所定記載事項に結果を記入し、速やかに返送すること。
- 5 発見胃がんに関して部会等が実施する事後調査、確定調査等に積極的に協力すること。また、がん登録についても同様であること。
- 6 胃がん検診読影委員会が主催する症例検討会に出席すること。
- 7 担当医が、胃がん検診従事者講習会を過去3年間に1度は受講していること。
- 8 担当医が、胃がん検診従事者講習会等の受講点数を過去3年間に15点以上取得していること。
- 9 関連の各種学会等への参加を通じて、常に胃がん検診に関する学術的情報や知見を得ることが望ましい。

(別記) 対象となる講習会等

講習会等の区分	開催頻度	点数
胃がん検診従事者講習会	全県1回/年	5点
胃がん検診症例研究会	東部6回/年 西部2回/年	3点
消化器がん検診症例検討会	中部6回/年	3点
胃疾患研究会	東部11回/年	3点
鳥取消化器疾患研究会	東部2回/年	3点
消化器病研究会	中部6回/年	3点
山陰消化器研究会	全県6回/年	3点
消化管研究会	西部22回/年	3点
境港市胃がん大腸がん読影報告検討会	西部1回/年	3点
消化器内視鏡学会(全国学会・地方会)	各1回/年	3点
消化器病学会(全国学会・地方会)	各1回/年	3点
消化器集団検診学会(全国学会・地方会)	各1回/年	3点

鳥取県子宮がん検診精密検査医療機関登録基準

- 1 コルポスコピーに習熟した医師が対応できること。
- 2 検診事業に関する調査・報告に積極的に協力すること。
- 3 検診の資料及び検診結果は3年以上にわたって整理、保存されること。
- 4 担当医が、日本産科婦人科学会専門医であること及び子宮がん検診従事者講習会及び子宮がん検診症例検討会を過去3年間に2回以上受講していること。ただし、やむを得ず、3年間のうち1回しか受講できなかった場合については、別途追加で開催する講習会に出席すれば登録条件を充たしたこととする。

(別記) 対象となる講習会等

講習会等の区分	開催頻度
子宮がん検診従事者講習会及び 子宮がん検診症例検討会	全県1回/年

鳥取県肺がん検診精密検査医療機関登録基準

- 1 胸部エックス線撮影、CT撮影が可能であること。
- 2 気管支ファイバースコープ検査が施行でき、かつBF下細胞診が可能であること。
- 3 精検のために十分な経験と技術を持った医療担当者が確保されていること。
- 4 精密検査の結果判明後は、紹介状の所定記載事項に結果を記入し、速やかに返送すること。
- 5 発見肺がんに関して部会等が実施する事後調査、確定調査等に積極的に協力すること。また、がん登録についても同様であること。
- 6 精検症例を部会等に提出して討議できること。
- 7 担当医が、肺がん検診従事者講習会を過去3年間に1回以上受講していること。
- 8 関連各種学会等への参加を通じて、常に肺がん検診に関する学術的情報や知見を得ることが望ましい。

鳥取県乳がん検診精密検査医療機関登録基準

- 1 医療施設内に乳房用エックス線撮影装置（「以下「乳房撮影装置」という。」及び乳房専用超音波検査装置を有すること。
- 2 同一施設内で乳房造影、細胞診等の乳がん検査が可能であること。
- 3 精密検査結果判明後は、乳がん精密検査紹介状の所定記載事項に結果を記入し、速やかに当該市町村に送付すること。
- 4 発見乳がんに関して健対協が実施する事後調査、確定調査等に積極的に協力すること。また、がん登録についても同様であること。
- 5 担当医は、県、健対協、医師会が主催する乳腺疾患関係の研修会、症例検討会に積極的に参加し、乳がん研究会等各種集会への参加を通じて常に乳がん検診に関する学術的情報の補足に努めることとし、できれば日本乳癌学会の認定医であることが望ましい。
 また、乳がん検診従事者講習会等の受講点数を過去3年間に20点以上取得していること。ただし、「乳がん検診従事者講習会及び鳥取県検診発見乳がん症例検討会」、「各地区症例検討会」、「鳥取県乳腺疾患研究会」以外の学会、研究会については、出席した事が証明できる書類等の写しを添付すること。
- 6 上記の参加条件に不備、不足があった場合には登録更新を認めない。

（別記）対象となる講習会等

講 習 会 等 の 区 分	開 催 頻 度	点 数
乳がん検診従事者講習会及び 鳥取県検診発見乳がん症例検討会	全県 1 回/年	5 点
日本乳癌学会	1 回/年	5 点
日本乳癌検診学会	1 回/年	5 点
各地区症例検討会	東・中・西部 各 1 回/年	3 点
中国・四国乳腺研究会	1 回/年	3 点
山陰乳癌研究会	1 回/年	3 点
鳥取県乳腺疾患研究会	1 回/年	3 点
その他乳癌関連学会、研究会等		3 点

[附則 2]

- 1 責任者の欠員を生じた医療機関は遅滞なく、地区医師会を通じ、健対協に継続の意志の有無を届け出ることとし、適格な責任者がなければ登録資格は喪失するものとする。
- 2 部会等の長は、これらの医療機関に対して、必要に応じて届出機器で撮影した乳房エックス線像の提出を求めることができる。
- 3 超音波診断装置は乳房疾患診断可能な周波数（MHz）の異なる複数のプローブが必要である。
- 4 健対協は、委員会の審議までに委員長の名指する2名の委員に届出機関の視察を依頼し、その結果を委員会での審議の資料とする。

鳥取県大腸がん検診精密検査医療機関登録基準

- 1 全大腸内視鏡検査が実施できるか又はS状結腸内視鏡検査及び注腸エックス線検査が実施できること。
- 2 生検組織の採取が可能な内視鏡検査装置を有し、かつ内視鏡検査に習熟した医師が対応できること。
- 3 内視鏡検査の臨床例が年間30例以上あること。
- 4 注腸エックス線検査を実施する場合には、次の基準にあうエックス線装置を有すること。
 - (1) 透視台の起倒が可能で、透視下の圧迫が可能であること。
 - (2) エックス線管は小焦点であること。(小焦点は0.3mm、大焦点は1mm以下であることが望ましい)。
 - (3) エックス線管球は短時間定格が充分大きく、撮影時の露出時間は0.05秒以下であることが望ましい。
- 5 注腸エックス線写真は各地区医師会に設置した注腸エックス線写真合同読影委員会で合同判読すること。
- 6 精密検査のために十分な経験と技術を持った医療担当者が確保されていること。
- 7 精密検査の結果判明後は、大腸精密検査紹介状の所定記載事項に結果を記入し、速やかに返送すること。
- 8 発見大腸がんに関して部会等が実施する事後調査、確定調査等に積極的に協力すること。また、がん登録についても同様であること。
- 9 精検症例を部会等に提出して討議できること。
- 10 担当医が、大腸がん検診従事者講習会等の受講点数を過去3年間に15点以上取得していること。ただし、大腸がん検診従事者講習会に1回必ず出席していること。
- 11 関連の各種学会等への参加を通じて、常に大腸がん検診に関する学術的情報や知見を得ることが望ましい。

(別記) 対象となる講習会等

講習会等の区分	開催頻度	点数
大腸がん検診従事者講習会	全県1回/年	5点
消化器疾患研究会	東部2回/年	2点
胃疾患研究会	東部11回/年	1点
消化器病研究会	中部6回/年	2点
消化器がん検診症例検討会	中部6回/年	2点
消化管研究会	西部22回/年	1点
境港市胃がん大腸がん読影報告検討会	西部1回/年	2点
山陰消化器研究会	全県6回/年	2点
消化器内視鏡学会(全国学会・地方会)	各1回/年	2点
消化器病学会(全国学会・地方会)	各1回/年	2点
消化器集団検診学会(全国学会・地方会)	各1回/年	2点

鳥取県大腸がん検診注腸エックス線検査医療機関登録基準

- 1 次の基準にあうエックス線撮影装置で注腸エックス線検査が実施できること。
 - (1) 透視台の起倒が可能で、透視下の圧迫が可能であること。
 - (2) エックス線管は小焦点であること。(小焦点は0.3mm、大焦点は1mm以下であることが望ましい)。
 - (3) エックス線管球は短時間定格が充分大きく、撮影時の露出時間は0.05秒以下であることが望ましい。
- 2 注腸エックス線写真は各地区医師会に設置した注腸エックス線写真合同読影委員会で合同判読すること。
- 3 精密検査のために十分な経験と技術を持った医療担当者が確保されていること。
- 4 精密検査の結果判明後は、大腸精密検査紹介状の所定記載事項に結果を記入し、速やかに返送すること。
- 5 発見大腸がんに関して部会等が実施する事後調査、確定調査等に積極的に協力すること。また、がん登録についても同様であること。
- 6 精検症例を部会等に掲出して討議できること。
- 7 担当医は、大腸がん検診従事者講習会を少なくとも3年に1度は受講すること。
- 8 担当医は、大腸がん検診従事者講習会等の受講点数を過去3年間に15点以上取得していること。
- 9 関連の各種学会等への参加を通じて、常に大腸がん検診に関する学術的情報や知見を得ることが望ましい。

(別記) 対象となる講習会等

講習会等の区分	開催頻度	点数
大腸がん検診従事者講習会	全県1回/年	5点
消化器疾患研究会	東部2回/年	2点
胃疾患研究会	東部11回/年	1点
消化器病研究会	中部6回/年	2点
消化器がん検診症例検討会	中部6回/年	2点
消化管研究会	西部22回/年	1点
境港市胃がん大腸がん読影報告検討会	西部1回/年	2点
山陰消化器研究会	全県6回/年	2点
消化器内視鏡学会(全国学会・地方会)	各1回/年	2点
消化器病学会(全国学会・地方会)	各1回/年	2点
消化器集団検診学会(全国学会・地方会)	各1回/年	2点

鳥取県肝臓がん検診精密検査医療機関登録基準

- 1 検診事業に関する調査・報告に積極的に協力すること。
- 2 検診の資料及び結果は3年以上保存されること。
- 3 精密検査として、少なくとも血小板検査、超音波検査、アルファフェトプロテイン（AFP）検査及びHCV RNA検査（アンプリコア定性法）が実施できること。
- 4 次の基準にあう超音波検査機器を有し、かつ超音波検査に習熟した医師が対応できること。
 - (1) 走査方式は、電子コンベックス方式が可能であること。
 - (2) プローブは、128素子以上の高密度多素子プローブであること。
 - (3) 2系統以上の距離計測機能を有していること。
 - (4) ポラロイド撮影装置、プリンター、マルチフォーマットカメラ、電子媒体のいずれかの画像記録装置を有していること。
 - (5) 観察用モニターは、9インチ以上であること。
上記基準に合致しなくても本委員会が承認した装置であればよい。
- 5 腹部超音波検査の臨床例が年間200例以上あること。
- 6 担当医が、肝臓がん検診従事者講習会等の受講点数を、過去3年間に10点以上取得していること。ただし、肝臓がん検診従事者講習会及び症例検討会に各1回必ず出席していること。

（別記）対象となる講習会等

講習会等の区分	開催頻度	点数
肝臓がん検診従事者講習会及び症例検討会	全県1回/年	5点
山陰肝・胆・膵研究会	全県1回/年	2点
消化器疾患研究会	東部2回/年	2点
東部地区腹部超音波研究会	東部4回/年	2点
腹部画像診断研究会	中部6回/年	2点
中部肝疾患セミナー	中部2回/年	2点
肝・胆・膵研究会	西部6回/年	2点
消化器超音波研究会	西部4回/年	2点
西部腹部超音波研究会	西部2回/年	2点
肝臓がん撲滅運動講演会	西部1回/年	3点

（注）上記以外の講習会等については、評価委員会及び専門委員会においてその都度協議することとする。

鳥取県乳がん医療機関検診一次検診医登録基準

- 1 登録資格は医師とし、専攻科は問わない。
- 2 乳がん検診従事者講習会等の受講点数を過去3年間に12点以上取得していること。ただし、乳がん検診従事者講習会及び鳥取県検診発見がん症例検討会には、必ず1回は出席していること。
- 3 新規登録の場合は、次のいずれかを受講すること。
 - (1) 原則として健対協の主催する一次検診講習会を受講すること。
 なお、この講習会は、乳がん及び乳がん検診についての一般的知識、特に視診及び触診に重点をおいた診断法、触診の実技の習得を目的とし、乳がん検診従事者講習会及び鳥取県検診発見乳がん症例検討会に引き続いて年1回開催するものである。
 - (2) (1)の講習会を受ける事ができなかった場合は、部会等の長が指名した部会及び委員会の医師系委員から(1)に準じて指導を受けること。この場合、指導した医師が、一次検診医として十分能力が得られたと認定した時点をもって終了する。
- 4 上記2、3にかかわらず、次に該当する場合は、登録できるものとする。
 - (1) 日本乳癌学会認定の専門医、認定医
 - (2) 日本乳癌学会又は日本乳癌検診学会の役員

(別記) 対象となる講習会等

講習会等の区分	開催頻度	点数
乳がん検診従事者及び 鳥取県検診発見乳がん症例検討会	全県1回/年	5点
日本乳癌学会	1回/年	5点
日本乳癌検診学会	1回/年	5点
各地区症例検討会	東部1回/年 中部1回/年 西部1回/年	3点
中国・四国乳腺研究会	1回/年	3点
山陰乳癌研究会	1回/年	3点
鳥取県乳腺疾患研究会	1回/年	3点
その他乳癌関連学会、研究会等		3点

あ と が き

検診事業の運営上、重要な一面を占める精度管理については、成人病検診管理指導協議会の各部会と鳥取県健康対策協議会の各検診対策専門委員会との合同会議で検討を重ね、会長の言葉にもあるように一層の向上に努めております。

鳥取県で実施している各種がん検診の実績を全て公表し、精度管理について評価、批判を戴くための報告書の第10報です。

この報告書は単年度のがん検診の詳細な全体像も一覽いただけるものと考えます。この点においても参考にして戴ければ幸いです。

ただ、がん検診実績は追跡調査、予後調査まで含まれているため、前年度の実績内容となっておりますので、ご承知下さい。

編集にあたり、各部会長、各専門委員長の先生方には多々御助言を戴きました。厚く御礼申し上げます。

最後に、発刊に際し、県医師会副会長岡本公男先生に御指導をいただきました。また、県医師会事務局の岩垣陽子さん、田中貴裕さんには何時もの様に強力なお手伝いを頂きました。

皆様に心から御礼申し上げます。

鳥取県健康対策協議会

理 事 宮 崎 博 実